

鳥沢小学校屋外プール改築工事

2020年11月 表紙共 55 枚

B 株式会社 馬場設計

No.	図面名	No.	図面名	No.	図面名	No.	図面名
建築意匠		建築意匠		建築構造		電気設備	
000	図面リスト	021	プール詳細図(2)	001	構造設計標準仕様書	001	電気設備特記仕様書
001	改築特記仕様書 1	022	プール詳細図(3)	002	壁式鉄筋コンクリート配筋標準図(1)	002	配置図
002	改築特記仕様書 2	023	洗顔ユニット詳細図	003	壁式鉄筋コンクリート配筋標準図(2)	003	分電盤結線図 照明器具姿図
003	改築特記仕様書 3	024	シャワーユニット詳細図	004	MAXリンレンK型 設計・施工標準仕様書	004	電灯コンセント設備平面図
004	改築特記仕様書 4	025	雑詳細図	005	地盤改良伏図・基礎伏図	005	弱電設備平面図
005	改築特記仕様書 5	026	仮設計画図	006	1階土間、壁伏図・屋根伏図		
006	改築特記仕様書 6	027	平均地盤面算定図	007	各通り軸組図		
007	設計概要書・外部仕上表	028	時刻日影図	008	断面リスト(1)		
008	現況配置図	029	等時間日影図	009	断面リスト(2)		機械設備
009	案内図・配置図			010	壁平面配筋詳細図・X2通り配筋詳細図	001	機械設備特記仕様書
010	敷地求積図					002	主要機器表・衛生器具表
011	内部仕上表・建物面積求積図					003	配置図
012	平面図・ビット図・天井伏図・屋根伏図					004	衛生設備平面図
013	立面図・断面図					005	ろ過設備機器表・系統図
014	平面詳細図					006	ろ過・換気設備平面図
015	矩計図					007	機械室ろ過設備詳細図
016	建具仕様書、共通事項・建具KEY-PLAN					008	機械室ろ過電気設備平面図、制御盤姿図・結線図
017	展開図、部分詳細図(1)					009	柵類詳細図・柵リスト
018	部分詳細図(2)						
019	配管ビット用プレキャスト擁壁割付図						
020	プール詳細図(1)						

章 項目		特記事項		章 項目		特記事項		章 項目		特記事項																											
鳥沢小学校屋外プール改築 工事設計図		5.9 化学物質の濃度測定		2.4 地盤の載荷試験		試験杭の位置、本数、載荷荷重： ・ 図示 ・ 試験方法： ・ 図示 ・ 試験報告書の記載事項等： ・ 図示 ・		⑥ コンクリート工事		①*コンクリート工事 ②.1 コンクリートの種類 ②.2 コンクリートの強度		○本章の事項は構造特記仕様書による 2. コンクリートの種類及び品質 気乾単位容積質量による種類： ○普通コンクリート（下表による） ○図示 <table border="1"> <tr><th>施工部位</th><th>設計基準強度 (N/mm2)</th><th>備考</th></tr> <tr><td>○土間コンクリート</td><td>21</td><td></td></tr> <tr><td>○基礎、基礎はり</td><td>24</td><td></td></tr> <tr><td>○柱、はり、床、壁</td><td>24</td><td></td></tr> </table> コンクリートの要求性能等による種類： ○図示 ・ コンクリートの種類： ※Ⅰ類 ・Ⅱ類 気乾単位容積質量による種類： ・軽量コンクリート（下表による） ・図示 <table border="1"> <tr><th>施工部位</th><th>設計基準強度 (N/mm2)</th><th>備考</th></tr> <tr><td>・ルーフバルコニー防水押え</td><td>・18 ・21</td><td></td></tr> <tr><td>・屋上防水押え</td><td>・18 ・21</td><td></td></tr> <tr><td>・浴室防水押え</td><td>・18 ・21</td><td></td></tr> </table> コンクリートの要求性能等による種類： ・図示 ・ コンクリートの種類： ※Ⅰ類 ・Ⅱ類 特殊な要求性能のコンクリートの適用： ・図示 ・ 大臣認定を受けたコンクリートの適用： ・図示 ・		施工部位	設計基準強度 (N/mm2)	備考	○土間コンクリート	21		○基礎、基礎はり	24		○柱、はり、床、壁	24		施工部位	設計基準強度 (N/mm2)	備考	・ルーフバルコニー防水押え	・18 ・21		・屋上防水押え	・18 ・21		・浴室防水押え	・18 ・21	
施工部位	設計基準強度 (N/mm2)	備考																																			
○土間コンクリート	21																																				
○基礎、基礎はり	24																																				
○柱、はり、床、壁	24																																				
施工部位	設計基準強度 (N/mm2)	備考																																			
・ルーフバルコニー防水押え	・18 ・21																																				
・屋上防水押え	・18 ・21																																				
・浴室防水押え	・18 ・21																																				
仕様書 1 工事概要 1. 工事場所 山梨県大月市浜浜町鳥沢1979番地 2. 敷地面積 13,097.61㎡ 3. 工事種目 1) 改築工事 4. 工事内容 1) 改築工事 一式 (1) 建築工事 一式 ・管理棟 壁式鉄筋コンクリート造 平屋建 建築面積48.00㎡ 延床面積45.00㎡ ・プール本体 FRP製 25m×5m(2m×2×ス) 水深0.9m～1.1m～0.9m 15m×4m 水深0.7m 水面積185㎡ ・プールサイド 鉄筋コンクリート造 面積207.90㎡ (2) 電気設備工事 一式 (3) 機械設備工事 一式		7.1 完成時の提出図書 7.2 完成図等 7.3 安全に関する資料 7.* 完成写真 *.* 主任技術者又は監理技術者の専任		3.1 適用範囲 3.2 材料 3.3 打込み工法 3.4 せり込み工法 3.5 特定埋設杭工法		3.1 適用範囲 3.2 材料 3.3 打込み工法 3.4 せり込み工法 3.5 特定埋設杭工法		3.1 適用範囲 3.2 材料 3.3 打込み工法 3.4 せり込み工法 3.5 特定埋設杭工法		②.4 片・柱・リバー及びスラブ ②.5 構造コンクリートの仕上り		スランプ： ※標準仕様書表6.2.2による ○図示 ・ 打放し仕上げの種別（合板せき板を用いる場合） <table border="1"> <tr><th>施工部位</th><th>種別</th><th>備考</th></tr> <tr><td>・化粧打放し部</td><td>A種</td><td></td></tr> <tr><td>○打放し補修下部</td><td>B種</td><td></td></tr> <tr><td>○基礎部</td><td>C種</td><td></td></tr> </table>		施工部位	種別	備考	・化粧打放し部	A種		○打放し補修下部	B種		○基礎部	C種													
施工部位	種別	備考																																			
・化粧打放し部	A種																																				
○打放し補修下部	B種																																				
○基礎部	C種																																				
特記仕様書 1. 本特記仕様書は、本工事における建築関連工事に適用する。 2. 本特記仕様書における採用事項 ①. 項目欄は番号等に○印を附したものを適用する。 ②. 項目欄に○印を附し特記事項欄に○印を附していない場合は標準仕様書による。 ③. 特記事項は○印を附したものを適用する。但し○印の付かない場合は※印の附した事項を採用する。○印と※印を附した場合は共に適用する。 3. 本特記仕様書に記載なき事項については下記による。 ○国土交通省大臣官房長官官務部監修 公共建築工事標準仕様書（建築工編）平成31年版 ○国土交通省大臣官房長官官務部監修 建築物解体工事共通仕様書 平成31年版 4. その他事項 ・各項目欄の番号(例：1.4○○○)は標準仕様書の番号(章番号を除く)に照合する。 ・各項目欄の番号(例：1.*○○○)は標準仕様書の番号(章番号を除く)に該当しない項目とする。 ・各項目欄の番号(例：●○章***、○***、●○***)は公共建築工事標準仕様書の各項目に相当する。 5. 著作権 ・公益社団法人日本建築家協会、建築設計・監理業務委託契約書の第11条～第12条に準ずる。 尚、衆文上の「受託者」は「株式会社馬場設計」と読み替えることとする。		② 仮設工事 ③.1 監督職員事務所等		4.1 適用範囲 4.2 材料 5.1 適用範囲 5.3 材料その他		4.1 適用範囲 4.2 材料 5.1 適用範囲 5.3 材料その他		③.1 コンクリートの材料 ③.2 コンクリートの調査 ③.3 打継ぎ ③.4 一般事項		セメントの種類： ※普通ポルトランドセメントA種 ※混合セメントA種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 高炉セメントB種の適用箇所： ・図示 ・基礎 ・地中梁 ・ フライアッシュセメントB種の適用箇所： ・図示 ・ 骨材の種類： ※JIS A 5308(付属書A)の骨材 ・規定外の骨材 細骨材の種類： ※JIS A 5308(付属書A)の細骨材 ・規定外の細骨材 骨材のアルカリシリカ反応性による区分： ※A ・B 混和剤： ・AE剤 ○AE減水剤 ・高性能AE減水剤 ・ 混和材： ・フライアッシュ ・高炉スラグ微粉末 ・膨張剤 ・																											
章 項目		特記事項		③ 砂利及び砂地業 ④ 捨てコンクリート地業 ⑤ 地盤改良 ⑥ 変更処理		③ 砂利及び砂地業 ④ 捨てコンクリート地業 ⑤ 地盤改良 ⑥ 変更処理		③.3 打継ぎ ③.4 一般事項 ③.5 材料		6. コンクリートの工事現場内運搬並びに打込み及び締固め 打継ぎ目地の見付寸法： ○図示 ・25mm ・20mm ・15mm ・ 8. 型枠 外部に面する打放し仕上げの地厚寸法： ・25mm ○20mm ・15mm ・ ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法： ・下表による ○図示 ・ <table border="1"> <tr><th>施工部位</th><th>位置</th><th>形状</th><th>寸法(見付×深さ)</th></tr> <tr><td>・片持ちスラブ</td><td>・図示</td><td>・両端びり ・片端びり</td><td>20mm×15mm</td></tr> <tr><td>・外部開口部廻り</td><td>・図示</td><td>・両端びり ・片端びり</td><td>15mm×12mm</td></tr> <tr><td>・壁タイル張り仕上面</td><td>・図示</td><td>・両端びり ・片端びり</td><td>15mm×10mm</td></tr> </table>		施工部位	位置	形状	寸法(見付×深さ)	・片持ちスラブ	・図示	・両端びり ・片端びり	20mm×15mm	・外部開口部廻り	・図示	・両端びり ・片端びり	15mm×12mm	・壁タイル張り仕上面	・図示	・両端びり ・片端びり	15mm×10mm										
施工部位	位置	形状	寸法(見付×深さ)																																		
・片持ちスラブ	・図示	・両端びり ・片端びり	20mm×15mm																																		
・外部開口部廻り	・図示	・両端びり ・片端びり	15mm×12mm																																		
・壁タイル張り仕上面	・図示	・両端びり ・片端びり	15mm×10mm																																		
① 一般共通事項		③.1 工事用水 ③.2 工事電力 ③.3 仮囲い 3.* 落下物、飛散物等による危害防止 ③.4 仮排水		⑤ 鉄筋工事 1.* 鉄筋工事 2.1 鉄筋 2.2 溶接金網 3.4 継手及び定着 3.7 各部配筋 4.9 圧接完了後の試験		⑤ 鉄筋工事 1.* 鉄筋工事 2.1 鉄筋 2.2 溶接金網 3.4 継手及び定着 3.7 各部配筋 4.9 圧接完了後の試験		③.3 打継ぎ ③.4 一般事項 ③.5 材料		6. 砂利、砂、捨てコンクリート地業等 砂利及び砂地業の厚さ： ○図示 ※60mm ・100mm ・120mm ・150mm ・ 捨てコンクリートの厚さ： ○図示 ※50mm ・ mm ・120mm ・150mm ・ 床下防湿層の適用： ・適用しない ・適用する ・図示 床下防湿層の範囲： ・図示 ・ 工法： テココラム ・構造図による（設計基準強度、径、長さ：構造図による） 基礎及び地業工事に変更が生じた場合は、発注者と変更金額の協議を行い、了承を得た後、次の工程に着手すること。 施工（掘削）時は、深度、地質の計測及び記録を行うとともに、支持層の状況により、改良の長さの変更が必要な場合は、速やかに監督員及び監理者に報告し、設計及び工事費等の変更について協議を行うこととする。																											
② 技能士		③ 土工事 2.3 山留めの撤去		⑤ 鉄筋工事 1.* 鉄筋工事 2.1 鉄筋 2.2 溶接金網 3.4 継手及び定着 3.7 各部配筋 4.9 圧接完了後の試験		⑤ 鉄筋工事 1.* 鉄筋工事 2.1 鉄筋 2.2 溶接金網 3.4 継手及び定着 3.7 各部配筋 4.9 圧接完了後の試験		③.3 打継ぎ ③.4 一般事項 ③.5 材料		10.1 一般事項 10.2 材料及び調査 11.2 材料及び調査 12.2 材料及び調査 13.2 材料及び調査		型枠の材料等： ・下表による ○図示 ・ <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>種別・厚さ</th><th>材質</th></tr> <tr><td rowspan="2">○合板</td><td>※「コンクリート型枠用合板のJAS」・12mm</td><td>※複合</td></tr> <tr><td>・「コンクリート型枠用合板のJAS」・15mm</td><td>※南洋材</td></tr> <tr><td>・床型枠用鋼製「キャスト」</td><td>鋼材の形状及び寸法： ・図示 ・</td><td>・針葉材</td></tr> </table> 断熱材を兼用した型枠材： ・使用する（使用箇所： ・図示 ・） MCR工法： ・適用する（適用箇所： ・図示 ・） スリーブ： ※標準仕様書6.8.2(9)による ○図示 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ・溶融亜鉛めっき鋼管 ・鋼管 ・つば付き鋼管 ・紙チューブ		種類	種別・厚さ	材質	○合板	※「コンクリート型枠用合板のJAS」・12mm	※複合	・「コンクリート型枠用合板のJAS」・15mm	※南洋材	・床型枠用鋼製「キャスト」	鋼材の形状及び寸法： ・図示 ・	・針葉材													
種類	種別・厚さ	材質																																			
○合板	※「コンクリート型枠用合板のJAS」・12mm	※複合																																			
	・「コンクリート型枠用合板のJAS」・15mm	※南洋材																																			
・床型枠用鋼製「キャスト」	鋼材の形状及び寸法： ・図示 ・	・針葉材																																			
③ 技能士		③ 土工事 2.3 山留めの撤去		⑤ 鉄筋工事 1.* 鉄筋工事 2.1 鉄筋 2.2 溶接金網 3.4 継手及び定着 3.7 各部配筋 4.9 圧接完了後の試験		⑤ 鉄筋工事 1.* 鉄筋工事 2.1 鉄筋 2.2 溶接金網 3.4 継手及び定着 3.7 各部配筋 4.9 圧接完了後の試験		③.3 打継ぎ ③.4 一般事項 ③.5 材料		10.1 一般事項 10.2 材料及び調査 11.2 材料及び調査 12.2 材料及び調査 13.2 材料及び調査		10. 軽量コンクリート 土に接する軽量コンクリートの使用： ・使用する（使用箇所： ・図示 ・） 水に接する軽量コンクリートの使用： ・使用する（使用箇所： ・図示 ・） 軽量コンクリート種類： ・下表による ・図示 ・ <table border="1"> <tr><th>施工部位</th><th>種類</th><th>備考</th></tr> <tr><td>・ルーフバルコニー防水押え</td><td>・1種 ・2種</td><td></td></tr> <tr><td>・屋上防水押え</td><td>・1種 ・2種</td><td></td></tr> <tr><td>・浴室防水押え</td><td>・1種 ・2種</td><td></td></tr> </table>		施工部位	種類	備考	・ルーフバルコニー防水押え	・1種 ・2種		・屋上防水押え	・1種 ・2種		・浴室防水押え	・1種 ・2種													
施工部位	種類	備考																																			
・ルーフバルコニー防水押え	・1種 ・2種																																				
・屋上防水押え	・1種 ・2種																																				
・浴室防水押え	・1種 ・2種																																				
④ 技能士		③ 土工事 2.3 山留めの撤去		⑤ 鉄筋工事 1.* 鉄筋工事 2.1 鉄筋 2.2 溶接金網 3.4 継手及び定着 3.7 各部配筋 4.9 圧接完了後の試験		⑤ 鉄筋工事 1.* 鉄筋工事 2.1 鉄筋 2.2 溶接金網 3.4 継手及び定着 3.7 各部配筋 4.9 圧接完了後の試験		③.3 打継ぎ ③.4 一般事項 ③.5 材料		10.1 一般事項 10.2 材料及び調査 11.2 材料及び調査 12.2 材料及び調査 13.2 材料及び調査		10.1 一般事項 10.2 材料及び調査 11.2 材料及び調査 12.2 材料及び調査 13.2 材料及び調査		10. 軽量コンクリート 土に接する軽量コンクリートの使用： ・使用する（使用箇所： ・図示 ・） 水に接する軽量コンクリートの使用： ・使用する（使用箇所： ・図示 ・） 軽量コンクリート種類： ・下表による ・図示 ・ <table border="1"> <tr><th>施工部位</th><th>種類</th><th>備考</th></tr> <tr><td>・ルーフバルコニー防水押え</td><td>・1種 ・2種</td><td></td></tr> <tr><td>・屋上防水押え</td><td>・1種 ・2種</td><td></td></tr> <tr><td>・浴室防水押え</td><td>・1種 ・2種</td><td></td></tr> </table>		施工部位	種類	備考	・ルーフバルコニー防水押え	・1種 ・2種		・屋上防水押え	・1種 ・2種		・浴室防水押え	・1種 ・2種											
施工部位	種類	備考																																			
・ルーフバルコニー防水押え	・1種 ・2種																																				
・屋上防水押え	・1種 ・2種																																				
・浴室防水押え	・1種 ・2種																																				
B 株式会社 馬場設計 山梨県知事登録（製）第1-30888号 一級建築士 大臣登録第267504号 管理建築士 代田 一郎		管理技術者 鬼頭 繁樹 一級建築士 第225730号		担当作図者 鬼頭 繁樹		設計年月 2020.11 縮尺 A1: NS A3: NS		鳥沢小学校屋外プール改築工事		区分 建築意匠 No. 001		改築特記仕様書1		No. 001																							

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																						
6	コンクリート工事	14. 一般事項	1 4. 無筋コンクリート 適用箇所： ※標準仕様書6.14.1による ◎下表による ◎図示 <table border="1"> <tr> <th>施工部位</th> <th>設計基準強度 (N/mm2)</th> <th>スランプ</th> </tr> <tr> <td>・捨コンクリート</td> <td>◎18 ・21 ・18 ・21</td> <td>※15以下 ◎18以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工部位	設計基準強度 (N/mm2)	スランプ	・捨コンクリート	◎18 ・21 ・18 ・21	※15以下 ◎18以下				8.3 塗料の種類	8. 錆止め塗装 SRC造の鋼製スリーブ（鉄骨に溶接されたもの）の内面： ・図示 ・標準仕様書 表18.3.1（※A種 ・B種 ・C種） 耐火被覆材の接着面： ・図示 ・標準仕様書 表18.3.1（・A種 ・B種 ・C種）	2.2 材料	試験方法： ※ドレン廻りをルーフィング類やウエス類で仮の蓋をし、防水層の立上り端部を越えないように水を張り、24時間以上そのままにしておいた後、周辺や階下への濡れの有無を確認する 2. アスファルト防水 改質アスファルトルーフィングの種類及び厚さ： ※標準仕様書表9.2.3～9.2.8による ・図示 ・部分粘着層付改質アスファルトルーフィングの種類及び厚さ： ※標準仕様書表9.2.5～9.2.8による ・図示 ・ ◎屋根保護防水断熱工法の断熱材 材質： ※標準仕様書9.2.2(h) ・厚さ： ・35mm ・25mm ・図示 ◎屋根露出防水断熱工法の断熱材 材質： ※標準仕様書9.2.2(i) ・厚さ： ・50mm ・35mm ・図示 ◎絶縁用シート 材質（保護防水工法）： ※ポリエチレンフィルム：t=0.15mm以上 ・材質（保護防水断熱工法）： ※フラットヤークロス(70g/m2程度) ・防水層立上り部の保護の種類： ・乾式保護 ・湿式保護（・図示 ※普通れんが(JIS R1250) ・珪藻土 ・）	5.3 防水層の種類、種別及び工程	5. 塗膜防水 <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>◎ウレタンゴム系</td> <td>◎X-1 ・X-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ゴムアスファルト系</td> <td>・Y-1 ・Y-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・アクリルゴム系</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 仕上塗装の種類： ・製造メーカー標準仕様による ・遮熱塗料 ・仕上塗装の使用量： ・ ◎脱気装置 種類： ※製造メーカー指定 ・設置数量： ※製造メーカー指定 保護層： ・設置する ・設置しない	種類	種別	施工箇所	◎ウレタンゴム系	◎X-1 ・X-2		・ゴムアスファルト系	・Y-1 ・Y-2		・アクリルゴム系																																					
		施工部位	設計基準強度 (N/mm2)	スランプ																																																													
・捨コンクリート	◎18 ・21 ・18 ・21	※15以下 ◎18以下																																																															
種類	種別	施工箇所																																																															
◎ウレタンゴム系	◎X-1 ・X-2																																																																
・ゴムアスファルト系	・Y-1 ・Y-2																																																																
・アクリルゴム系																																																																	
15.1 一般事項	流動化コンクリート 流動化コンクリートの適用： ・適用する（使用箇所： ・図示 ・）	9.2 耐火被覆の種類及び性能	9.2 耐火被覆の種類及び性能： ※図示 ・	2.3 防水層の種類、種別及び工程	改質アスファルトルーフィングの種類及び厚さ： ※標準仕様書表9.2.3～9.2.8による ・図示 ・ ◎屋根保護防水断熱工法の断熱材 材質： ※標準仕様書9.2.2(h) ・厚さ： ・35mm ・25mm ・図示 ◎屋根露出防水断熱工法の断熱材 材質： ※標準仕様書9.2.2(i) ・厚さ： ・50mm ・35mm ・図示 ◎絶縁用シート 材質（保護防水工法）： ※ポリエチレンフィルム：t=0.15mm以上 ・材質（保護防水断熱工法）： ※フラットヤークロス(70g/m2程度) ・防水層立上り部の保護の種類： ・乾式保護 ・湿式保護（・図示 ※普通れんが(JIS R1250) ・珪藻土 ・）	6.1 適用範囲 6.2 材料	6.1 適用範囲 6.2 材料 <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・背面水圧側</td> <td>・C-UI ・C-UP</td> <td>・図示 ・地下外壁 ・地下床 ・ビッド</td> </tr> <tr> <td>・水圧側</td> <td>・C-UI ・C-UP</td> <td>・図示 ・地下外壁 ・地下床 ・ビッド</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	部位	種別	施工箇所	・背面水圧側	・C-UI ・C-UP	・図示 ・地下外壁 ・地下床 ・ビッド	・水圧側	・C-UI ・C-UP	・図示 ・地下外壁 ・地下床 ・ビッド																																																	
部位	種別	施工箇所																																																															
・背面水圧側	・C-UI ・C-UP	・図示 ・地下外壁 ・地下床 ・ビッド																																																															
・水圧側	・C-UI ・C-UP	・図示 ・地下外壁 ・地下床 ・ビッド																																																															
7	鉄骨工事	1.* 鉄骨工事 1.3 鉄骨製作工場 2.1 鋼材 2.2 高力ボルト 2.3 普通ボルト 2.4 アンカーボルト 2.5 溶接材料 2.6 ターンバックル 2.7 デッキプレート 2.8 レール 2.9 柱底均しモルタル 2.10 材料試験等 3. 工作一般 3.2 工作図 3.10 仮組 4.2 摩擦面の性能及び処理 4.7 締付け 6.3 溶接技能者 6.4 材料準備 6.7 溶接施工 6.11 溶接部の試験 7.8 デッキプレートの溶接	・本章の事項は構造特記仕様書による 製作工場のグレードは下記同等以上で大臣認定された工場とする： ・Sグレード ・Hグレード ・Mグレード ・Jグレード 施工監理技術者： ・適用する ・適用しない 2. 材料 鋼材の材質： ・下表による ・図示 ・ <table border="1"> <tr> <th>施工部位</th> <th>材質（種類の記号）</th> </tr> <tr> <td>・構造躯体</td> <td>SS400/STKR400/BCR295</td> </tr> <tr> <td>・構造躯体（階～階）</td> <td>SM400A/SM400C</td> </tr> <tr> <td>・構造躯体（階～階）</td> <td>SM490A/SSC400</td> </tr> </table> 種類： ・トルシア型高力ボルト2種(S10T) ・JISの高力ボルト2種(F10T) ・溶融亜鉛めっき高力ボルト1種(F8T相当) 高力ボルトの径： ・図示 ・ 普通ボルトの材料等： ※標準仕様書表7.2.3による ・普通ボルトの径： ・図示 ・ 構造用アンカーボルトの材質： ・図示 ・SNR400A ・SNR400B ・SNR490B 建方用アンカーボルトの材質： ・図示 ・SS400 ・SS490 ・SS540 ねじの種類、等級の規格及び仕上げの程度： ※標準仕様書表7.2.3による ・ 溶接棒等(標準仕様書表7.2.4)及びガス以外の溶接材料： ・図示 ・ 種類： ※建築用ナット（胴：割替式、ボルト：羽子板ボルト） ・図示 ・ねじの呼び等： ・図示 ・ 構造床として使用するデッキプレート、形状、寸法等： ・図示 ・合成スラブとして使用するデッキプレートの材質、形状、寸法等： ・図示 ・床型枠用鋼製デッキプレート：標準仕様書6.9.3(c)による その他のデッキプレートの材質、形状、寸法等： ・図示 ・ レールの規格、形状、寸法等： ・下表による ・図示 ・ <table border="1"> <tr> <th>施工部位</th> <th>規格番号</th> <th>形状、寸法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・天井クレーン走行用</td> <td>JIS E 1101</td> <td></td> <td>・形状、寸法は図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>JIS E 1102</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>JIS B 1251</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> モルタルの種類： ・図示 ・無収縮モルタル ・無収縮モルタルの調査： ※標準仕様書7.2.9(2)(7)～(1)による ・図示 ・ 引張りを受ける鋼板の試験： ・適用する ・適用しない ・図示 ・ 3. 工作一般 現寸図は必要に応じて作成する 高力ボルト、普通ボルト、アンカーボルトのヘリ、ピッチ、ゲージ等： ・鉄骨工作標準図による又、同図面に記載なき事項は国土交通大臣官庁官庁管轄部「建築鉄骨設計基準及び同解説」による鉄骨設計基準図による ・図示 ・ 仮組の実施： ・行わない ・行う 4. 高力ボルト接合 すべり係数試験の実施： ・行わない ・行う 試験の方法、試験片の摩擦面の状態： ・図示 ・ ボルト長さがねじの呼びの5倍をJIS型ボルトのナット回転法の回転量： ・120° ・ 6. 溶接接合 溶接技能者の技量付加試験： ・行わない ・行う 開先の形状： ・図示 ・ エンドタブの切除の有無： ・無し ・有り（切除の適用箇所： ・図示 ・） スカロップの形状： ・図示 ・ 完全溶け込み溶接部の超音波探傷試験： ・適用する ・適用しない ◎工場溶接の場合 製作工場の社内検査： ・行わない ※行う（全数検査を行い試験結果報告書を提出） 第三者機関による検査： ※行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 検査水準： ・第1水準 ・第2水準 ・第3水準 ・第4水準 ・第5水準 ※第6水準 ◎工事現場溶接の場合 第三者機関による検査： ※行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 7. スタッド溶接及びデッキプレート溶接 デッキプレートと鉄骨の溶接方法： ・図示 ・	施工部位	材質（種類の記号）	・構造躯体	SS400/STKR400/BCR295	・構造躯体（階～階）	SM400A/SM400C	・構造躯体（階～階）	SM490A/SSC400	施工部位	規格番号	形状、寸法	備考	・天井クレーン走行用	JIS E 1101		・形状、寸法は図示		JIS E 1102				JIS B 1251			8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事 2.2 材料 2.4 コンクリートの調合 2.5 鉄筋の加工、組立 3.2 材料 3.3 鉄筋の加工、組立 4.2 材料 4.3 外壁 ^h 補工法 4.4 間仕切 ^h 補工法 5.2 材料 5.3 外壁 ^h 補工法 5.4 間仕切 ^h 補工法 5.5 溝掘り及び開口部の処置	2. 補強コンクリートブロック造 ブロックの種類： ※空洞ブロック16 ・空洞ブロック16-W 設計基準強度(Fc)： ※21N/mm2 ・18N/mm2 ・ 各部の配筋： ・図示 ・ 3. コンクリートブロック帳壁及び壁 ブロックの種類： ※標準仕様書表8.3.1による ・図示 ・化粧ブロック：t= 各部の配筋： ・図示 ・ 4. ALCパネル <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>単位荷重(N/m2)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>長さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・屋根用</td> <td>・980</td> <td>・100</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・床用</td> <td>・2350 ・3530</td> <td>・100 ・150</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・外壁用</td> <td>・1180 ・1960</td> <td>・100</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・間仕切用①</td> <td></td> <td>・100</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・間仕切用②</td> <td></td> <td>・100</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 取付け工法種別： ・A種 ・B種 パネル幅の最小限度： ※300mm ・400mm ・ 伸縮調整目地巾： ・図示 ・10mm ・15mm ・20mm 耐火目地材： ・有 ・無 ・ 取付け工法種別： ・C種 ・D種 ・E種 5. 押出成形セメント板（ECP） 使用箇所： ・外壁用 表面形状： ・フラットパネル ・デザインパネル ・タイルベースパネル 厚み寸法： ・50mm ・60mm ・ 使用箇所： ・間仕切壁用 表面形状： ・フラットパネル ・デザインパネル ・タイルベースパネル 厚み寸法： ・50mm ・60mm ・ 取付け工法種別： ・A種 ・B種 パネル相互間目地幅： ・15mm(短辺)8mm(長辺)以上 ・ 耐火構造以外の目地及び隙間の処理： ※製造メーカー仕様による ・ 取付け工法種別： ・B種 ・C種 パネルの開口部の限度： ・製造メーカー基準による ・短辺： mm×長辺： mm以下 パネルの欠込みの限度： ・製造メーカー基準による ・短辺： mm×長辺： mm以下	種類	単位荷重(N/m2)	厚さ(mm)	長さ(mm)	・屋根用	・980	・100	・図示	・床用	・2350 ・3530	・100 ・150	・図示	・外壁用	・1180 ・1960	・100	・図示	・間仕切用①		・100	・図示	・間仕切用②		・100	・図示					2.2 材料 2.4 施工 2.5 保護層等の施工 3.2 材料 2.3 防水層の種類、種別及び工程 4.2 材料 4.3 防水層の種類、種別及び工程 4.4 施工	2.2 材料 2.3 防水層の種類、種別及び工程 2.4 施工 2.5 保護層等の施工 3.2 材料 2.3 防水層の種類、種別及び工程 4.2 材料 4.3 防水層の種類、種別及び工程 4.4 施工	7.5 シーリング材の試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験	10 石工事 1.3 施工一般 1.5 清掃 2.1 石材 2.3 その他材料 3.2 材料 3.3 施工 4.2 材料 4.3 施工	1. 一般事項 ※湿式工法の場合、気温2℃以下になるおそれのある場合は施工してはならない 石材の削付け： ※標準仕様書による 粗面仕上げの見え隠れ部分の仕上げ： ・ひき肌 ・水磨き ・本磨き ・ ワックス材の使用： ・使用する ・使用しない 2. 材 料 ◎天然石 石材の品質（床用石材）： ・1等品 ※2等品 ・ 石材の品質（壁及びその他の石材）： ※1等品 ・2等品 ・ 石材の種類、表面仕上げ等： ・図示 ・ 石材の形状、寸法等： ・図示 ※標準仕様書による ・ ◎テラゾ 種石の種類： ※大理石の類 ・花崗岩の類 ・ 種石の大きさ： ※1.5mm～12mm ・12mm以下 ・6mm以下 ・ 形状、寸法： ※図示 ・ 仕上面の区分： ・本磨き ・水磨き ・粗磨き ・ 2.2 取付け金物 外壁湿式工法、内壁空積工法用金物： ※標準仕様書による ・ ◎特殊部位用金物 引き金物、受け金物等： ※標準仕様書による ・ ファスナー： ※標準仕様書による ・ 吊り金物： ※標準仕様書による ・ 化粧吊り金物： ※標準仕様書による ・ アンカー金物： ※標準仕様書による ・ その他金物： ※標準仕様書による ・ 2.3 その他材料 取付用モルタル： ※標準仕様書による ・ 目地用モルタル： ※標準仕様書による ・ 石裏面処理材： ※標準仕様書による ・ 裏打ち処理材： ※標準仕様書による ・ ドレンパイプ： ・SUS304パイプ ・硬質塩化ビニル ・ 金物固定充填材： ※標準仕様書による ・ 3. 外壁湿式工法 石材の厚さ： ・図示 ※25mm以上 ・13mm ・ 石裏面処理： ・行う ・行わない 裏打ち処理： ・行う ・行わない 4. 内壁空積工法 石材の厚さ： ・図示 ※20mm以上 ・13mm ・ 裏打ち処理： ・行う ・行わない 4.3 施工 下地ごしらえ： ※標準仕様書による ・ 目地幅： ・図示 ※6mm以上 ・ 伸縮目地位置： ・図示 ※標準仕様書による ・ 伸縮目地寸法： ・図示 ※標準仕様書による ・15mm ・20mm ・ 目地幅： ・図示 ※6mm以上 ・ 伸縮目地位置： ・図示 ※標準仕様書による ・ 伸縮目地寸法： ・図示 ※標準仕様書による ・15mm ・20mm ・			
施工部位	材質（種類の記号）																																																																
・構造躯体	SS400/STKR400/BCR295																																																																
・構造躯体（階～階）	SM400A/SM400C																																																																
・構造躯体（階～階）	SM490A/SSC400																																																																
施工部位	規格番号	形状、寸法	備考																																																														
・天井クレーン走行用	JIS E 1101		・形状、寸法は図示																																																														
	JIS E 1102																																																																
	JIS B 1251																																																																
種類	単位荷重(N/m2)	厚さ(mm)	長さ(mm)																																																														
・屋根用	・980	・100	・図示																																																														
・床用	・2350 ・3530	・100 ・150	・図示																																																														
・外壁用	・1180 ・1960	・100	・図示																																																														
・間仕切用①		・100	・図示																																																														
・間仕切用②		・100	・図示																																																														
			8	防水工事	1.* 防水工事の保証書の提出、保証年限 ・保証書（請負人、材料製造所、防水施工者の連帯保証）は各2通提出すること ・防水施工者は、防水材料製造所指定の施工者とし、監督員の承認を受けること <table border="1"> <tr> <th>保証書提出工事</th> <th>保証箇所</th> <th>保証年限</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">・7ア7b防水</td> <td>屋根（保護用）</td> <td>※10年 ・年</td> </tr> <tr> <td>屋根（露出用）</td> <td>※10年 ・年</td> </tr> <tr> <td>浴室・便所</td> <td>※10年 ・年</td> </tr> <tr> <td>地下室・貯水槽</td> <td>※10年 ・年</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・改質7ア7b防水</td> <td></td> <td>※10年 ・年</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※10年 ・年</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・合成高分子ルーフィング 防水</td> <td></td> <td>※10年 ・年</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※10年 ・年</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・塗膜防水</td> <td></td> <td>※10年 ・年</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※10年 ・年</td> </tr> </table> 水張り試験： ・行う ・行わない 試験箇所：	保証書提出工事	保証箇所	保証年限	・7ア7b防水	屋根（保護用）	※10年 ・年	屋根（露出用）	※10年 ・年	浴室・便所	※10年 ・年	地下室・貯水槽	※10年 ・年	・改質7ア7b防水		※10年 ・年		※10年 ・年	・合成高分子ルーフィング 防水		※10年 ・年		※10年 ・年	・塗膜防水		※10年 ・年		※10年 ・年	1.* 防水工事の保証書の提出、保証年限 ・保証書（請負人、材料製造所、防水施工者の連帯保証）は各2通提出すること ・防水施工者は、防水材料製造所指定の施工者とし、監督員の承認を受けること <table border="1"> <tr> <th>保証書提出工事</th> <th>保証箇所</th> <th>保証年限</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">・7ア7b防水</td> <td>屋根（保護用）</td> <td>※10年 ・年</td> </tr> <tr> <td>屋根（露出用）</td> <td>※10年 ・年</td> </tr> <tr> <td>浴室・便所</td> <td>※10年 ・年</td> </tr> <tr> <td>地下室・貯水槽</td> <td>※10年 ・年</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・改質7ア7b防水</td> <td></td> <td>※10年 ・年</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※10年 ・年</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・合成高分子ルーフィング 防水</td> <td></td> <td>※10年 ・年</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※10年 ・年</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・塗膜防水</td> <td></td> <td>※10年 ・年</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※10年 ・年</td> </tr> </table> 水張り試験： ・行う ・行わない 試験箇所：	保証書提出工事	保証箇所	保証年限	・7ア7b防水	屋根（保護用）	※10年 ・年	屋根（露出用）	※10年 ・年	浴室・便所	※10年 ・年	地下室・貯水槽	※10年 ・年	・改質7ア7b防水		※10年 ・年		※10年 ・年	・合成高分子ルーフィング 防水		※10年 ・年		※10年 ・年	・塗膜防水		※10年 ・年		※10年 ・年	2.2 材料 2.3 防水層の種類、種別及び工程 2.4 施工 2.5 保護層等の施工 3.2 材料 2.3 防水層の種類、種別及び工程 4.2 材料 4.3 防水層の種類、種別及び工程 4.4 施工	2.2 材料 2.3 防水層の種類、種別及び工程 2.4 施工 2.5 保護層等の施工 3.2 材料 2.3 防水層の種類、種別及び工程 4.2 材料 4.3 防水層の種類、種別及び工程 4.4 施工	7.5 シーリング材の試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験	10 石工事 1.3 施工一般 1.5 清掃 2.1 石材 2.3 その他材料 3.2 材料 3.3 施工 4.2 材料 4.3 施工	1. 一般事項 ※湿式工法の場合、気温2℃以下になるおそれのある場合は施工してはならない 石材の削付け： ※標準仕様書による 粗面仕上げの見え隠れ部分の仕上げ： ・ひき肌 ・水磨き ・本磨き ・ ワックス材の使用： ・使用する ・使用しない 2. 材 料 ◎天然石 石材の品質（床用石材）： ・1等品 ※2等品 ・ 石材の品質（壁及びその他の石材）： ※1等品 ・2等品 ・ 石材の種類、表面仕上げ等： ・図示 ・ 石材の形状、寸法等： ・図示 ※標準仕様書による ・ ◎テラゾ 種石の種類： ※大理石の類 ・花崗岩の類 ・ 種石の大きさ： ※1.5mm～12mm ・12mm以下 ・6mm以下 ・ 形状、寸法： ※図示 ・ 仕上面の区分： ・本磨き ・水磨き ・粗磨き ・ 2.2 取付け金物 外壁湿式工法、内壁空積工法用金物： ※標準仕様書による ・ ◎特殊部位用金物 引き金物、受け金物等： ※標準仕様書による ・ ファスナー： ※標準仕様書による ・ 吊り金物： ※標準仕様書による ・ 化粧吊り金物： ※標準仕様書による ・ アンカー金物： ※標準仕様書による ・ その他金物： ※標準仕様書による ・ 2.3 その他材料 取付用モルタル： ※標準仕様書による ・ 目地用モルタル： ※標準仕様書による ・ 石裏面処理材： ※標準仕様書による ・ 裏打ち処理材： ※標準仕様書による ・ ドレンパイプ： ・SUS304パイプ ・硬質塩化ビニル ・ 金物固定充填材： ※標準仕様書による ・ 3. 外壁湿式工法 石材の厚さ： ・図示 ※25mm以上 ・13mm ・ 石裏面処理： ・行う ・行わない 裏打ち処理： ・行う ・行わない 4. 内壁空積工法 石材の厚さ： ・図示 ※20mm以上 ・13mm ・ 裏打ち処理： ・行う ・行わない 4.3 施工 下地ごしらえ： ※標準仕様書による ・ 目地幅： ・図示 ※6mm以上 ・ 伸縮目地位置： ・図示 ※標準仕様書による ・ 伸縮目地寸法： ・図示 ※標準仕様書による ・15mm ・20mm ・ 目地幅： ・図示 ※6mm以上 ・ 伸縮目地位置： ・図示 ※標準仕様書による ・ 伸縮目地寸法： ・図示 ※標準仕様書による ・15mm ・20mm ・
保証書提出工事	保証箇所	保証年限																																																															
・7ア7b防水	屋根（保護用）	※10年 ・年																																																															
	屋根（露出用）	※10年 ・年																																																															
	浴室・便所	※10年 ・年																																																															
	地下室・貯水槽	※10年 ・年																																																															
・改質7ア7b防水		※10年 ・年																																																															
		※10年 ・年																																																															
・合成高分子ルーフィング 防水		※10年 ・年																																																															
		※10年 ・年																																																															
・塗膜防水		※10年 ・年																																																															
		※10年 ・年																																																															
保証書提出工事	保証箇所	保証年限																																																															
・7ア7b防水	屋根（保護用）	※10年 ・年																																																															
	屋根（露出用）	※10年 ・年																																																															
	浴室・便所	※10年 ・年																																																															
	地下室・貯水槽	※10年 ・年																																																															
・改質7ア7b防水		※10年 ・年																																																															
		※10年 ・年																																																															
・合成高分子ルーフィング 防水		※10年 ・年																																																															
		※10年 ・年																																																															
・塗膜防水		※10年 ・年																																																															
		※10年 ・年																																																															

章	項目	特記事項
10 石工事	5. 乾式工法	
	5.2 材料	石材の厚さ : ・図示 ※25mm以上 ・13mm タポアナの位置 : ※標準仕様書による 石裏面処理 : ・行う ・行わない 裏打ち処理 : ・行う ・行わない
	5.3 施工	外壁に採用する場合の工法 : ・ 目地幅 : ・図示 ※8mm以上
	6.2 床の石張り	6. 床及び階段の石張り 石材の厚さ : ・図示 ※25mm以上 ・13mm 石裏面処理 : ・行う ・行わない 目地幅 : ・図示 ※標準仕様書による ・ねむり目地~3mm
	6.3 階段の石張り	石材の厚さ : ・図示 ※25mm以上 ・13mm 石裏面処理 : ・行う ・行わない
	7.1 適用範囲	7. 特殊部位の石張り 取付け工法 : ・図示 ・外壁湿式工法 ・内壁空積工法 ・乾式工法 石材の厚さ : ・図示 ・25mm 石裏面処理 : ・行う ・行わない 裏打ち処理 : ・行う ・行わない 目地幅 : ・図示 ※6mm以上 伸縮目地の位置 : ・図示 ※標準仕様書による
	7.2 アーチ、上裏等の石張り	石材の厚さ : ・図示 ・25mm 石裏面処理 : ・行う ・行わない 乾式工法取付け代 : ・図示 ※標準仕様書による 石裏面の補強用モルタル : ・適用する ・適用しない
7.3 笠木、甲板等の石張り	石材の厚さ : ・図示 ※40mm	
7.4 隅て板	石材の厚さ : ・図示 ※40mm	

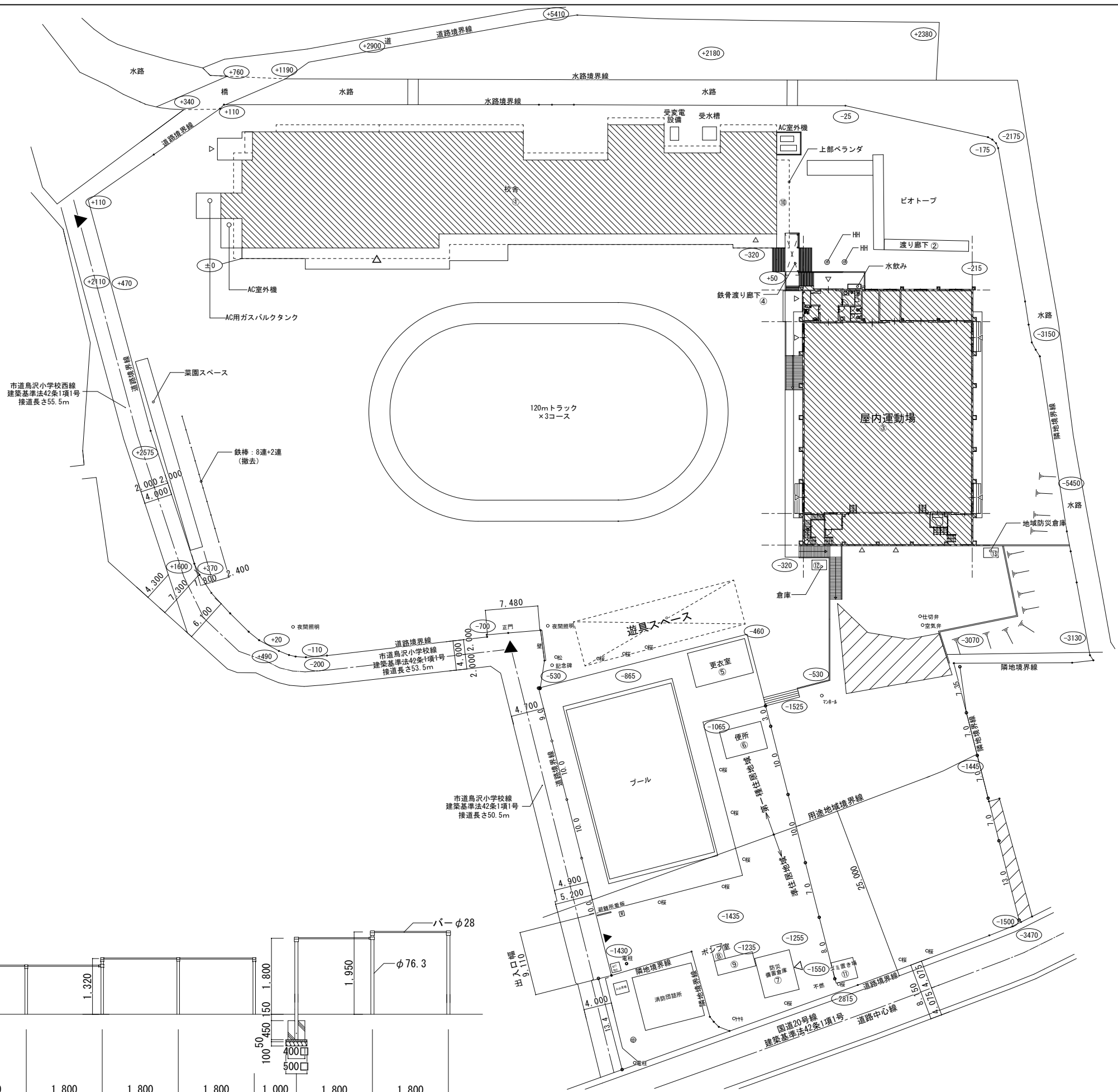
章	項目	特記事項																																																								
11 タイル工事	2. セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り																																																									
	2.2 材料	タイルの種類等 : ・図示 ・下表による																																																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形式・形状寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">用途による区分</th> <th colspan="2">耐凍害性</th> <th colspan="2">色</th> <th colspan="2">釉薬</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>有</th> <th>無</th> <th>標準</th> <th>特注</th> <th>施釉</th> <th>無釉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr> </tbody> </table>	施工箇所	形式・形状寸法 (mm)	用途による区分	耐凍害性		色		釉薬		備考	有	無	標準	特注	施釉	無釉				・	・	・	・	・	・					・	・	・	・	・	・					・	・	・	・	・	・					・	・	・	・	・	・	
	施工箇所	形式・形状寸法 (mm)				用途による区分	耐凍害性		色		釉薬		備考																																													
			有	無	標準		特注	施釉	無釉																																																	
				・	・	・	・	・	・																																																	
				・	・	・	・	・	・																																																	
				・	・	・	・	・	・																																																	
				・	・	・	・	・	・																																																	
	2.7 施工	◎タイルの役物 使用箇所 : ・出隅 ・入隅 ・幅木 ・まぐさ ・窓台 製造方法 : ・接着成型品 ・一体成型品 タイルの見本焼き : ・行う ・行わない タイルの試験張り : ・行う ・行わない ◎壁タイル張り 内装タイルの工法 : ・改良積上げ張り 外装タイルの工法 : ・密着張り ・改良積上げ張り ・改良圧着張り 内装以外のユニットタイルの工法 : ・マスク張り ・モザイクタイル張り																																																								
	3. 接着剤による陶磁器質タイル張り																																																									
3.2 材料	タイルの種類等 : ・図示 ・下表による																																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形式・形状寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">用途による区分</th> <th colspan="2">耐凍害性</th> <th colspan="2">色</th> <th colspan="2">釉薬</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>有</th> <th>無</th> <th>標準</th> <th>特注</th> <th>施釉</th> <th>無釉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>便所床・幅木</td><td>50×50×t7</td><td>磁器質</td><td>○</td><td>・</td><td>○</td><td>・</td><td>○</td><td>・</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr> </tbody> </table>	施工箇所	形式・形状寸法 (mm)	用途による区分	耐凍害性		色		釉薬		備考	有	無	標準	特注	施釉	無釉	便所床・幅木	50×50×t7	磁器質	○	・	○	・	○	・					・	・	・	・	・	・					・	・	・	・	・	・					・	・	・	・	・	・		
施工箇所	形式・形状寸法 (mm)				用途による区分	耐凍害性		色		釉薬		備考																																														
		有	無	標準		特注	施釉	無釉																																																		
便所床・幅木	50×50×t7	磁器質	○	・	○	・	○	・																																																		
			・	・	・	・	・	・																																																		
			・	・	・	・	・	・																																																		
			・	・	・	・	・	・																																																		
3.7 施工	◎タイルの役物 使用箇所 : ・出隅 ・入隅 ・幅木 ・まぐさ ・窓台 製造方法 : ・接着成型品 ・一体成型品 タイルの見本焼き : ・行う ・行わない タイルの試験張り : ・行う ・行わない モルタル塗りコンクリート素地面 : ・素肌 ・MOR工法 ・目荒し工法 (高圧水洗) ◎壁タイル張り 内装タイルの工法 : ・内装タイル接着剤張り 外装タイルの工法 : ・外装タイル接着剤張り 内装以外のユニットタイルの工法 : ・外装タイル接着剤張り																																																									
4. 陶磁器質タイル型枠先付け																																																										
4.2 材料	タイルの種類等 : ・図示 ・下表による																																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形式・形状寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">用途による区分</th> <th colspan="2">耐凍害性</th> <th colspan="2">色</th> <th colspan="2">釉薬</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>有</th> <th>無</th> <th>標準</th> <th>特注</th> <th>施釉</th> <th>無釉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr> </tbody> </table>	施工箇所	形式・形状寸法 (mm)	用途による区分	耐凍害性		色		釉薬		備考	有	無	標準	特注	施釉	無釉				・	・	・	・	・	・					・	・	・	・	・	・					・	・	・	・	・	・					・	・	・	・	・	・		
施工箇所	形式・形状寸法 (mm)				用途による区分	耐凍害性		色		釉薬		備考																																														
		有	無	標準		特注	施釉	無釉																																																		
			・	・	・	・	・	・																																																		
			・	・	・	・	・	・																																																		
			・	・	・	・	・	・																																																		
			・	・	・	・	・	・																																																		
4.3 タイル型枠先付の種類	◎タイルの役物 使用箇所 : ・出隅 ・入隅 ・幅木 ・まぐさ ・窓台 製造方法 : ・接着成型品 ・一体成型品 タイルの見本焼き : ・行う ・行わない タイルの試験張り : ・行う ・行わない タイル型枠のせき板材料 : ※標準仕様書による 小口タイル : ・タイルシート法 ・目地樹法 二丁掛タイル : ・タイルシート法 ・目地樹法 大形タイル : ・積木法																																																									

章	項目	特記事項																																									
12 木工事	1.4 表面仕上げ	1. 一般事項 見え掛り面の表面仕上げの適用箇所、種類 : ・図示 ・下表による <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用箇所</th> <th>種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>・</td><td>・A種 ・B種 ・C種</td></tr> <tr><td>・</td><td>・A種 ・B種 ・C種</td></tr> <tr><td>・</td><td>・A種 ・B種 ・C種</td></tr> <tr><td>・</td><td>・A種 ・B種 ・C種</td></tr> <tr><td>・</td><td>・A種 ・B種 ・C種</td></tr> <tr><td>・</td><td>・A種 ・B種 ・C種</td></tr> <tr><td>・</td><td>・A種 ・B種 ・C種</td></tr> </tbody> </table>	適用箇所	種類	・	・A種 ・B種 ・C種	・	・A種 ・B種 ・C種	・	・A種 ・B種 ・C種	・	・A種 ・B種 ・C種	・	・A種 ・B種 ・C種	・	・A種 ・B種 ・C種	・	・A種 ・B種 ・C種																									
	適用箇所	種類																																									
	・	・A種 ・B種 ・C種																																									
	・	・A種 ・B種 ・C種																																									
	・	・A種 ・B種 ・C種																																									
	・	・A種 ・B種 ・C種																																									
	・	・A種 ・B種 ・C種																																									
	・	・A種 ・B種 ・C種																																									
	・	・A種 ・B種 ・C種																																									
	2.1 木材	2. 材料 木材 (下地材) の含水率 : ※A種 ・B種 木材 (造作材) の含水率 : ※A種 ・B種 代用樹種を適用しない箇所 : ・ ◎製材 ◇JASによる下地用針葉樹製材 : ・下表による (寸法は図示) ・図示 <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用部位</th> <th>樹種</th> <th>区分等級</th> <th>含水率</th> <th>仕上げ</th> <th>防腐防蟻処理</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>全般</td><td>桧</td><td>1級</td><td>SD15</td><td>サグ-</td><td>なし</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>杉</td><td>※2級</td><td>SD20</td><td>サグ-</td><td>なし</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>D15</td><td>フレナ</td><td>なし</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>D20</td><td>フレナ</td><td>なし</td><td></td></tr> </tbody> </table>	使用部位	樹種	区分等級	含水率	仕上げ	防腐防蟻処理	備考	全般	桧	1級	SD15	サグ-	なし			杉	※2級	SD20	サグ-	なし					D15	フレナ	なし					D20	フレナ	なし							
	使用部位	樹種	区分等級	含水率	仕上げ	防腐防蟻処理	備考																																				
全般	桧	1級	SD15	サグ-	なし																																						
	杉	※2級	SD20	サグ-	なし																																						
			D15	フレナ	なし																																						
			D20	フレナ	なし																																						
◇JASによる造作用針葉樹製材 : ・下表による (寸法は図示) ・図示																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>使用部位</th> <th>樹種</th> <th>化粧等級</th> <th>含水率</th> <th>仕上げ</th> <th>防腐防蟻処理</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>窓枠</td><td>ナラ</td><td>無節</td><td>SD15</td><td>サグ-</td><td>なし</td><td></td></tr> <tr><td>床仕上げ板</td><td>杉</td><td>※小節</td><td>SD18</td><td>サグ-</td><td>なし</td><td></td></tr> <tr><td>カーテンボックス</td><td>桧</td><td>※小節</td><td>D15</td><td>フレナ</td><td>なし</td><td></td></tr> <tr><td>段板</td><td></td><td>並</td><td>D18</td><td>フレナ</td><td>なし</td><td></td></tr> <tr><td>巾木</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	使用部位	樹種	化粧等級	含水率	仕上げ	防腐防蟻処理	備考	窓枠	ナラ	無節	SD15	サグ-	なし		床仕上げ板	杉	※小節	SD18	サグ-	なし		カーテンボックス	桧	※小節	D15	フレナ	なし		段板		並	D18	フレナ	なし		巾木						
使用部位	樹種	化粧等級	含水率	仕上げ	防腐防蟻処理	備考																																					
窓枠	ナラ	無節	SD15	サグ-	なし																																						
床仕上げ板	杉	※小節	SD18	サグ-	なし																																						
カーテンボックス	桧	※小節	D15	フレナ	なし																																						
段板		並	D18	フレナ	なし																																						
巾木																																											
◇JASによる広葉樹製材 : ・下表による (寸法は図示) ・図示																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>使用部位</th> <th>樹種</th> <th>区分等級</th> <th>含水率</th> <th>仕上げ</th> <th>防腐防蟻処理</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>全般</td><td>ケヤキ</td><td>特等</td><td>D10</td><td>サグ-</td><td>なし</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>ナラ</td><td>※1等</td><td>D13</td><td>フレナ</td><td>なし</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>2等</td><td></td><td></td><td>なし</td><td></td></tr> </tbody> </table>	使用部位	樹種	区分等級	含水率	仕上げ	防腐防蟻処理	備考	全般	ケヤキ	特等	D10	サグ-	なし			ナラ	※1等	D13	フレナ	なし				2等			なし															
使用部位	樹種	区分等級	含水率	仕上げ	防腐防蟻処理	備考																																					
全般	ケヤキ	特等	D10	サグ-	なし																																						
	ナラ	※1等	D13	フレナ	なし																																						
		2等			なし																																						
◇JAS以外の製材 : ・下表による (寸法は図示) ・図示																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>使用部位</th> <th>樹種</th> <th>材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>寸法</th> <th>防腐防蟻処理</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>全般</td><td>杉</td><td>※A種</td><td>15%</td><td>図示</td><td>なし</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>桧</td><td>B種</td><td>18%</td><td>図示</td><td>なし</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>松</td><td></td><td>20%</td><td></td><td>なし</td><td></td></tr> </tbody> </table>	使用部位	樹種	材面の品質	含水率	寸法	防腐防蟻処理	備考	全般	杉	※A種	15%	図示	なし			桧	B種	18%	図示	なし			松		20%		なし															
使用部位	樹種	材面の品質	含水率	寸法	防腐防蟻処理	備考																																					
全般	杉	※A種	15%	図示	なし																																						
	桧	B種	18%	図示	なし																																						
	松		20%		なし																																						
◎造作用集成材																																											
◇JASによる造作用集成材 : ・下表による (寸法は図示) ・図示																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">使用部位</th> <th rowspan="2">仕上げ</th> <th rowspan="2">樹種</th> <th colspan="2">見付材</th> <th rowspan="2">区分等級</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>面</th> <th>品質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td>仕上有</td><td></td><td>1面</td><td>※1等</td><td>1等</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>未仕上</td><td></td><td></td><td>2等</td><td>2等</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>塗装</td><td></td><td>4面</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	使用部位	仕上げ	樹種	見付材		区分等級	備考	面	品質		仕上有		1面	※1等	1等			未仕上			2等	2等			塗装		4面															
使用部位	仕上げ				樹種	見付材			区分等級	備考																																	
		面	品質																																								
	仕上有		1面	※1等	1等																																						
	未仕上			2等	2等																																						
	塗装		4面																																								
◇JASによる化粧ばり造作用集成材 : ・下表による (寸法は図示) ・図示																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">使用部位</th> <th rowspan="2">仕上げ</th> <th rowspan="2">樹種</th> <th colspan="2">見付材</th> <th rowspan="2">区分等級</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>心材</th> <th>化粧材/厚さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td>仕上有</td><td></td><td>1面</td><td>※1等</td><td>1等</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>未仕上</td><td></td><td></td><td>2等</td><td>2等</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>塗装</td><td></td><td>4面</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	使用部位	仕上げ	樹種	見付材		区分等級	備考	心材	化粧材/厚さ		仕上有		1面	※1等	1等			未仕上			2等	2等			塗装		4面															
使用部位	仕上げ				樹種	見付材			区分等級	備考																																	
		心材	化粧材/厚さ																																								
	仕上有		1面	※1等	1等																																						
	未仕上			2等	2等																																						
	塗装		4面																																								
◇JASによる化粧ばり構造用集成材 : ・下表による (寸法は図示) ・図示																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">使用部位</th> <th rowspan="2">強度等級</th> <th rowspan="2">樹種</th> <th colspan="2">見付材</th> <th rowspan="2">区分等級</th> <th rowspan="2">含水率</th> </tr> <tr> <th>面</th> <th>品質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td>E190-F615</td><td></td><td>1面</td><td>※1等</td><td>1等</td><td>※15%</td></tr> <tr><td></td><td>E105-F345</td><td></td><td></td><td>2等</td><td>2等</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>E65-F255</td><td></td><td>4面</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	使用部位	強度等級	樹種	見付材		区分等級	含水率	面	品質		E190-F615		1面	※1等	1等	※15%		E105-F345			2等	2等			E65-F255		4面															
使用部位	強度等級				樹種	見付材			区分等級	含水率																																	
		面	品質																																								
	E190-F615		1面	※1等	1等	※15%																																					
	E105-F345			2等	2等																																						
	E65-F255		4面																																								
◇JAS以外の化粧ばり造作用集成材 : ・下表による (寸法は図示) ・図示																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">使用部位</th> <th rowspan="2">強度等級</th> <th rowspan="2">樹種</th> <th colspan="2">見付材</th> <th rowspan="2">区分等級</th> <th rowspan="2">含水率</th> </tr> <tr> <th>心材</th> <th>化粧材/厚さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td>E190-F615</td><td></td><td>1面</td><td>※1等</td><td>1等</td><td>※15%</td></tr> <tr><td></td><td>E105-F345</td><td></td><td></td><td>2等</td><td>2等</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>E65-F255</td><td></td><td>4面</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	使用部位	強度等級	樹種	見付材		区分等級	含水率	心材	化粧材/厚さ		E190-F615		1面	※1等	1等	※15%		E105-F345			2等	2等			E65-F255		4面															
使用部位	強度等級				樹種	見付材			区分等級	含水率																																	
		心材	化粧材/厚さ																																								
	E190-F615		1面	※1等	1等	※15%																																					
	E105-F345			2等	2等																																						
	E65-F255		4面																																								
◇JAS以外の化粧ばり構造用集成材 : ・下表による (寸法は図示) ・図示																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">使用部位</th> <th rowspan="2">強度等級</th> <th rowspan="2">樹種</th> <th colspan="2">見付材</th> <th rowspan="2">区分等級</th> <th rowspan="2">含水率</th> </tr> <tr> <th>面</th> <th>品質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td>E190-F615</td><td></td><td>1面</td><td>※1等</td><td>1等</td><td>※15%</td></tr> <tr><td></td><td>E105-F345</td><td></td><td></td><td>2等</td><td>2等</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>E65-F255</td><td></td><td>4面</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	使用部位	強度等級	樹種	見付材		区分等級	含水率	面	品質		E190-F615		1面	※1等	1等	※15%		E105-F345			2等	2等			E65-F255		4面															
使用部位	強度等級				樹種	見付材			区分等級	含水率																																	
		面	品質																																								
	E190-F615		1面	※1等	1等	※15%																																					
	E105-F345			2等	2等																																						
	E65-F255		4面																																								

章	項目	特記事項																								
13 屋根及び 木工事	◎造作用単板積層材																									
	◇JASによる造作用単板積層材 : ・下表による (寸法は図示) ・図示																									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>使用部位</th> <th>仕上げ</th> <th>表面の品質</th> <th>防腐防蟻処理</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td>仕上有</td><td>1等</td><td>なし</td><td>天然木化粧加工</td></tr> <tr><td></td><td>仕上有</td><td>2等</td><td></td><td>塗装加工</td></tr> <tr><td></td><td>未仕上</td><td>3等</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	使用部位	仕上げ	表面の品質	防腐防蟻処理	備考		仕上有	1等	なし	天然木化粧加工		仕上有	2等		塗装加工		未仕上	3等						
	使用部位	仕上げ	表面の品質	防腐防蟻処理	備考																					
		仕上有	1等	なし	天然木化粧加工																					
		仕上有	2等		塗装加工																					
		未仕上	3等																							
	◇JAS以外の造作用単板積層材 : ・下表による (寸法は図示) ・図示																									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>使用部位</th> <th>含水率</th> <th>仕上げ</th> <th>表面の品質</th> <th>防腐防蟻処理</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td>※14%</td><td>仕上有</td><td>1等</td><td>なし</td><td>天然木化粧加工</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>仕上有</td><td>2等</td><td></td><td>塗装加工</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>未仕上</td><td>3等</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	使用部位	含水率	仕上げ	表面の品質	防腐防蟻処理	備考		※14%	仕上有	1等	なし	天然木化粧加工			仕上有	2等		塗装加工			未仕上	3等		
	使用部位	含水率	仕上げ	表面の品質	防腐防蟻処理	備考																				
		※14%	仕上有	1等	なし	天然木化粧加工																				
		仕上有	2等		塗装加工																					
		未仕上	3等																							
◎床張り用合板等																										
◇JASによる普通合板																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>使用部位</th> <th>表板樹種名</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>等級・処理・寸法等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td>ラワン</td><td>※5.5</td><td>※1類</td><td>※2等</td><td>・図示</td></tr> <tr><td></td><td>シナ</td><td>9</td><td>2類</td><td>1等</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>12</td><td></td><td>※C-D</td><td></td></tr> </tbody> </table>	使用部位	表板樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	板面の品質	等級・処理・寸法等		ラワン	※5.5	※1類	※2等	・図示		シナ	9	2類	1等				12		※C-D		
使用部位	表板樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	板面の品質	等級・処理・寸法等																					
	ラワン	※5.5	※1類	※2等	・図示																					
	シナ	9	2類	1等																						
		12		※C-D																						
◇JASによる構造用合板																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>使用部位</th> <th>表板樹種名</th> <th>等級</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>処理・寸法等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td>針葉樹</td><td>1級</td><td>特類</td><td>A-B</td><td>F☆☆☆☆/防虫処理材</td></tr> <tr><td></td><td>シナ</td><td>2級</td><td>1類</td><td>B-C</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>ナラ</td><td></td><td></td><td>D-D</td><td></td></tr> </tbody> </table>	使用部位	表板樹種名	等級	接着の程度	板面の品質	処理・寸法等		針葉樹	1級	特類	A-B	F☆☆☆☆/防虫処理材		シナ	2級	1類	B-C			ナラ			D-D		
使用部位	表板樹種名	等級	接着の程度	板面の品質	処理・寸法等																					
	針葉樹	1級	特類	A-B	F☆☆☆☆/防虫処理材																					
	シナ	2級	1類	B-C																						
	ナラ			D-D																						
◇パーティクルボード																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>使用部位</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>曲げの区分</th> <th>接着の区分</th> <th>難燃性区分</th> <th>等級・処理・寸法等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td>※15</td><td></td><td></td><td>※13P/Ⅲ</td><td>・図示</td></tr> <tr><td></td><td>18</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	使用部位	厚さ (mm)	曲げの区分	接着の区分	難燃性区分	等級・処理・寸法等		※15			※13P/Ⅲ	・図示		18											
使用部位	厚さ (mm)	曲げの区分	接着の区分	難燃性区分	等級・処理・寸法等																					
	※15			※13P/Ⅲ	・図示																					
	18																									
◇構造用パネル																										
	曲げ等級 : ・1級 ・2級 ・3級 ・4級 厚み : ・図示 ・25mm 接着剤の単位面積当り放熱量 : ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆																									
2.3 木レンガ																										
2.* 堅木	樹種 : ・ナラ ・ケヤキ ・サクラ ・クリ ・シオジ 使用箇所 : ・																									
2.* 銘木	種別 : ・真物 ・貼物 樹種 : ・ 使用箇所 : ・																									
3.1 防蟻・防蟻処理	◎薬剤の加圧注入による処理 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>性能区分</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td>・K2 ・K3 ・K4</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>・K2 ・K3 ・K4</td><td></td></tr> </tbody> </table>	施工箇所	性能区分	備考		・K2 ・K3 ・K4			・K2 ・K3 ・K4																	
施工箇所	性能区分	備考																								
	・K2 ・K3 ・K4																									
	・K2 ・K3 ・K4																									
4.1 木材	間仕切軸組の木材の樹種 : ※杉 ※松 土間スラブ以外の床組木材の樹種 : ※杉 ※松 土間スラブ上の床組木材の樹種 : ※桧 ※保存処理木材																									
5.1 木材	5. 窓、出入口その他 吊元枠、水掛りの下枠、敷居の木材の樹種 : ※桧 上記以外の木材の樹種 : ※杉 ※松																									
6.1 木材	6. 床板張り 縁甲板、上がり框の木材の樹種 : ※桧																									
7.1 木材	7. 壁及び天井下地 木材の樹種 : ※杉 ※松																									
2.2 材料	2. 長尺金属板葺 材種 : ※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板材種 ・塗装ステンレス鋼板 ・塗装溶融亜鉛めっき鋼板 板厚 : ○0.4mm ・0.6mm ・0.8mm 下葺材料 : ・アスファルトルーフィング940 ○ゴムアスルーフィング t=1.0 ・改質アスファルトルーフィング (一般947 ・複層基材947 ・粘着層付947) 屋根葺形式 : ・心木なし瓦葺葺 ・立はげ葺 ○平葺 雪止め : ○設置する ・設置しない																									
2.3 工法	3. 折板葺 材種 : ※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板材種 ・塗装ステンレス鋼板 ・塗装溶融亜鉛めっき鋼板 板厚 (mm) : ・1.0 ・0.8 ・0.6 山高 (mm) : ・90 ・150 ・180 軒先面戸板 : ・有 ・無 断熱材張り : ・無 ・有 (材種等 :)																									
3.2 材料																										

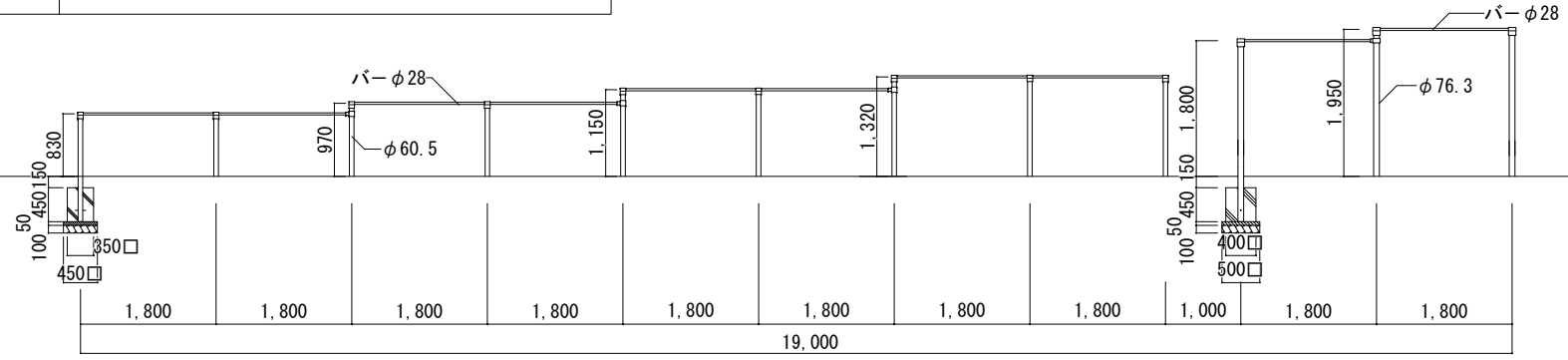
章	項目	特記事項														
14 金属工事	3.3 工法	形式による区分 : ・重ね形又ははげ締め形 ・嵌合式														
	4.2 材料	4. 粘土瓦葺 種類 : ・和瓦 ・洋瓦 区分 : ・軸葉瓦 ・塩焼瓦 大きさ : ・53形 ・64形 産地 : ・石州 ・淡路 ・三州 役物瓦 : ・図示 ・軒先瓦 () ・棟瓦 () ・鬼瓦 () ・隅鬼瓦 () 雪止瓦 : ・使用する ・使用しない 瓦棟の材質 : ※杉又は桧 ・杉 ・桧 瓦棟の寸法 : ※21mm (W) × 15mm (H) ・30mm (W) × 18mm (H)														
	4.3 工法	瓦棟木の留付け工法 : ※標準仕様書による 棟の工法 : ・ 5. とい 軒どいの材種 : ・7A74材被覆鋼板 ○耐候性被覆鋼板 縦どいの材種 : ・配管用鋼管 ○硬質塩化ビニル管 掃除口 : ・有 ○無 飾り板 : ・塩ビ製 ・鋼板製 とい受け金物 : ○ステンレス製 ・亜鉛めっき鋼板製 ルーフトレイン : ・ステンレス製 ・鉄製 ・アルミ製 ○落し口														
	5.2 材料	鋼管製といの防露 : ・行う ・行わない 施工箇所 : ※標準仕様書表13.5.4による														
	1.3 工法	1. 一般事項 あと施工アンカーの引抜き試験 : ・行う ○行わない														
	2.1 珪藻土の表面仕上げ	2. 表面処理 材質 : ・図示 ○SUS304 ・SUS430 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>※HL仕上げ</td><td>使用箇所全て</td></tr> <tr><td>※No. 2B</td><td></td></tr> <tr><td>・パフ (#400)</td><td></td></tr> <tr><td>・サテン仕上げ</td><td></td></tr> <tr><td>・鏡面仕上げ</td><td></td></tr> <tr><td>・</td><td></td></tr> </tbody> </table>	種別	施工箇所	※HL仕上げ	使用箇所全て	※No. 2B		・パフ (#400)		・サテン仕上げ		・鏡面仕上げ		・	
	種別	施工箇所														
	※HL仕上げ	使用箇所全て														
	※No. 2B															
	・パフ (#400)															
	・サテン仕上げ															
・鏡面仕上げ																
・																
2.2 アルミ板及び7A74材合金の表面処理	表面処理 : ・下表による ※標準仕様書による <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>表面処理</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>・B-1種</td><td>標準仕様書による</td><td></td></tr> <tr><td>・B-2種</td><td>標準仕様書による</td><td></td></tr> <tr><td>・A-1種</td><td>標準仕様書による</td><td></td></tr> <tr><td>・D種</td><td>・7A74樹脂焼付塗装 ・7A素樹脂焼付塗装</td><td></td></tr> </tbody> </table>	種別	表面処理	施工箇所	・B-1種	標準仕様書による		・B-2種	標準仕様書による		・A-1種	標準仕様書による		・D種	・7A74樹脂焼付塗装 ・7A素樹脂焼付塗装	
種別	表面処理	施工箇所														
・B-1種	標準仕様書による															
・B-2種	標準仕様書による															
・A-1種	標準仕様書による															
・D種	・7A74樹脂焼付塗装 ・7A素樹脂焼付塗装															
2.3 鉄鋼の亜鉛めっき	陽極酸化皮膜の着色方法 : ※二次電解着色 ・アクル樹脂焼付塗装 ・静電塗装 ・フッ素樹脂焼付塗装															
4.2 材料	4. 軽量鉄骨天井下地 種類 : ※標準仕様書表14.4.2による															
4.3 形状及び寸法	屋外の野縁受け、吊りボルト、インサートの間隔 : ・≧900mm															
4.4 工法	屋外の野縁の間隔 : ※標準仕様書表14.4.2による 吊ボルト間隔が900mmを超える場合の補強方法 : ・図示 天井ふところが1.5mを超える場合の補強方法 : ※標準仕様書による ・図示 天井ふところが3.0mを超える場合の補強方法 : ・図示															
5.3 形状及び寸法	5. 軽量鉄骨壁下地 種類 : ・50形 ・65形 ・90形 ・100形															
6.2 材料	6. 金属成形板張り <table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>アルミニウム</th> <th>ガルバリウム鋼板</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>製法</td><td>・押出し ・プレス ・ロール</td><td>・押出し ・プレス ・ロール</td></tr> <tr><td>表面処理</td><td colspan="2">・55%アルミ-亜鉛合金めっき処理</td></tr> </tbody> </table>	材種	アルミニウム	ガルバリウム鋼板	製法	・押出し ・プレス ・ロール	・押出し ・プレス ・ロール	表面処理	・55%アルミ-亜鉛合金めっき処理							
材種	アルミニウム	ガルバリウム鋼板														
製法	・押出し ・プレス ・ロール	・押出し ・プレス ・ロール														
表面処理	・55%アルミ-亜鉛合金めっき処理															
6.3 工法	取付け用下地 : ※標準仕様書による															
7.2 材料	7. アルミニウム製笠木 種類 : ・250形 ・300形 ・350形 ・図示 表面処理 : ・A-1種 ・A-2種															
7.3 工法	耐風圧、耐積雪対応固定方法 : ・製造メーカー仕様による															

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項								
18 塗装工事	6.2 塗料塗り	6. アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD) 種類: ・A種 ※B種	4.3 工法	4. 合成樹脂塗床	種類	仕上げ種類	備考	20 ユニット及びその他工事	2. ユニット工事等	施工箇所	材質・形状・寸法	表面仕上材質・形状・寸法							
	7.4 コクリート面等塗料塗り	7. 耐候性塗料塗り (DP) 種類: ・A種 ・B種 ・C種		・弾性汎用塗床材 ※平滑 ・防汚 ・つや消し ◎珪 矽樹脂塗床材 ◎薄膜流し展べ: ※平滑 ◎防汚 ・厚膜流し展べ: ※平滑 ・防汚 ・樹脂モルタル: ・平滑 ・防汚	・7M ² /t ² 以上: 450×450×50 ・帯電防止ビニル床材: 450×450×2.5 ・5F ² : 500×500×50 ・タタカベツ: 500×500×6.5 ・樹脂製: 500×500×50	2.2 フラアタア	耐震性能: ・0.6G ・1.0G 所定荷重: ・3.000N ・5.000N 耐衝撃性能: ・0.6G ・1.0G 帯電防止性能: ・ 漏えい抵抗: ・ ◇試験 耐荷重性能: ※標準仕様書による 耐衝撃性能: ※標準仕様書による ローリングロード性能: ※標準仕様書による 耐燃焼性能: ※標準仕様書による 適用地震時水平力: ※標準仕様書による 寸法精度: ※±0.5mm		4.3 工法	縁積みの工法: ※谷積み ・布積み 目塗り: ・行方 ・行わない 伸縮目地材の材質及び厚さ: ・図示 ・エラストイトt=10 * . その他工事 笠木: ・ビニル製 ・造作用集成材 ◎ステンレス 受け材: ・スチール ◎ステンレス									
	8.2 ***塗料塗り	8. つや有合成樹脂エマルションペイント塗り (EP-G) コンクリート面: ・A種 ※B種 モルタル面: ・A種 ※B種 プラスチック面: ・A種 ※B種 せっこうボード面: ・A種 ※B種 その他ボード面: ・A種 ※B種		5. フローリング張り	種類	材種	工法		形式寸法等(mm)L×W×t	2.3 可動間仕切	構造形式による種類: ・S ・P ・SP ・M ・O ・F 構成材の種類: ・N ・D ・W ・AL ・ST ・E ・W ・st 遮音性: ・0 ・12 ・20 ・28 ・36 パネルのホルムアルデヒド放散量: ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ パネル表面仕上げ: ・ 取付建具形状・寸法: ・図示	*.1 階段手すり	*.2 カーテン ブラインドボックス	材質の種類: ・木製 ・スチール製 ・アルミ製 ボックスの種類: ・カーテン ・ブラインド ・スクリーン					
	8.4 鉄鋼面塗料塗り	9. 合成樹脂エマルションペイント塗り (EP) 種類: ・A種 ※B種		6. フローリング張り	種類	材種	工法		形式寸法等(mm)L×W×t	2.4 移動間仕切	パネルの操作による種類: ・ パネル表面材の材質、仕上げ: ・ パネル圧接装置の操作方法: ・ 遮音性能: ・ ハンガーレール取付け下地の補強: ※標準仕様書による あと施工アンカーの材質、寸法等: ・	*.3 ロールスクリーン	操作方法: ・ブルコド式 ・チェーン式 材質、品質等: ・図示 巾・高さ: ・図示	*.4 黒板及び ホワイトボード	黒板の種類/色彩/枠: ・焼付け/縁/アルミニウム合金 ・焼付け/黒/木製 ホワイトボードの種類/色彩/枠: ・ほうろう/白/アルミニウム合金				
	9.2 塗料塗り	10. 合成樹脂エマルション模様塗料塗り (EP-T) 種類: ・A種 ※B種		7. せっこうボードその他ボード及び合板張り	規格名称	種類	記号		厚さ(mm)	2.5 トイレブース	パネル表面材材質: ◎メラミン樹脂化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板 パネルのホルムアルデヒド放散量: ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ 脚部の形状: ・幅木型 ◎足金物型 材質: ・ステンレス製タイヤ入り ・床材一体型ビニルシート 形状・寸法: ・図示 取付工法: ・接着工法 ・埋込み工法	*.5 建物館板	種類: ・館名板 ・融資館名板 寸法/材質/仕上げ: ・ 文字数/字体: ・ 字程度/ 体	*.6 案内板	枠材/形状: ・図示 ・ステンレス製/				
	10.2 ***塗料塗り	11. ウレタン樹脂ワニス塗り (UC) 種類: ・A種 ※B種		8. 現場塗装仕上げ	木質系ワト板	・木毛ワト板 ・木片ワト板	・HW ・NW ・HF ・NF		・25 ・50 ・	2.6 階段滑り止め	パネルのホルムアルデヒド放散量: ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ 形状・寸法: ・図示 取付工法: ・接着工法 ・埋込み工法	*.7 掲示板	枠材/形状: ・アルミ製/t=1.0mm ・木製/t=・ 仕上材: ・特殊発泡加工ビニル貼(周囲押縁)	*.8 コーナービード	材質: ・図示 ・ステンレス ・アルミニウム合金 ・真鍮 高さ: ・図示 ・1.8m程度 ・天井まで				
	11.2 塗料塗り	12. ラッカーエナメル塗り (LE) 種類: ・A種 ※B種		6.2 材料	せっこうボード製品	◎シーリングせっこうボード ◎強化せっこうボード ◎せっこうタタキ ◎化粧せっこうボード(15M ² タイプ) ◎化粧せっこうボード ◎普通硬質せっこうボード	GB-R GB-S GB-F GB-L GB-D GB-R-H GB-R-H		◎9.5・12.5 ◎9.5 ◎12.5・15.0 ◎9.5・7 ◎9.5・12.5 ◎9.5・12.5 ◎9.5・12.5	2.9 鏡	厚さ: ・5mm ・8mm	*.9 天井見切り縁	材質: ・アルミ製 ・塩化ビニル製	*.10 床見切押え金物	材質: ・ステンレス製 形状: ・への字型/幅 mm ・ハット型: ・目地棒型: 6mm				
	12.2 塗料塗り	14. 木材保護塗料塗り (WP) 種類: ・A種 ※B種		7.2 材料	繊維強化ワト板	◎ケ酸加シム板(9472) ◎化粧ケ酸加シム板	◎0.8FK ◎0.8FK		◎6・8・10 ◎6・8・10	2.10 表示	種類	形状・寸法	材質	*.11 ジョイナー	材質: ・塩化ビニル製				
	14.2 塗料塗り	2. ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り ビニル床シートの材料: ◎図示 ・下表による		◎合板	防火性ガラス質複層板(VSボード)					2.11 煙突ライニング	ライニング材: ・ゾノ付体系建築加シム材 ・心材付繊維積層ライニング材 適用安全使用温度: ・	*.12 既製間仕切	材質: ・図示 ・化粧鋼板製 組立形式: ・図示 ・パネル式 ・スタッド式 耐火性能: ・不燃 ・準不燃 ・難燃	*.13 コーナービード	表面材: ・図示 ・ビニルレザー張り 形式: ・図示 ・パネル式 ・片開 折りたたみ幅(mm): ・図示				
	19 内装工事	2.2 材料		種類	記号	色柄	厚さ(mm)		◎帯電防止床シート張り ◎帯電防止床タイル張り 種類: ・ 性能: ・体積抵抗値(1.0×10 ⁵ Ω) 厚さ: ・2.0mm ・4.0mm ・4.5mm ◎視覚障害者用床タイル張り 種類: ・合成ゴム貼付用 ・合成ゴム埋込用 ・合成ゴム裏面CON ・せっこう質タイル ・コンクリート 厚み: ・2mm ・15mm ・20mm ・30mm ◎耐動荷重性床シート張り 種類: ・ 厚み: ・ mm ビニル幅木の厚み: ※1.5mm以上 ビニル幅木の高さ: ※60mm ・100mm ・300mm 接着剤のホルムアルデヒド放散量: ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆	種類	厚さ(mm)	2.12 ブラインド	形式	機型ブラインド	縦型ブラインド	*.14 スライディング	パネル厚さ: ・図示 表面仕上げ: ・図示 接点の接床処理: ・有 ・無		
		2.3 施工		下地の工法: ・図示 ※標準仕様書による 熱溶接工法: ・適用する ・適用しない	◎ビクトグラフ	◎図示	◎180×180		◎図示	◎アルミ板/シタスクリュー図示 ・案内板	◎アルミ板/シタスクリュー ・アルミ板/カチングシート	◎アルミ板/シタスクリュー ・アルミ板/カチングシート ・アルミ板/カチングシート	*.15 天井点検口	材質等: ◎アルミ既製品(内外枠共) 寸法(mm): ◎450×450 ・600×600					
		3.3 材料		◎織じゅうたん 種類: ・A種 ・B種 ・C種 バイル形状: ・カットバイル ・ループバイル ・カット/ループ併用 色柄: ・無地 ・柄物 帯電性の適用: ・適用しない ・適用する(人体帯電圧: ※3kV以下) ◎タフテッドカーペット バイル形状: ・ループ ・カット バイル長: ・図示 ・mm ◎ニードルパンチカーペット 厚さ: ・4mm ・7mm ◎タイルカーペット	◎特殊加工化粧合板	表面仕上げの種類 ・メラミン ・ポリエステル	・4.0 ・3.0		・A種 ・B種	2.13 ロールスクリーン	操作方法: ・ブルコド式 ・チェーン式 巾・高さ: ・図示 材質・品質等: ・図示	2.14 カーテン及び カーテンレール	カーテンレール: ◎図示 ◎シングル ・ダブル きれ地の品質	ひだの種類	形式	引分装置	施工箇所	*.16 床下点検口	材質: ◎ステンレス既製品(目地材質共) 寸法(mm): ・450×450 ◎600×600
		2.3 施工		◎断熱張り	防火性能の指定: ・下表による ・図示	◎素地ごしらえ	モルタル面及びプラスチック面: ・A種 ※B種 せっこうボード及びその他ボード面: ・A種 ※B種		9. 断熱・防露	種類	種別	厚さ(mm)	3.2 材料	補強鉄線の寸法: ・図示 ・φ3.2×100×100 ・φ3.2×50×50	*.17 屋上点検口	材質: ・木製(・米松 ・米桐) ・アルミプレート(厚さ: ・3.0mm)	*.18 換気扇取付け枠	材質等: ・硬質塩化ビニル管50φ(内側ステンレス製防虫網外側折付エルボ型) ◎床下換気金物 ・鍍鉄(コールタール焼付厚9mm) ・樹脂製 ・ステンレス金網裏打ち ・裏打ちなし ◎レジスター、固定ガラリ ・既製品(外部水切り付固定ガラリ、内部ステンレス製防虫網(外壁取付時))	
		3.4 工法		◎下敷き材 下敷き材: ※反毛フェルト第2種2号(厚9mm) タフテッドカーペットの工法: ・グリッパー工法 ・全面接着工法 タイルカーペットの敷き方(平場): ※市松敷き (階段部分): ※模様流し	◎オレフィン系	・1級 ・2級				3.3 製作	コンクリートの設計基準強度: ・図示 ※標準仕様書による 鉄筋の配筋: ・図示 ※標準仕様書による	3.4 養生その他	取付方法: ・図示	4. 間知石及びコンクリート間知ブロック積み	間知石の材質: ・竜岩石 ・御影石 コンクリート間知ブロック面の形状: ・長方形 ・正方形 ・H型 ・六角形 JISによる質量区分: ※ブロックA ・ブロックB	*.19 換気口	材質等: ・硬質塩化ビニル管50φ(内側ステンレス製防虫網外側折付エルボ型) ◎床下換気金物 ・鍍鉄(コールタール焼付厚9mm) ・樹脂製 ・ステンレス金網裏打ち ・裏打ちなし ◎レジスター、固定ガラリ ・既製品(外部水切り付固定ガラリ、内部ステンレス製防虫網(外壁取付時))		
2.3 施工		◎タイルカーペット	◎オレフィン系	・1級 ・2級			3.4 養生その他	取付方法: ・図示	4.2 材料	間知石の材質: ・竜岩石 ・御影石 コンクリート間知ブロック面の形状: ・長方形 ・正方形 ・H型 ・六角形 JISによる質量区分: ※ブロックA ・ブロックB	*.20 マンホールカバー	種類: ・一般型 ・防水型 ・防臭型 性能: ・防水防臭型(・化粧型 ・一般用) 鍵: ・有 ・無	*.21 番拭きマット	材質: ・塩化ビニル又はゴム/受枠: ステンレス鋼 ・硬質アルミニウム合金 ステンレス板 水接パイプ: ・有 ・無					
2.3 施工		◎タイルカーペット	◎オレフィン系	・1級 ・2級			2.11 煙突ライニング	ライニング材: ・ゾノ付体系建築加シム材 ・心材付繊維積層ライニング材 適用安全使用温度: ・	2.12 ブラインド	形式	機型ブラインド	縦型ブラインド	*.22 浴槽	種類: ・A種 ・B種(・ホーロー ・FRP ・ステンレス)	*.23 すのこ	材質: ・木製(・ヒノキ ・ヒバ ・米松 ・台松) ・合成樹脂(既製品)			
2.3 施工		◎タイルカーペット	◎オレフィン系	・1級 ・2級			2.12 ブラインド	形式	機型ブラインド	縦型ブラインド	*.24 屋上丸壇	材質: ・ステンレス鋼	*.25 避難ハッチ等	材質: ・ステンレス(アラームはネジ巻き式)	*.26 フェンス	材質: ・ステンレス ・スチール ◎アルミ (・ビニル被覆エキスパンドフェンス ◎樹脂塗装メッシュフェンス) UNフェンス A型、目かくしフェンス AM型(朝日スチール工業) 同等以上			
2.3 施工		◎タイルカーペット	◎オレフィン系	・1級 ・2級			2.13 ロールスクリーン	操作方法: ・ブルコド式 ・チェーン式 巾・高さ: ・図示 材質・品質等: ・図示	2.14 カーテン及び カーテンレール	カーテンレール: ◎図示 ◎シングル ・ダブル きれ地の品質	ひだの種類	形式	引分装置	施工箇所	*.27 フェンス	材質: ・ステンレス ・スチール ◎アルミ (・ビニル被覆エキスパンドフェンス ◎樹脂塗装メッシュフェンス) UNフェンス A型、目かくしフェンス AM型(朝日スチール工業) 同等以上			
2.3 施工		◎タイルカーペット	◎オレフィン系	・1級 ・2級			2.13 ロールスクリーン	操作方法: ・ブルコド式 ・チェーン式 巾・高さ: ・図示 材質・品質等: ・図示	2.14 カーテン及び カーテンレール	カーテンレール: ◎図示 ◎シングル ・ダブル きれ地の品質	ひだの種類	形式	引分装置	施工箇所	*.28 フェンス	材質: ・ステンレス ・スチール ◎アルミ (・ビニル被覆エキスパンドフェンス ◎樹脂塗装メッシュフェンス) UNフェンス A型、目かくしフェンス AM型(朝日スチール工業) 同等以上			
2.3 施工		◎タイルカーペット	◎オレフィン系	・1級 ・2級			2.13 ロールスクリーン	操作方法: ・ブルコド式 ・チェーン式 巾・高さ: ・図示 材質・品質等: ・図示	2.14 カーテン及び カーテンレール	カーテンレール: ◎図示 ◎シングル ・ダブル きれ地の品質	ひだの種類	形式	引分装置	施工箇所	*.29 フェンス	材質: ・ステンレス ・スチール ◎アルミ (・ビニル被覆エキスパンドフェンス ◎樹脂塗装メッシュフェンス) UNフェンス A型、目かくしフェンス AM型(朝日スチール工業) 同等以上			
2.3 施工		◎タイルカーペット	◎オレフィン系	・1級 ・2級			2.13 ロールスクリーン	操作方法: ・ブルコド式 ・チェーン式 巾・高さ: ・図示 材質・品質等: ・図示	2.14 カーテン及び カーテンレール	カーテンレール: ◎図示 ◎シングル ・ダブル きれ地の品質	ひだの種類	形式	引分装置	施工箇所	*.30 フェンス	材質: ・ステンレス ・スチール ◎アルミ (・ビニル被覆エキスパンドフェンス ◎樹脂塗装メッシュフェンス) UNフェンス A型、目かくしフェンス AM型(朝日スチール工業) 同等以上			

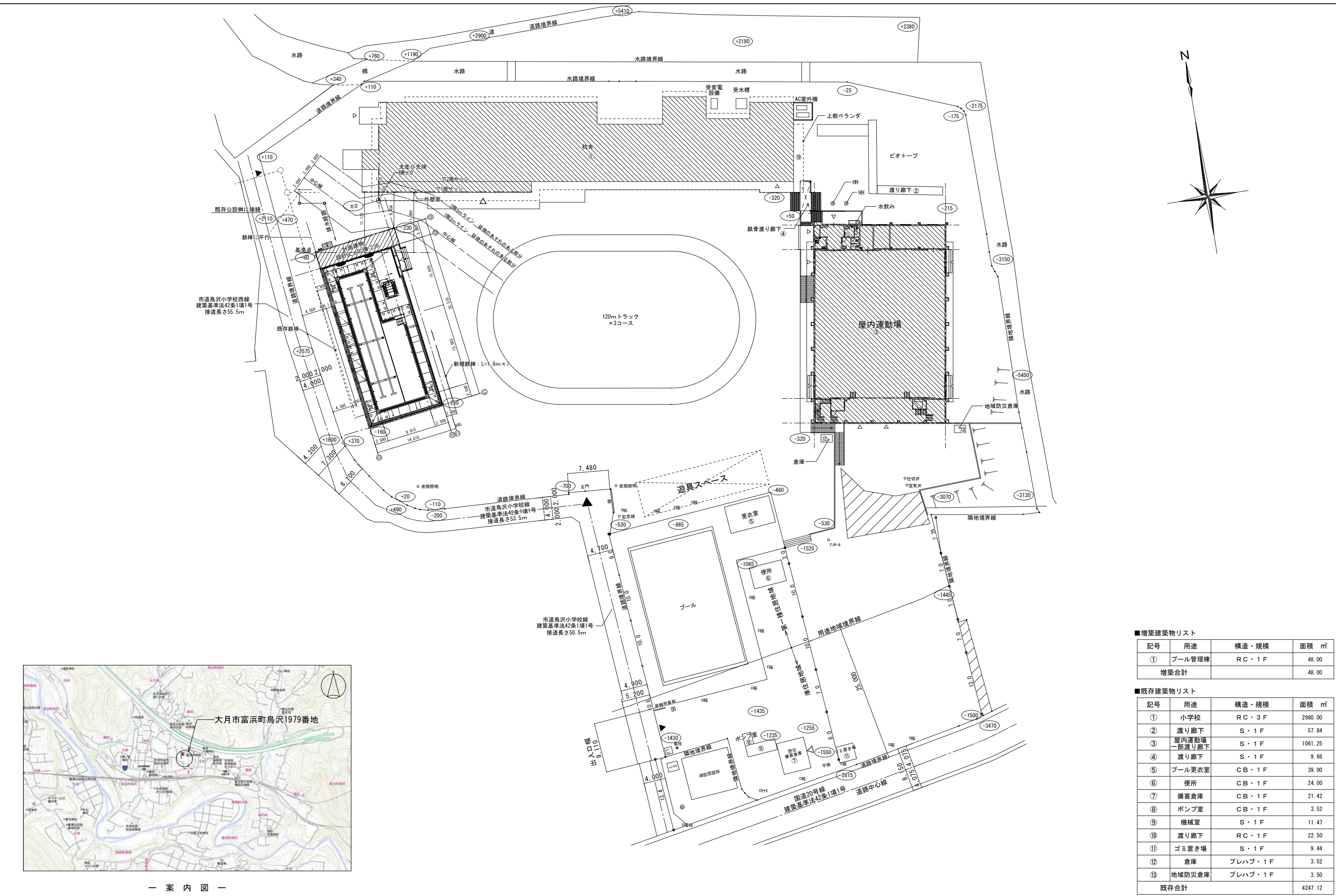


■解体リスト

鉄棒	全長 18m
	支柱φ60.5
	支柱φ76.3
	バーφ28 3.6m×4本、1.8m×2本
	基礎 350×350×450×9箇所、400×400×450×3箇所



既存鉄棒立面図 S=1/50



■増築建築物リスト

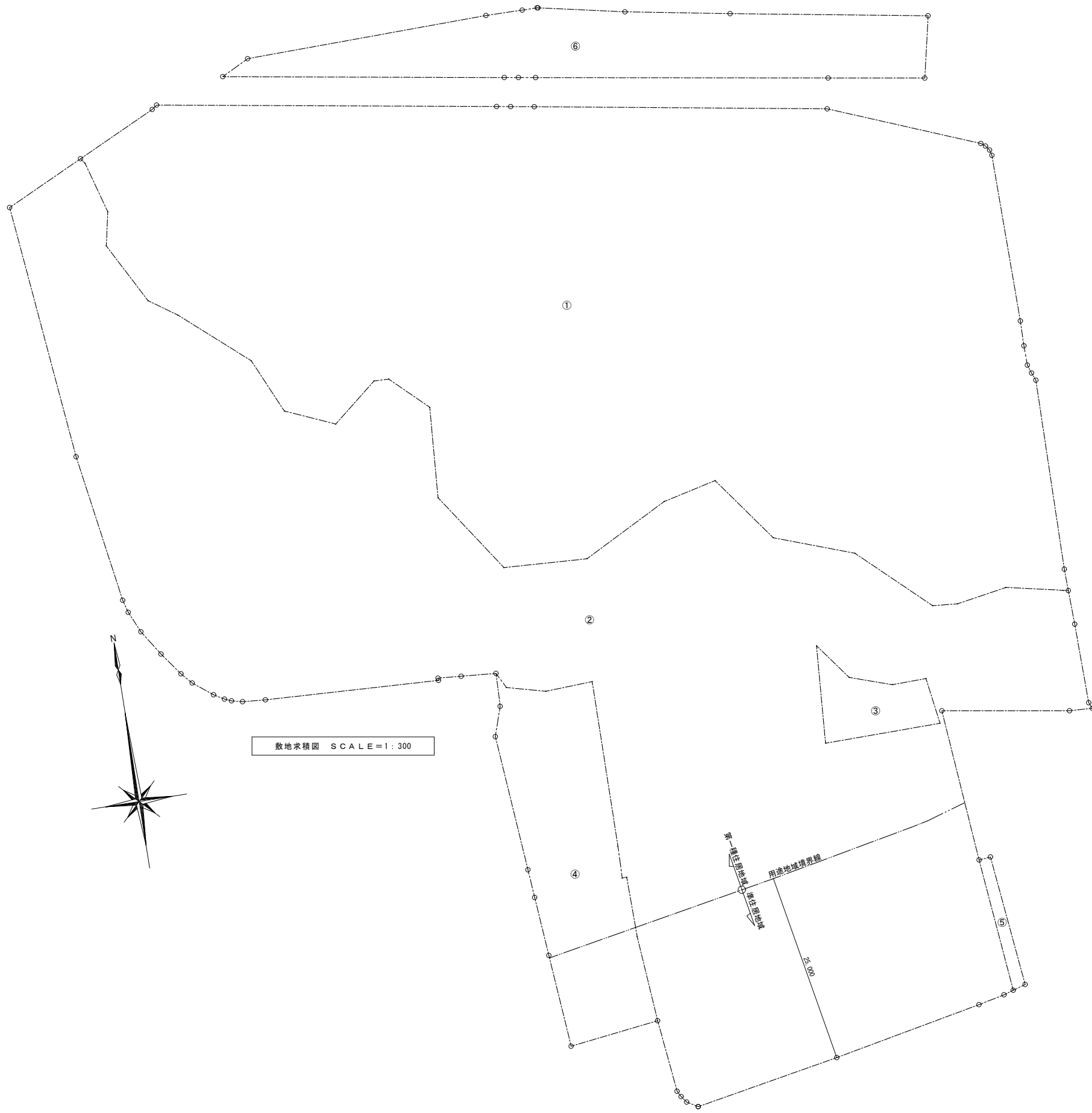
記号	用途	構造・規模	面積 m ²
①	プール管理棟	RC・1F	48.00
増築合計			48.00

■既存建築物リスト

記号	用途	構造・規模	面積 m ²
①	小学校	RC・3F	2980.00
②	渡り廊下	S・1F	57.84
③	屋内運動場 一部渡り廊下	S・1F	1061.25
④	渡り廊下	S・1F	9.66
⑤	プール更衣室	CB・1F	39.00
⑥	便所	CB・1F	24.00
⑦	備蓄倉庫	CB・1F	21.42
⑧	ポンプ室	CB・1F	3.52
⑨	機械室	S・1F	11.47
⑩	渡り廊下	RC・1F	22.50
⑪	ゴミ置き場	S・1F	9.44
⑫	倉庫	プレハブ・1F	3.52
⑬	地域防災倉庫	プレハブ・1F	3.50
既存合計			4247.12

— 案内図 —





①

X座標	Y座標
-43133.287	45728.717
-43132.578	45728.215
-43127.641	45738.558
-43127.167	45739.208
-43134.365	45783.407
-43134.664	45785.243
-43135.163	45788.305
-43141.481	45826.391
-43149.142	45845.661
-43149.582	45846.220
-43150.180	45846.661
-43150.916	45846.852
-43173.037	45847.138
-43176.356	45847.099
-43178.930	45847.147
-43180.048	45847.519
-43181.059	45847.947
-43206.228	45847.748
-43209.100	45847.833
-43208.954	45847.138
-43207.403	45839.771
-43208.535	45833.166
-43208.274	45829.866
-43199.849	45820.826
-43196.144	45810.524
-43187.509	45804.146
-43189.177	45797.073
-43195.028	45785.862
-43194.477	45774.868
-43184.038	45767.742
-43172.099	45768.524
-43167.592	45763.762
-43167.530	45761.812
-43172.349	45755.951
-43169.591	45749.533
-43162.378	45746.259
-43154.896	45737.638
-43152.429	45734.062
-43144.433	45729.762
-43140.007	45730.654
計算面積	5930.5917890
面積	5930.592 m ²

②

X座標	Y座標
-43209.100	45847.833
-43213.606	45847.967
-43224.124	45848.172
-43224.918	45848.533
-43224.772	45845.508
-43222.140	45828.897
-43223.715	45828.395
-43217.619	45827.497
-43217.720	45823.033
-43215.881	45817.530
-43211.098	45813.931
-43223.953	45813.099
-43223.715	45828.395
-43222.140	45828.897
-43242.312	45830.669
-43259.881	45832.420
-43259.963	45832.428
-43260.362	45831.133
-43261.121	45827.681
-43265.080	45808.082
-43268.606	45789.064
-43268.597	45789.049
-43267.770	45787.638
-43266.944	45787.040
-43266.164	45786.614
-43256.596	45785.527
-43245.241	45784.595
-43237.283	45784.459
-43237.313	45783.858
-43233.065	45783.949
-43211.136	45783.997
-43211.438	45777.780
-43210.126	45772.717
-43208.094	45771.655
-43207.745	45767.068
-43207.512	45764.015
-43207.814	45764.022
-43206.784	45741.121
-43206.549	45738.113
-43206.206	45736.684
-43205.840	45735.800
-43205.043	45734.475
-43203.079	45731.935
-43201.654	45730.663
-43198.667	45728.482
-43195.354	45726.317
-43192.562	45725.069
-43190.865	45724.595
-43171.244	45721.490
-43137.458	45717.989
-43132.578	45728.215
-43133.287	45728.717
-43140.007	45730.654
-43144.433	45729.762
-43152.429	45734.062
-43154.896	45737.638
-43162.378	45746.259
-43169.591	45749.533
-43172.349	45755.951
-43167.530	45761.812
-43167.592	45763.762
-43172.099	45768.524
-43184.038	45767.742
-43189.177	45797.073
-43195.028	45785.862
-43194.477	45774.868
-43189.509	45804.146
-43196.144	45810.524
-43199.849	45820.826
-43208.274	45829.866
-43208.535	45833.166
-43207.403	45839.771
-43208.954	45847.138
計算面積	5842.5600755
面積	5842.560 m ²

③

X座標	Y座標
-43211.098	45813.931
-43215.881	45817.530
-43217.720	45823.033
-43217.619	45827.497
-43223.715	45828.395
-43223.953	45813.099
計算面積	111.5461720
面積	111.546 m ²

④

X座標	Y座標
-43256.596	45785.527
-43258.122	45773.745
-43245.863	45772.725
-43238.023	45772.072
-43234.293	45771.762
-43216.300	45770.265
-43212.455	45771.512
-43208.094	45771.655
-43210.126	45772.717
-43211.438	45777.780
-43211.136	45783.997
-43233.065	45783.949
-43237.313	45783.858
-43237.283	45784.459
-43245.241	45784.595
計算面積	580.2485975
面積	580.249 m ²

⑤

X座標	Y座標
-43259.449	45834.095
-43259.963	45832.428
-43259.881	45832.420
-43242.312	45830.669
-43242.155	45832.212
計算面積	28.6527930
面積	28.653 m ²

⑥

X座標	Y座標
-43131.457	45841.429
-43139.489	45839.717
-43137.481	45827.148
-43131.401	45789.088
-43131.040	45786.851
-43130.743	45785.014
-43124.827	45748.402
-43123.008	45752.011
-43122.311	45783.910
-43122.346	45788.738
-43122.361	45790.721
-43122.385	45790.836
-43124.691	45802.072
-43127.097	45815.714
計算面積	664.7120625
面積	664.712 m ²

合計 ① ~ ⑥ 13,158.312 m²

共通事項

- 1.各項目の※及び・の適用は特記仕様書と同じとする。
2.(〇-〇〇-〇)内の数字は詳細図番号を示す。
3.特記以外の床部は、EP-Gとする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。
4.特記以外の鉄面、亜鉛めっき面は、SOP塗りとする。
5.特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室は、下記のとおりとする。
「男女更衣室・便所」
6.略号は下記による。
7.付属物のうち、室名札、誘導標識、ピクトグラフ、床点検口などの位置は平面図による。
8.付属物のうち、カーテンボックス、カーテンレール、ブラインド、天井点検口などの位置は天井伏図による。
9.特記以外の柱・梁・下がり壁は壁仕仕上げによる。

Table with columns for material codes (RC, ALC, etc.) and their corresponding specifications for floor and wall treatments.

Table listing various floor and wall materials such as vinyl sheets, tiles, and laminates with their respective codes and descriptions.

Table detailing ceiling materials including gypsum boards, acoustic panels, and other ceiling treatments.

Table listing interior finish materials and their specifications, including wall coverings and floor treatments.

Table providing detailed specifications for various construction materials and components, including waterproofing and floor treatments.

内部仕上げ

Table detailing floor and wall finish specifications, including material types and application methods.

Table detailing ceiling finish specifications, including material types and application methods.

Table detailing wall and partition specifications, including material types and application methods.

Table detailing ceiling board specifications, including material types and application methods.

Table detailing ceiling board specifications, including material types and application methods.

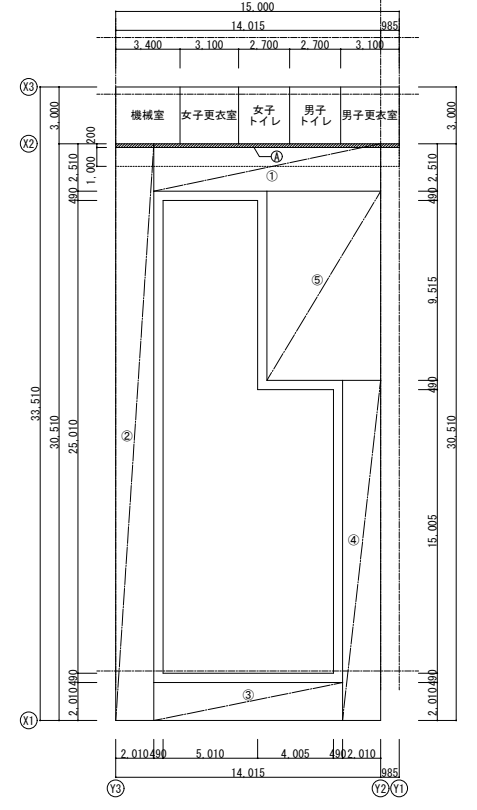
Table detailing interior finish specifications, including wall coverings, floor treatments, and other interior materials.

Table detailing floor specifications, including material types and application methods.

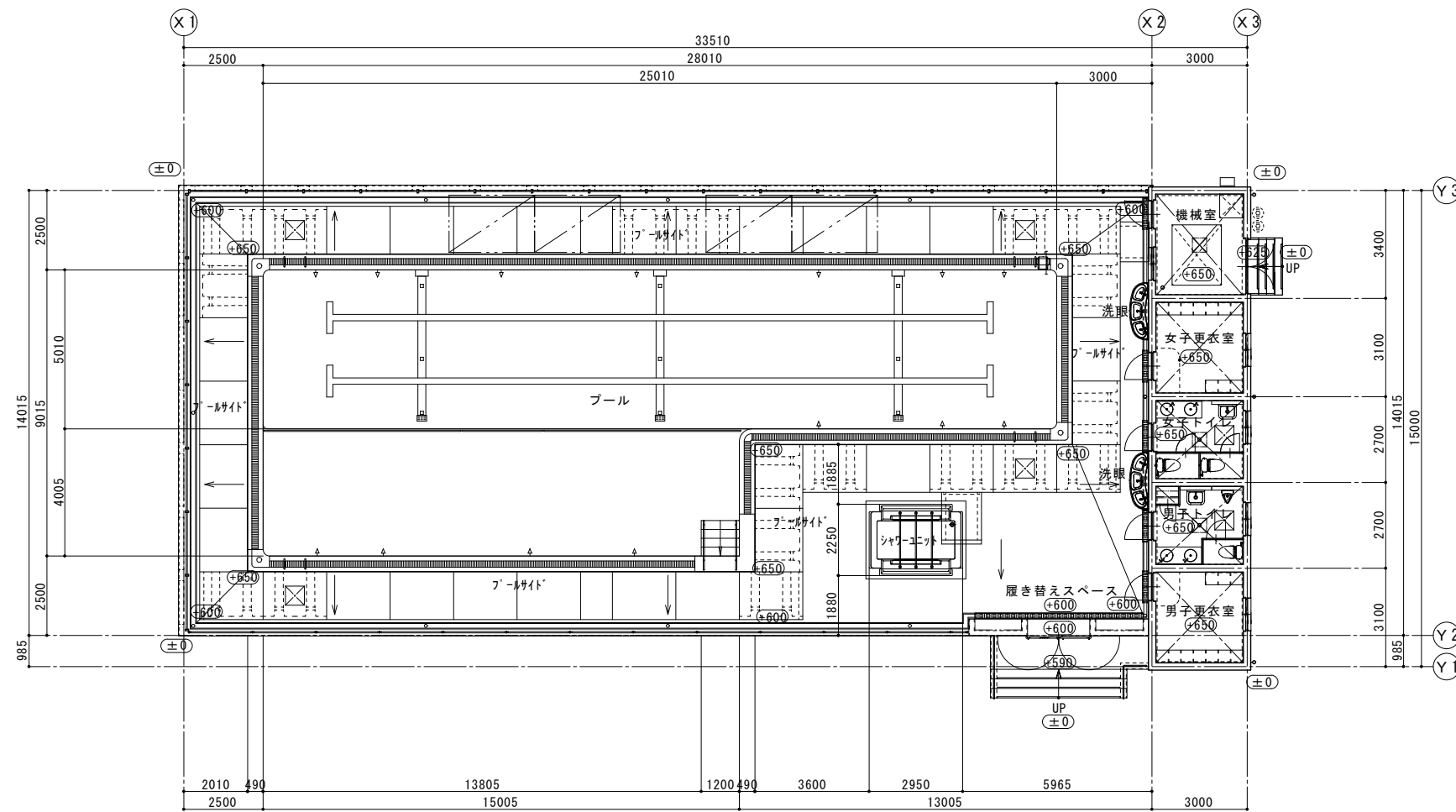
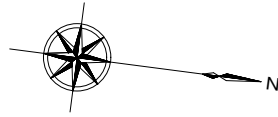
Table detailing special items and notes regarding interior finishes and materials.

Main table for building area calculation, listing room names (男子更衣室, 男子トイレ, etc.), dimensions, and area calculations.

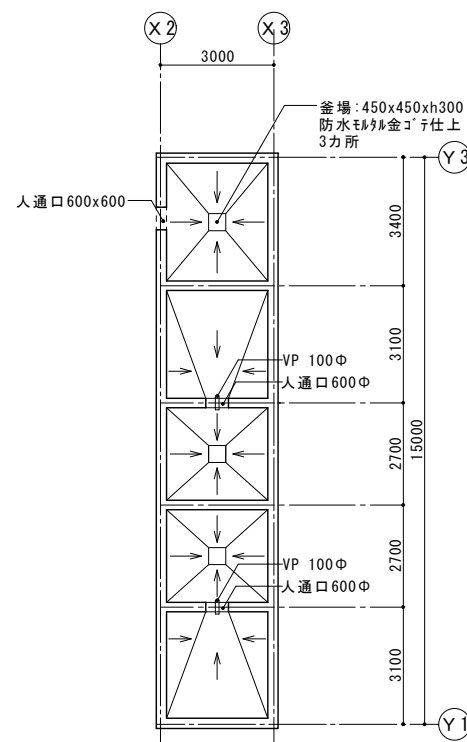
■建物面積積算



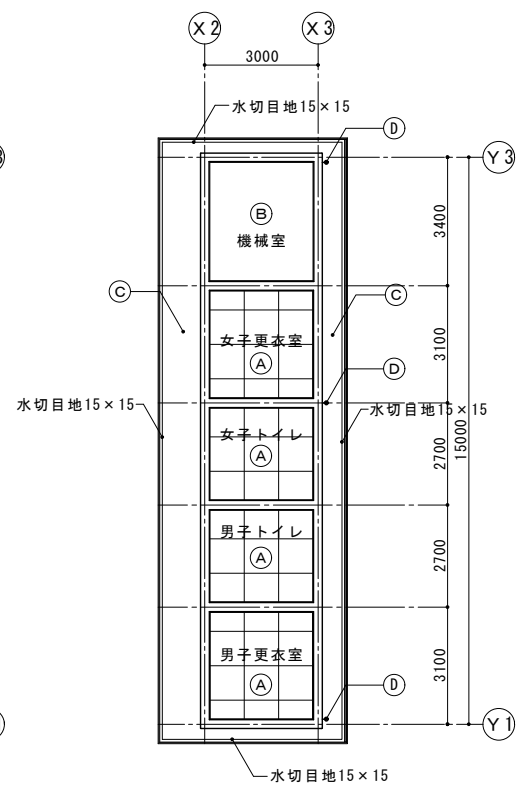
Summary table for building area calculation, showing room names, area calculations, and total area.



平面図 S=1/100

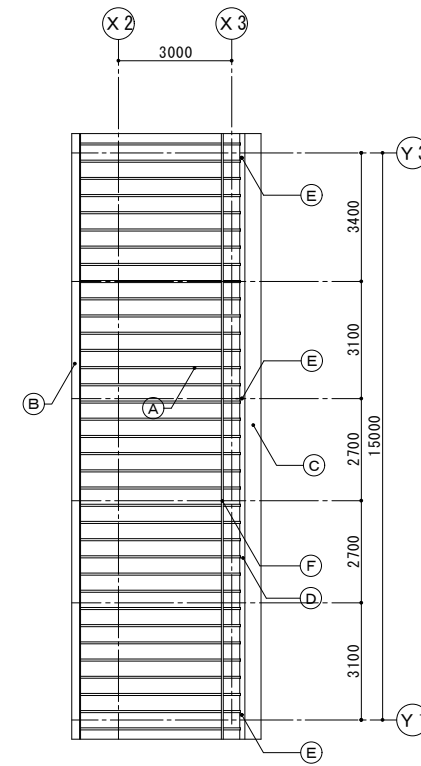


ピット図 S=1/100



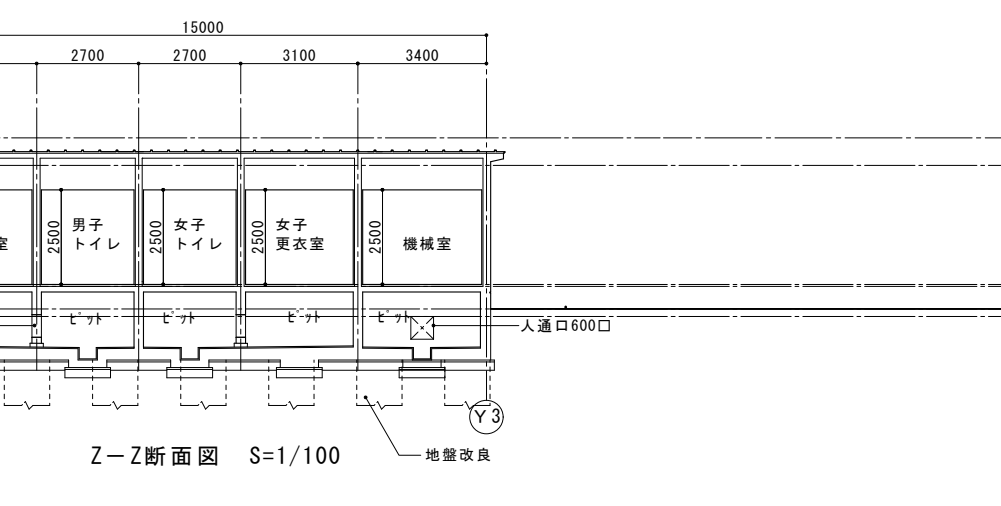
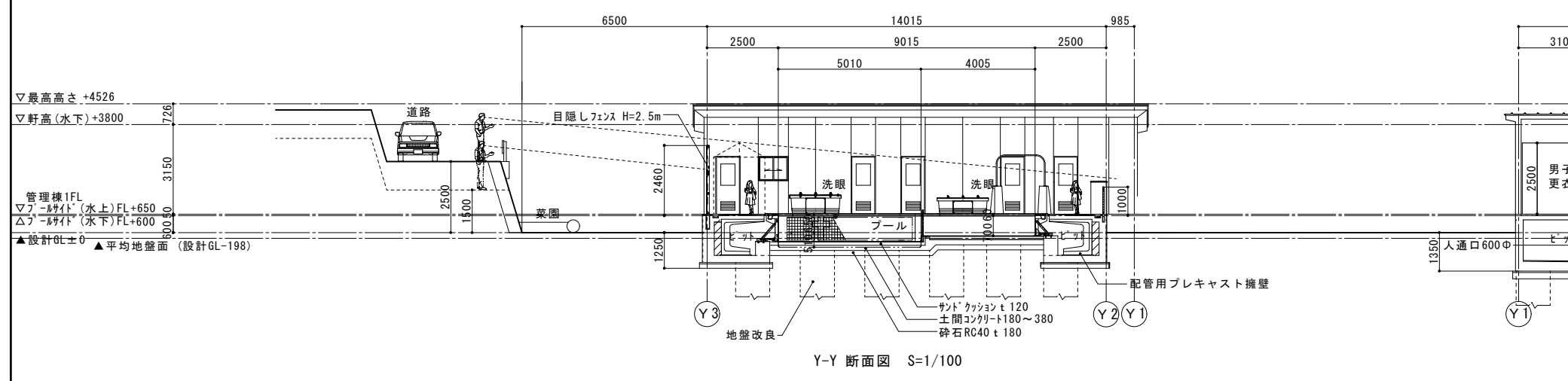
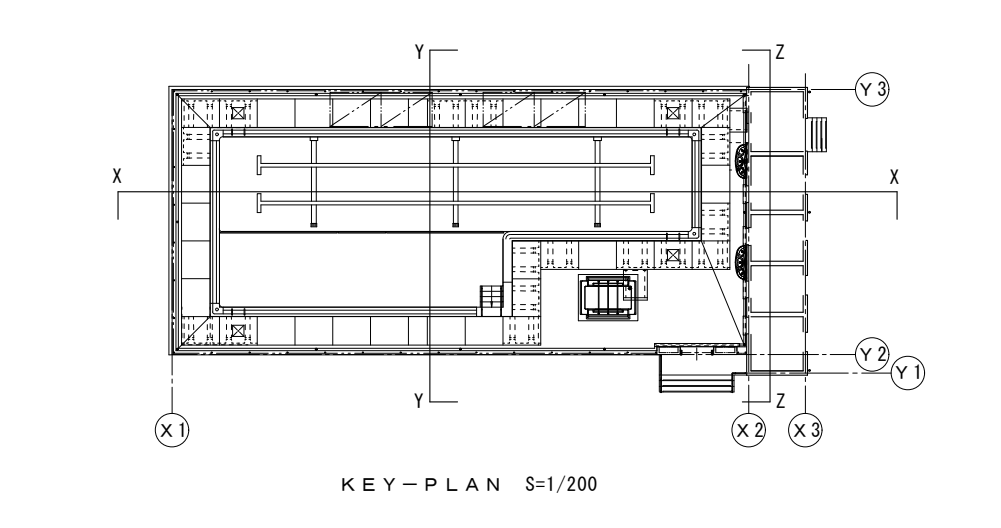
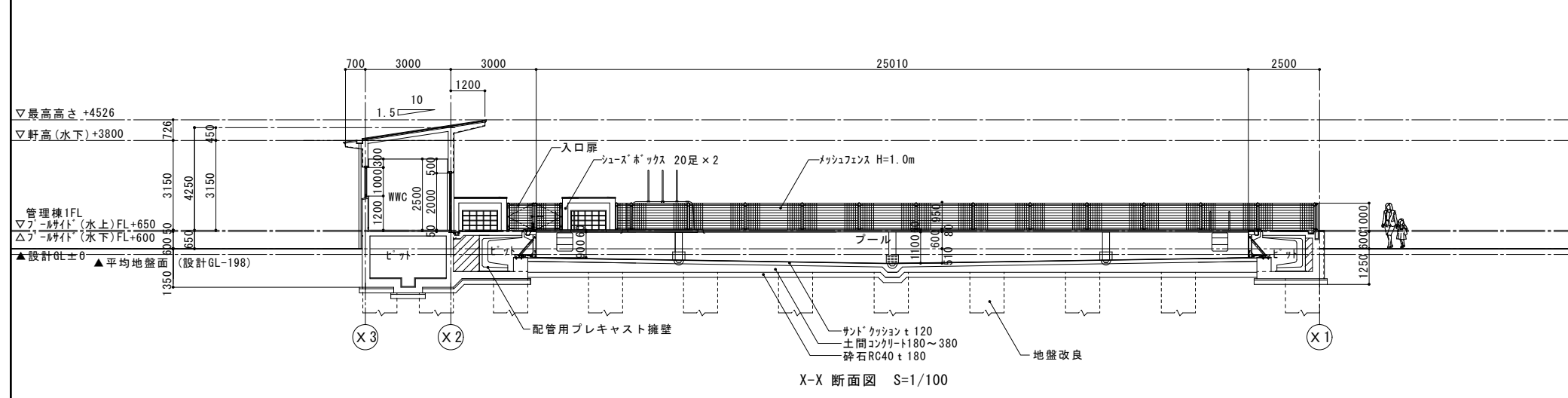
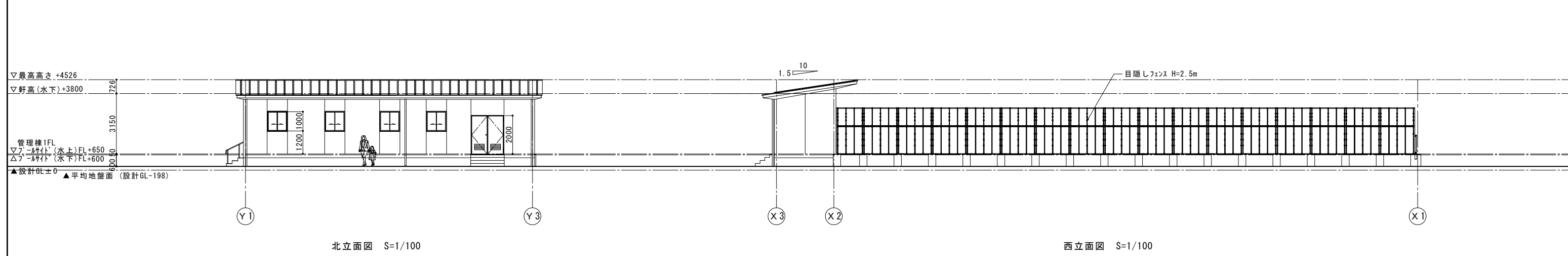
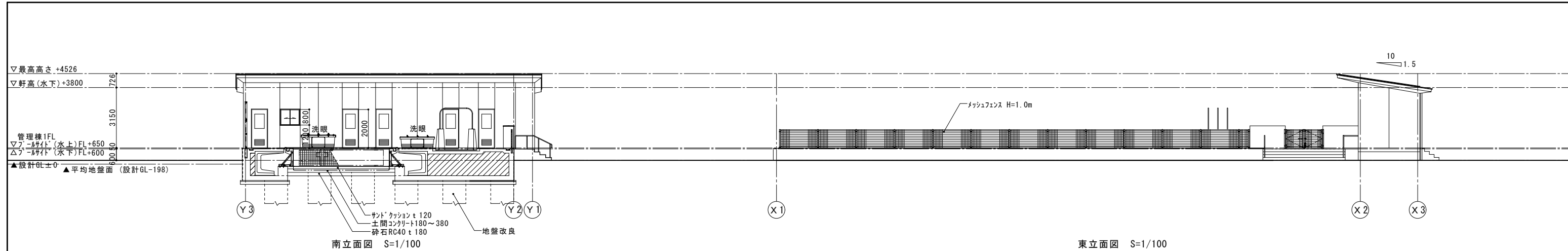
天井伏図 S=1/100

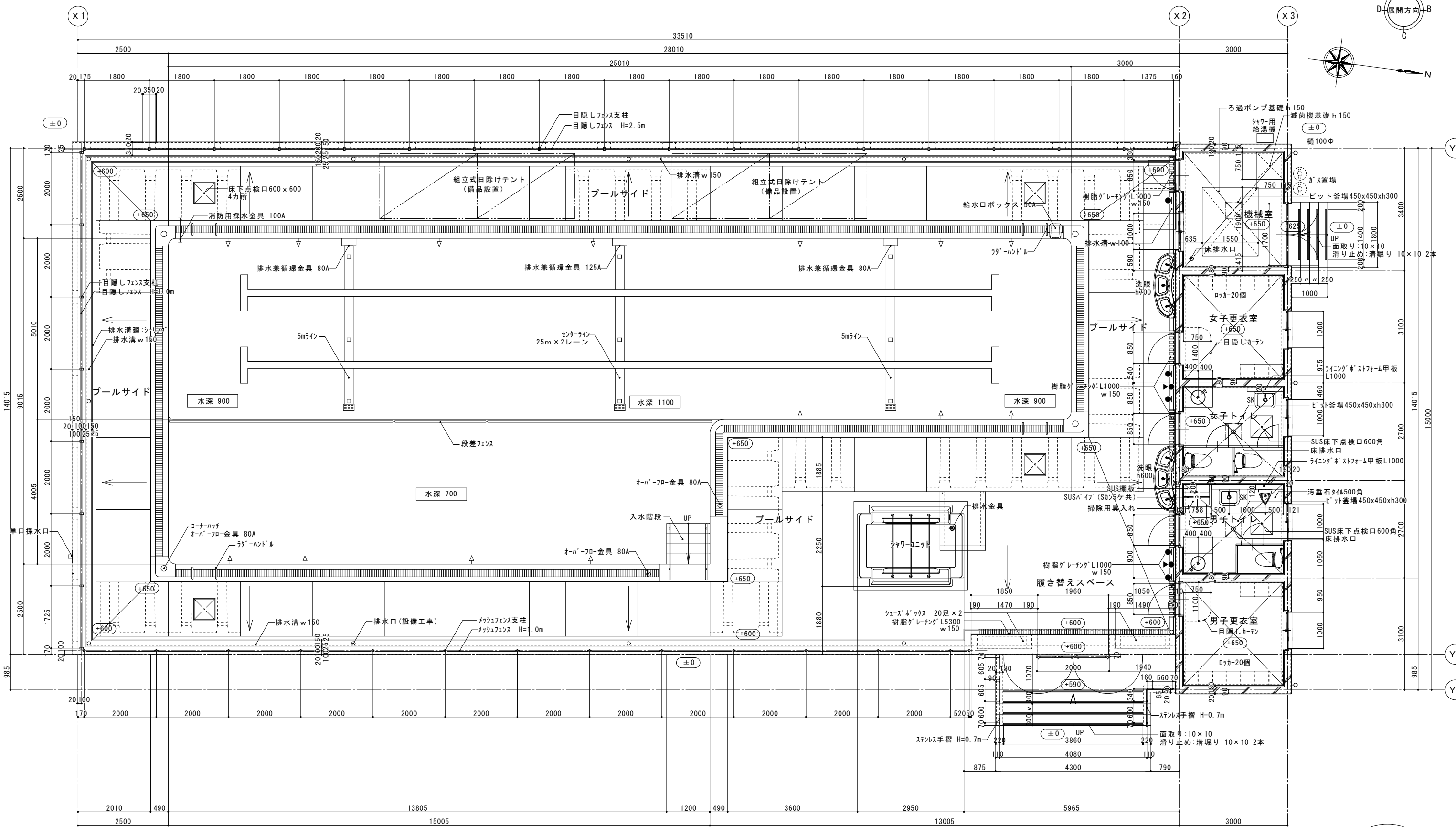
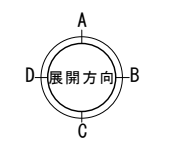
記号	下地	天井仕上げ
(A)	RC+S	FK t=6 目透かし貼り NAD
(B)	RC	GW-B t=25
(C)	RC	コンクリート打ち放し補修 外装薄塗材E吹付
(D)	縦樋	か-VP管100φ、支持金物@1200以内



屋根伏図 S=1/100

記号	屋根仕上げ
(A)	R1: 瓦葺き(1.5/10勾配)か-ガルバリウム鋼板t=0.4(※'リエレンフォー-Mt=4.0裏貼り) ※'リエレンフォー-Mt=25(※'ツクツク'材)、ゴ-ムアスル-フィンク t=1.0、均しモルタルt=30
(B)	棟包み: 屋根同材加工
(C)	R2: 平葺き(1.5/10勾配)か-ガルバリウム鋼板t=0.4(※'リエレンフォー-Mt=4.0裏貼り) ゴ-ムアスル-フィンク t=1.0、均しモルタルt=30
(D)	軒樋: 耐酸被覆鋼板t=0.4加工(1/200勾配)、均しモルタル下地
(E)	落水口: 耐酸被覆鋼板t=4.0加工 100φ
(F)	雪止め: SUS 焼付塗装 L-50x50x4(受金物共)



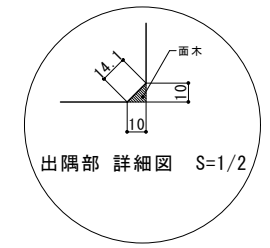
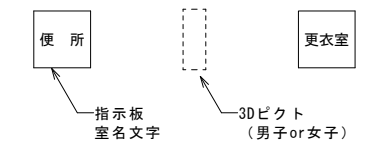


管理棟下部
ピットを示す

プールサイド下部
配管用プレキャスト擁壁を示す

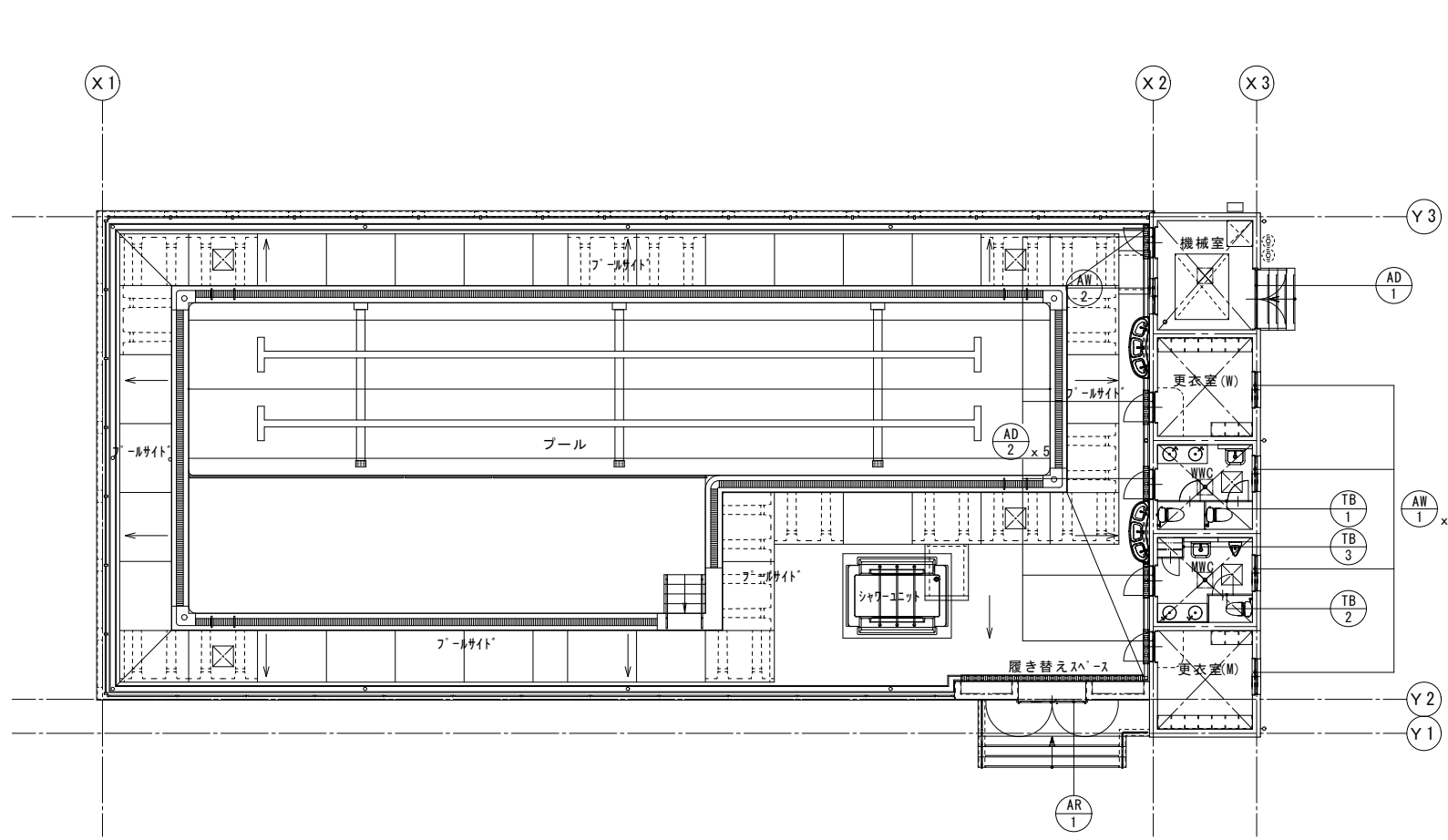
平面詳細図 S=1/50

ピクトサイン、室名文字 取付図



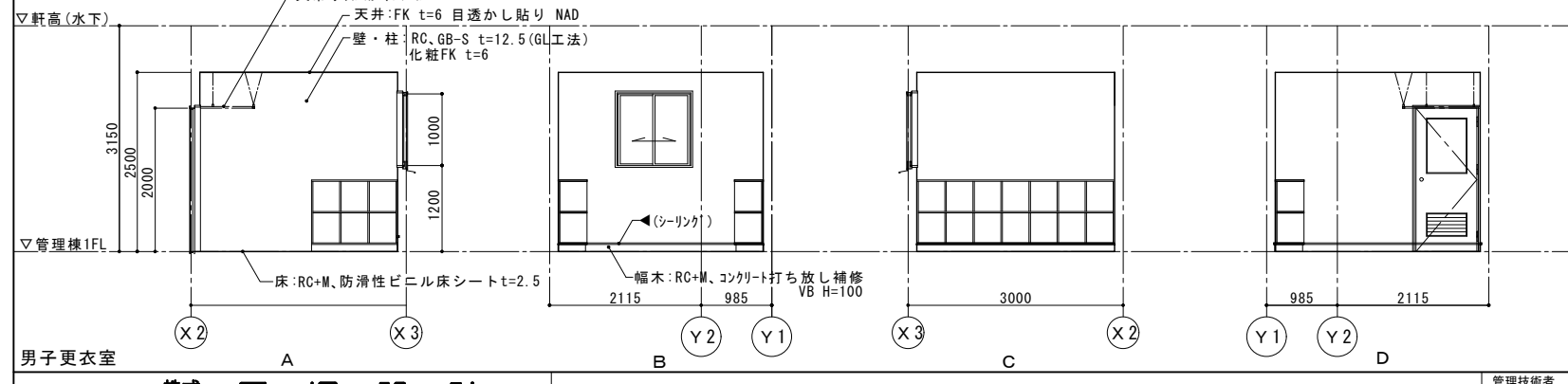
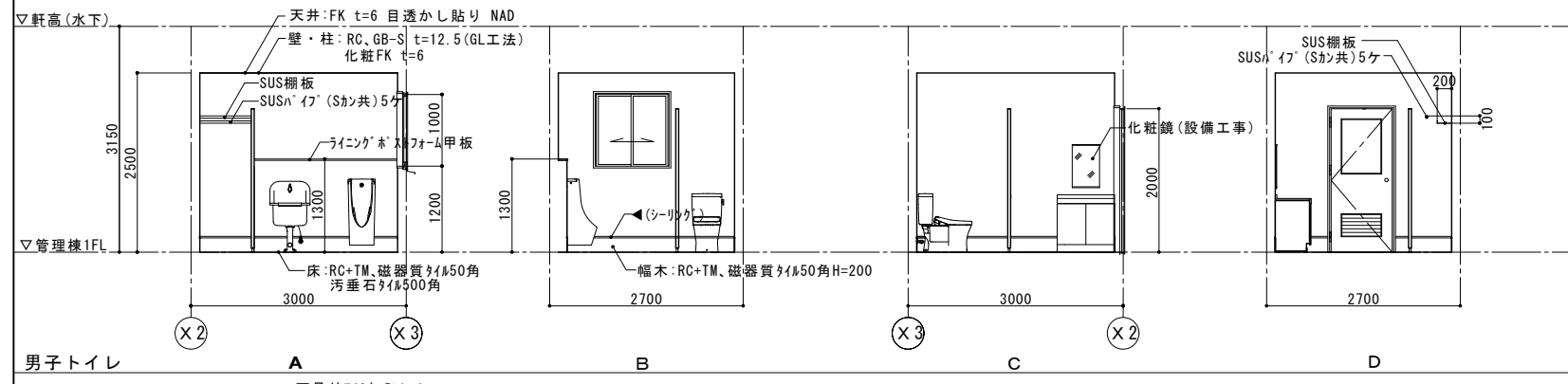
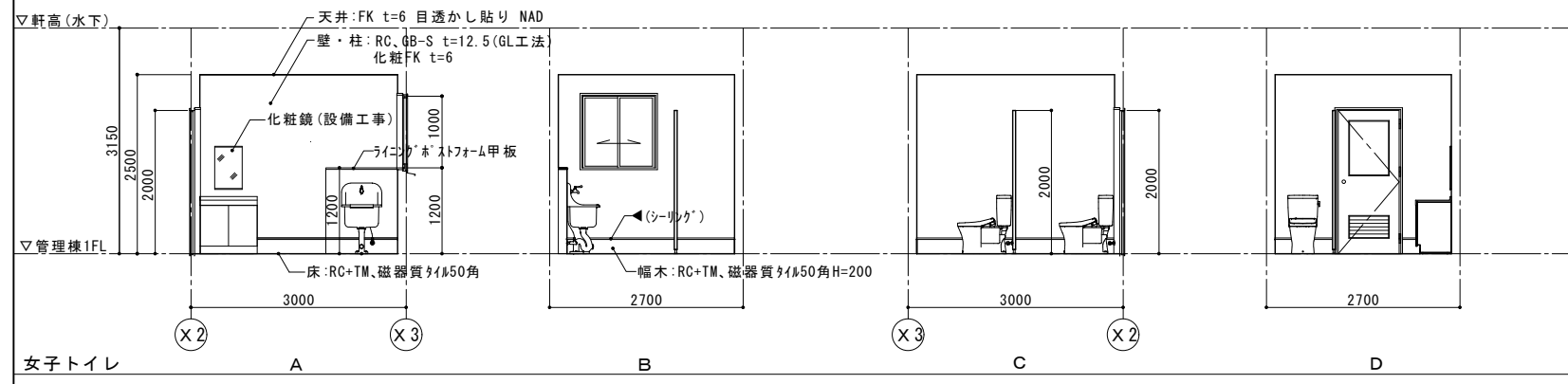
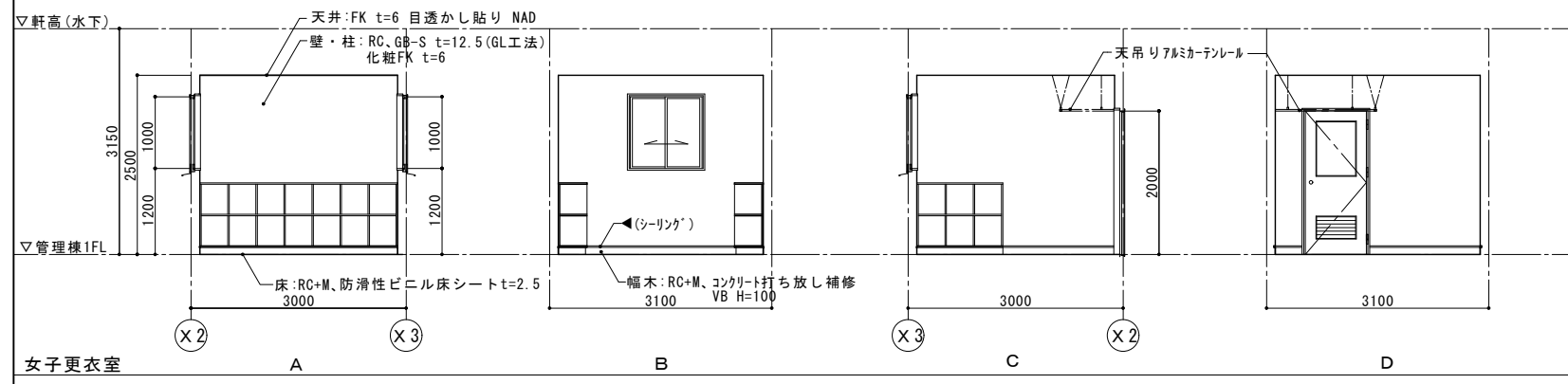
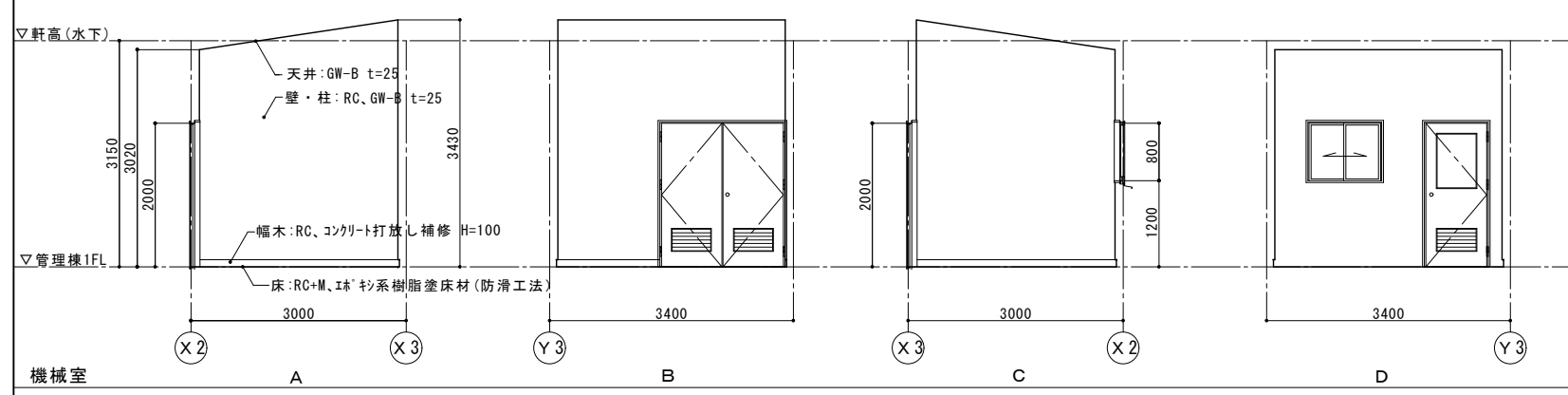
建具仕様書				共通事項			
符号	種類	符号	種類	符号	種類	符号	種類
AW	アルミ製窓	ガラス	FL-	フロートガラス	パドール	レバー	レバーハンドル
WAW	木+アルミ複合窓		F-	型板ガラス		握り	握り玉
SW	スチール製窓		R-	熱線反射板ガラス		押板	押板
STW	ステンレス製窓		HA-	熱線吸収反射板ガラス		押棒	押棒
WW	木製窓		HR-	高性能熱線反射板ガラス		PPH	フック付ハンドル
AD	アルミ製扉		TP-	透明強化ガラス		引手	引手
SD	スチール製扉		L-	合せガラス		OP	オペレーター
LD	鋼製軽量扉		ST-	学校用透明強化ガラス		締り	締りハンドル
WLD	木+鋼複合扉		TTP-	特定防火設備用耐熱ガラス		ハニック	ハニックハンドル
STD	ステンレス製扉		FP-	型板強化ガラス		取手	取手
TD	強化ガラス扉		PWC-	鋼入透明ガラス(防)		CR	クレセント
WD	木製扉		PWL-	鋼入透明ガラス		CH	ケースハンドル
AG	アルミ製ガラス		FWC-	鋼入型板ガラス(防)		KL	カムロックハンドル
SG	スチール製ガラス		FWL-	鋼入型板ガラス		TL	トップラッチ
STG	ステンレス製ガラス		D-	ペアガラス(特殊フィルム貼り)		GH	ケレモンハンドル
WG	木製ガラス		GB-	ガラスロック		SL	サムロックハンドル
P	紙張り障子		Low-E	高遮熱断熱ガラス	クロザー	PH	ヒコットヒンジ
SS	重量シャッター		A-	空気層		FH	フックヒンジ
LS	軽量シャッター					AH	オートヒンジ(中心吊り)
CS	布製シャッター	錠	C	空錠		GH	クランプヒンジ(螺旋軸自閉式)
AP	アルミ製パネーション		CD	シリンダー本錠錠		RH	ラバーヒンジ
SP	鋼製パネーション		CC	シリンダー箱錠		TH	丁番
SMW	鋼製移動開閉切		SC	サムターン付シリンダー本錠錠		DC	ドアクロザー
KD	金庫ドア		LD	棒鍵本錠錠		DCC	コンシールド型ドアクロザー
TL	トップライト		LC	棒鍵箱錠		DCL	アルミ型ドアクロザー
TB	トイレース		NL	ナイトラッチ		HC	引戸クロザー
OF	オープン枠		TL	回転表示ラッチ		NS	順位調整器
ACW	アルミ製カーテンウォール		GR	ケレモン錠			
GCW	ガラス製カーテンウォール		CL	点検口錠	レール	DR	戸車
BBS	防煙垂れ壁		EL	非常解錠		DL	レール
GBW	ガラスロック枠窓		CP	引戸錠		HR	上吊り車
KSD	既存スチール製扉		PP	フック付ラッチ錠		HL	ハンガーレール
KST	既存ステンレス製扉						

記号・室名・個数	AD 1	機械室	1	AD 2	機械室、男子更衣室、女子更衣室 男子トイレ、女子トイレ	5
姿 図						
形式	材質	両開きドア(ガラス付)	アルミ	両開きドア(ガラス付)	アルミ	
種/見込	ガラス	70	—	70	—	
錠	ハンドル	SC	レバー	SC	レバー	
カラー・ニール	ストッパー	TH, DC	FD	TH, DC	FD	
ガラス	音階/額縁	2型	SS-2/アルミ額縁	2型	SS-2/アルミ額縁	
金物・備考	アングル、付属金物一式		アングル、付属金物一式			
記号・室名・個数	AW 1	男子更衣室、女子更衣室 男子トイレ、女子トイレ	4	AW 2	機械室	1
姿 図						
形式	材質	引違い窓	アルミ	引違い窓	アルミ	
種/見込	ガラス	70	FP-4	70	FP-4	
錠	ハンドル	—	CR	—	CR	
カラー・ニール	ストッパー	—	—	—	—	
ガラス	音階/額縁	—	アルミ額縁	—	アルミ額縁	
金物・備考	アングル、水切り、可動網戸、付属金物一式		アングル、水切り、可動網戸、付属金物一式			
記号・室名・個数	AR 1	履き替えスペース	1	TB 1	女子トイレ	1

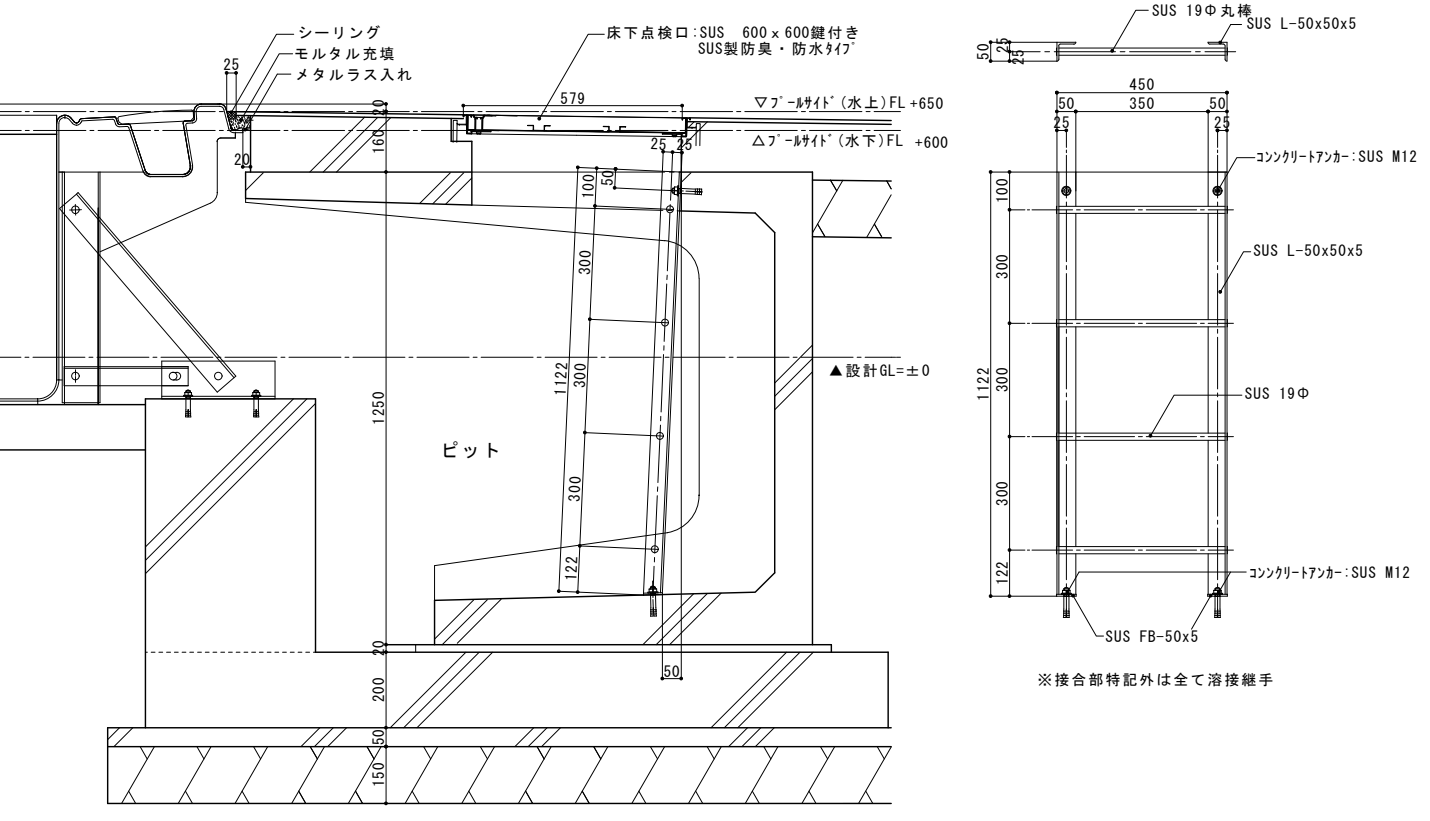


建具KEY-PLAN S=1/100

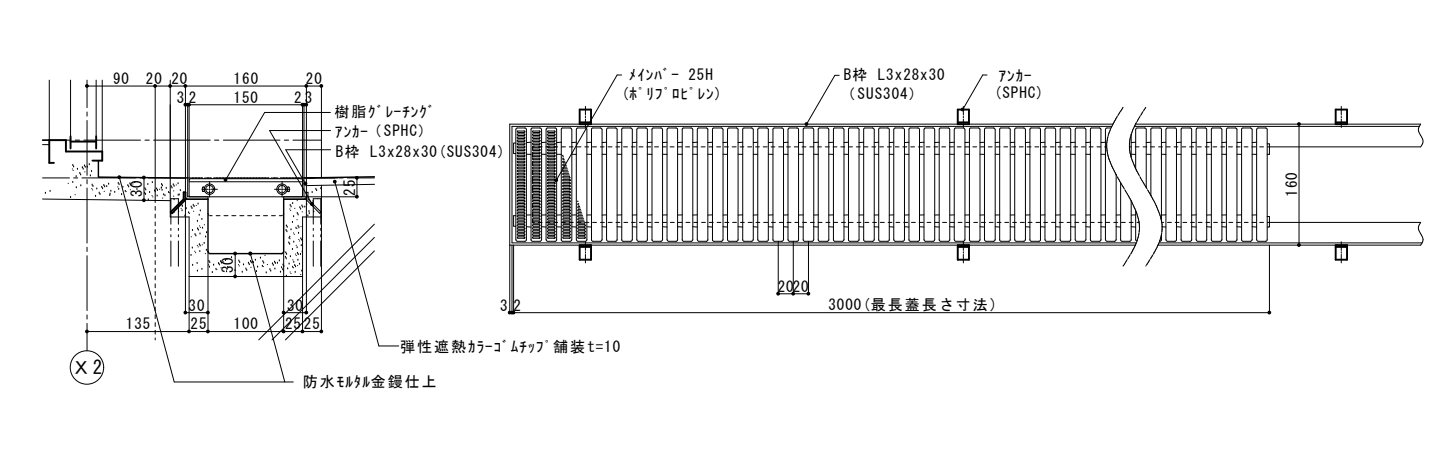
姿 図						
形式	材質	両開き扉:片側180度開き	ワイヤメッシュ、胴縁:亜鉛メッキの上 高耐熱性樹脂粉末塗装	トイレース	表面材:高圧メラミン樹脂化粧板 芯材:ベークライト	
種/見込	ガラス	両面スライド錠φ16	—	40	—	
カラー・ニール	ストッパー	—	—	表示錠	—	
ガラス	音階/額縁	—	—	GH	帽子掛戸当り	
金物・備考	門柱、枠体、ハネ取付金具類、ボルト、ナット、丁番		笠木、レール、アルミ押出型材(積付塗装) 枠: SUS、付属金物一式			
記号・室名・個数	TB 2	男子トイレ	1	TB 3	男子トイレ	1
姿 図						
形式	材質	トイレース	表面材:高圧メラミン樹脂化粧板 芯材:ベークライト	トイレース	表面材:高圧メラミン樹脂化粧板 芯材:ベークライト	
種/見込	ガラス	40	—	40	—	
錠	ハンドル	表示錠	—	表示錠	—	
カラー・ニール	ストッパー	GH	帽子掛戸当り	GH	帽子掛戸当り	
ガラス	音階/額縁	—	—	—	—	
金物・備考	笠木、レール、アルミ押出型材(積付塗装) 枠: SUS、付属金物一式		笠木、レール、アルミ押出型材(積付塗装) 枠: SUS、付属金物一式			



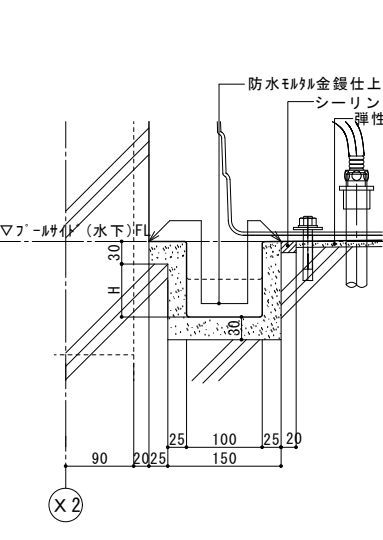
点検口、タラップ(プールサイド)詳細図 S=1/10



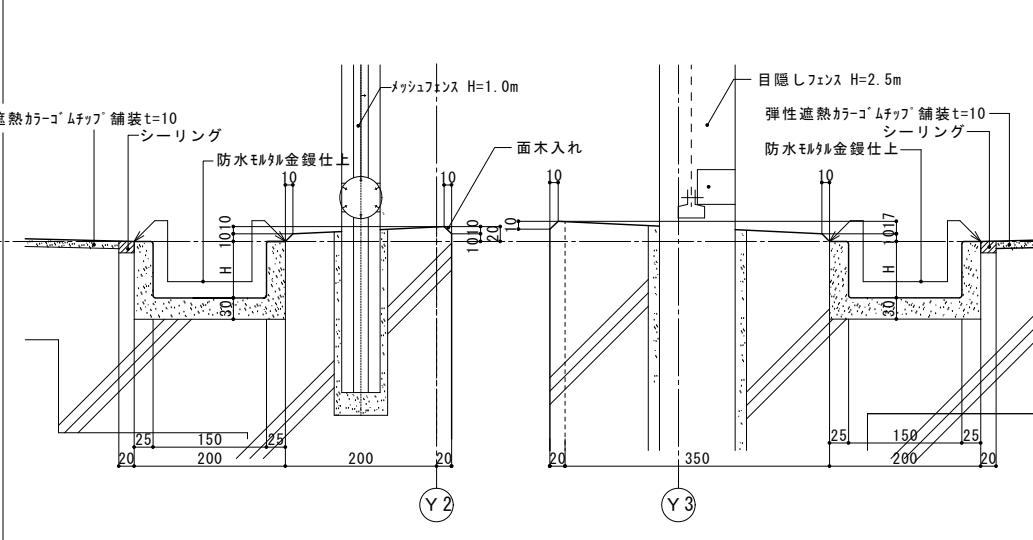
排水溝 樹脂グレーチング廻 詳細図 S=1/5



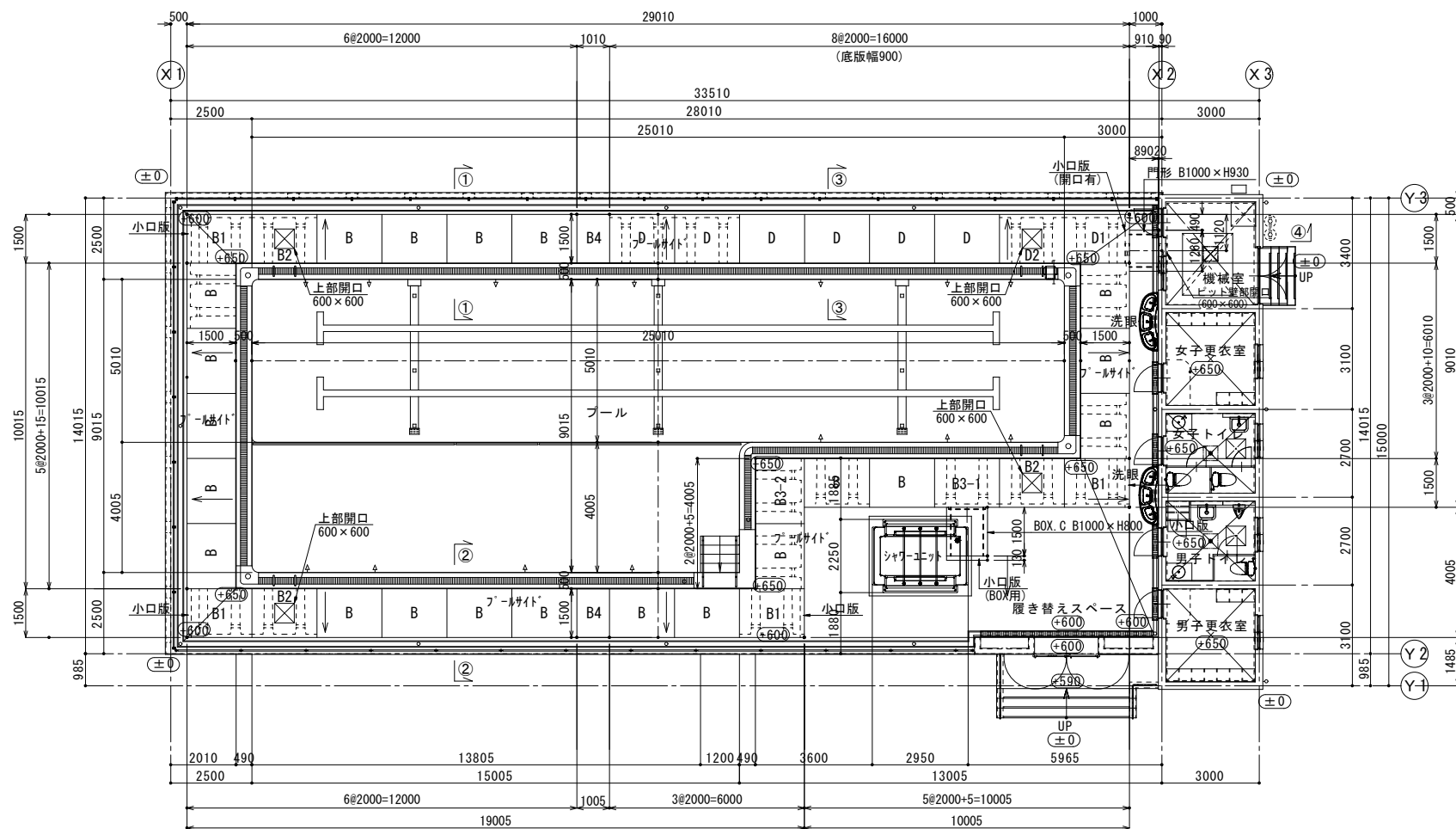
排水溝W100廻 詳細図 S=1/5



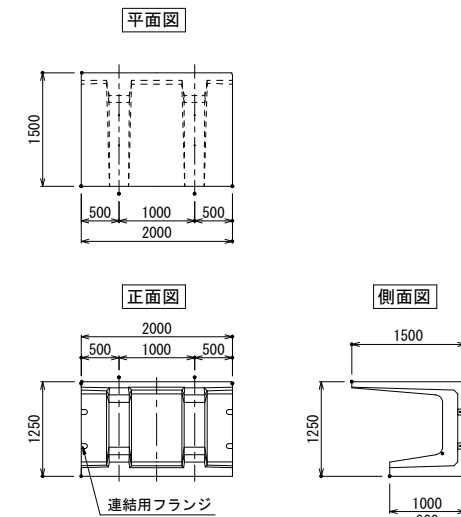
排水溝W150廻 詳細図 S=1/5



平面図 S=1/100



アクアエルB型 製品図 S=1/50

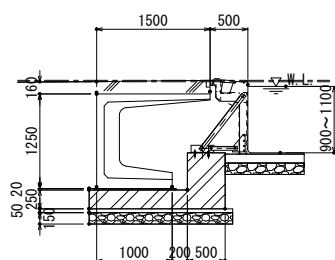


ボックスカルバート断面図 S=1/50

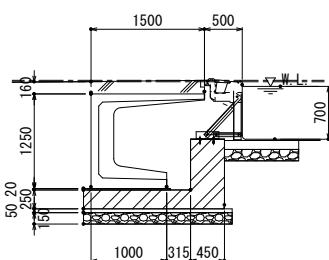
門形カルバート断面図 S=1/50



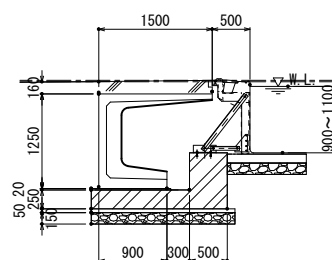
①-①断面 (大プール) S=1/50



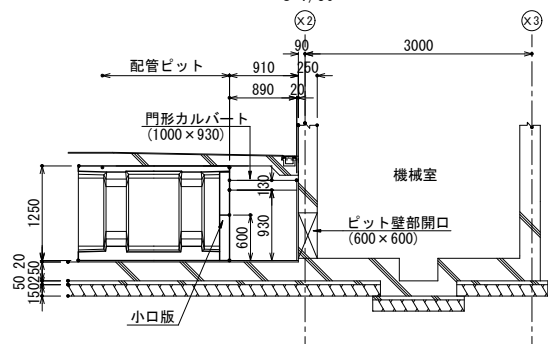
②-②断面 (小プール) S=1/50



③-③断面 (大プール) S=1/50



④-④断面 S=1/50



数量表

名称	記号	製品 (本体)				本数	摘要
		L長さ (mm)	張出し (mm)	底版幅 (mm)	製品質量 (kg)		
アクアエルB H=1250	標準	B	2000	1500	1000	2263	21
	標準 (小口版取付用)	B1	"	"	"	"	4
	標準 (上部開口600x600)	B2	"	"	"	2183	3
	標準 (背面開口600x800)	B3-1	"	"	"	2143	1
	標準 (背面開口、底版切欠)	B3-2	"	"	"	2143	1
	短尺	B4	1000	"	"	1131	2
アクアエルB H=1250 (底版幅900)	標準	D	2000	1500	900	2196	6
	標準 (小口版取付用)	D1	"	"	"	"	1
	標準 (上部開口600x600)	D2	"	"	"	2116	1
合計						40	
小口版	H-1250用				460	4	
小口版 (開口有)	H-1250用				460	1	
小口版 (BOX用)	1260 × 1060 × 130				420	1	
ボックスカルバート B1000 × H800	短尺 (凸無) L=1.440m				2090	1	連結インサート付き。
門形カルバート B1000 × H930	短尺 L=0.890m				963	1	連結インサート付き。

※ ボックスカルバートの製品長は有効長を示す。

プール工事本体特記仕様書

規模	プールサイズ(呼称)		25×5+15×4	m
	水深	深手側	0.9~1.1~0.9	m
		浅手側	0.7	m
	レーン数		2	レーン
	レーン幅		2	m
	水面積:(呼称寸法で算出)		185	m ²
容量:(呼称寸法で算出)		166.4	m ³	

本体材質	FRP(Fiberglass Reinforced Plastics):不飽和ポリエステル樹脂をガラス繊維で強化したもの。		
成形法	ハンドレイアップ法 及び スプレイアップ法		
各部構造	側壁	サンドイッチ構造(芯材 硬質発泡材)	厚さ 21mm
	底板	サンドイッチ構造(芯材 硬質発泡材)	厚さ 15mm
	デッキ、オーバーフロー部	FRP単板構造	
	本体固定金物	SS400 山形鋼 溶融亜鉛メッキ処理	
	集水方式	3本ガーターによる分散集水方式	

付属部品	部品名称	材質	員数
1	グレーチング	ASA樹脂成形品	全周
2	ラダーハンドル	SUS304	4 セット
3	コースロープフック	SUS304	2 個
4	コースロープ	2.5M樹脂製フロート(φ60)	1 本
5	コーナーハッチ	FRP製	4 ケ所
6	フェンス	SUS304	1 式
7	階段	FRP製 手摺(SUS304)	1 式

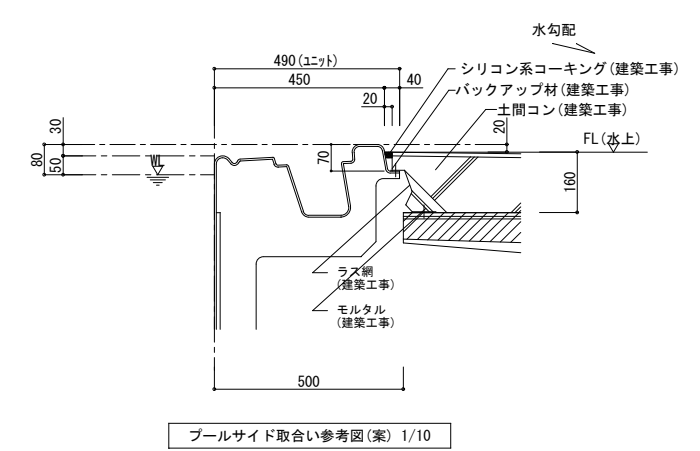
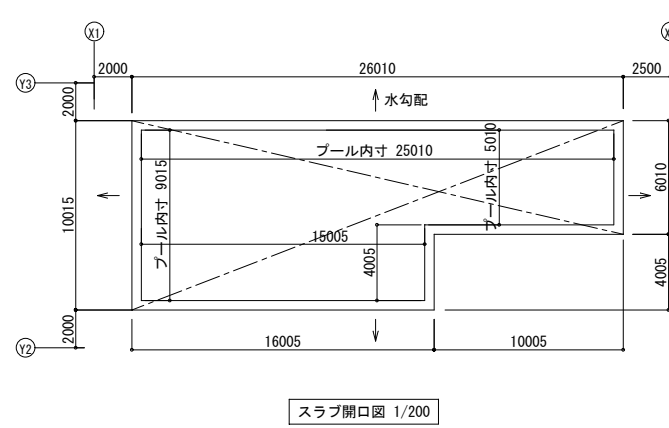
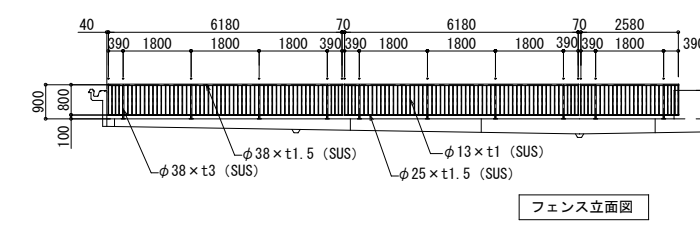
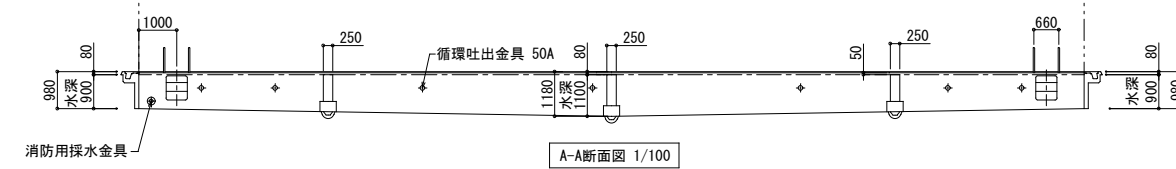
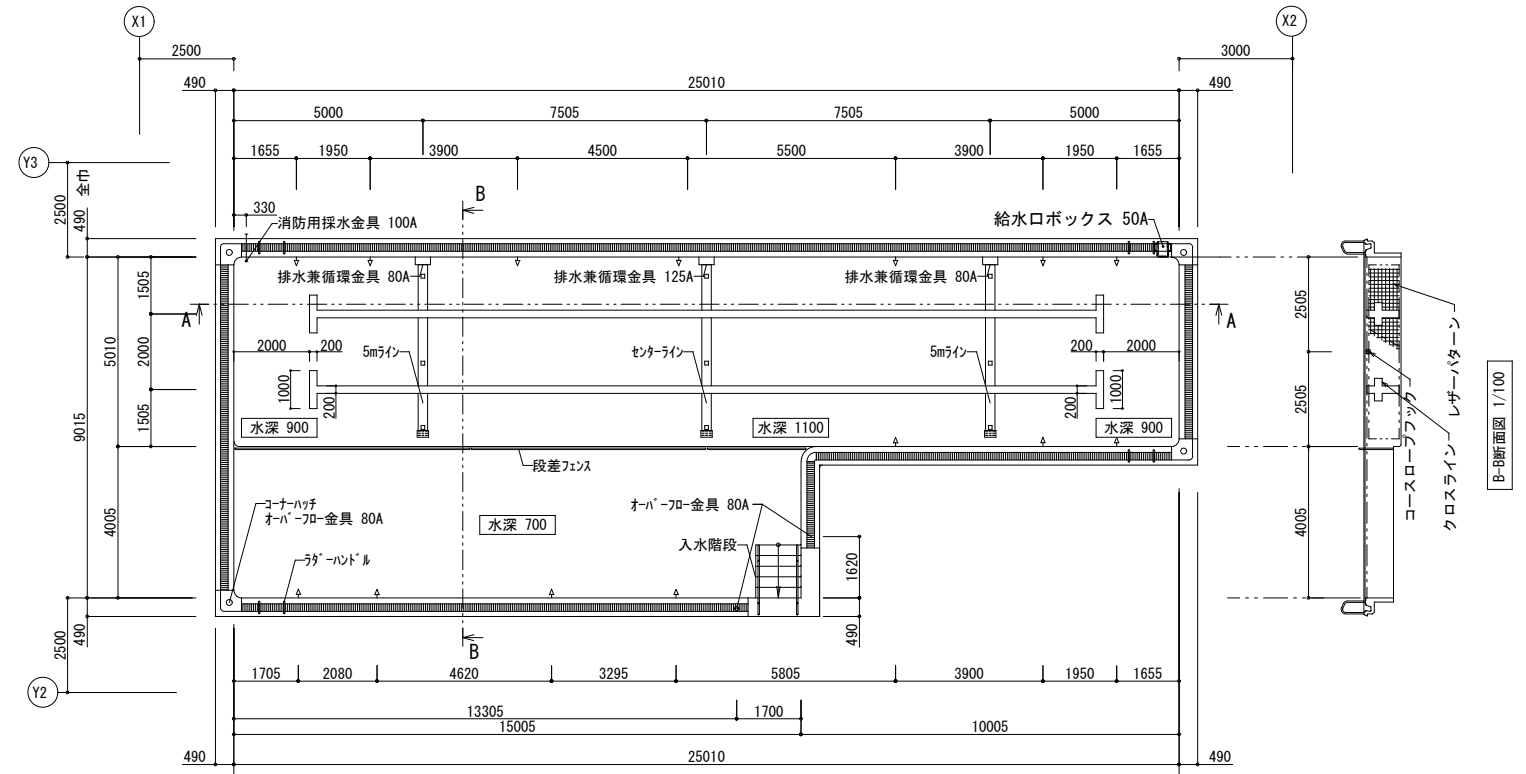
寸法公差	部位	基準値	許容範囲
1	長さ	25,010mm	-5~+20mm
2	幅	所定幅寸法	0~+30mm
3	デッキレベル	内壁天端レベル	±7.5mm以内

カラーリング	部位	塗料材質	箇所	色	塗り分け位置
	プール本体	ゲルコート (顔料を含んだ不飽和ポリエステル樹脂塗料)	側壁	アイボリー パロスブルー	オーバーフロー部 内壁天端より50mm以下
	ライン	アクリルウレタン樹脂系塗料	フロア部	パロスブルー	全面
			レーンライン	ラインブルー	プール本体図参照
			クロスライン	ラインブルー	
			5Mライン	ラインレッド	
			センターライン	ラインレッド	

配管部品	部品名称	材質	サイズ	員数
1	排水兼循環金具	フランジ(ナイロン粉体塗装)+フレキシブルジョイント	JIS10K 125A	1 個
2	排水兼循環金具	フランジ(ナイロン粉体塗装)+フレキシブルジョイント	JIS10K 80A	2 個
3	オーバーフロー金具	BSC ナイロン粉体塗装	80A	6 個
4	循環吐出(菊形)金具	SCS14	50A	14 個
5	給水口ボックス	FRP製	50A H1VP管	1 個
6	消防用採水金具	SGPフランジ ナイロン粉体塗装	JIS10K 100A	1 個

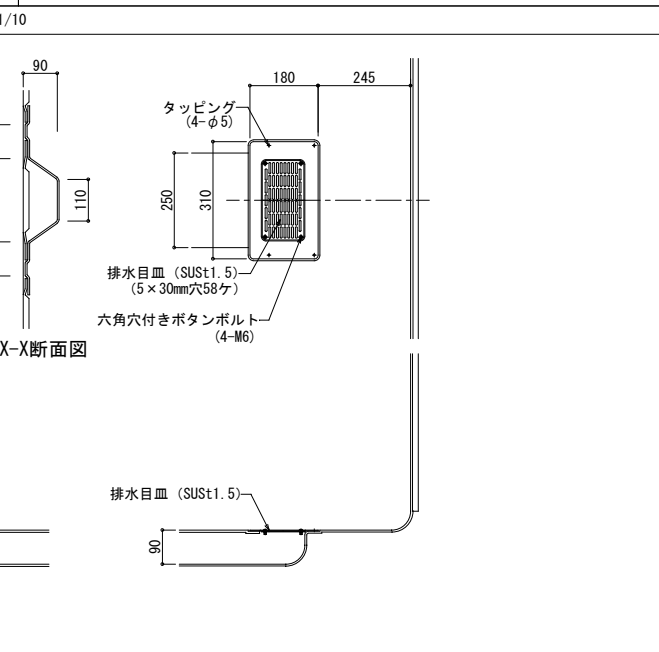
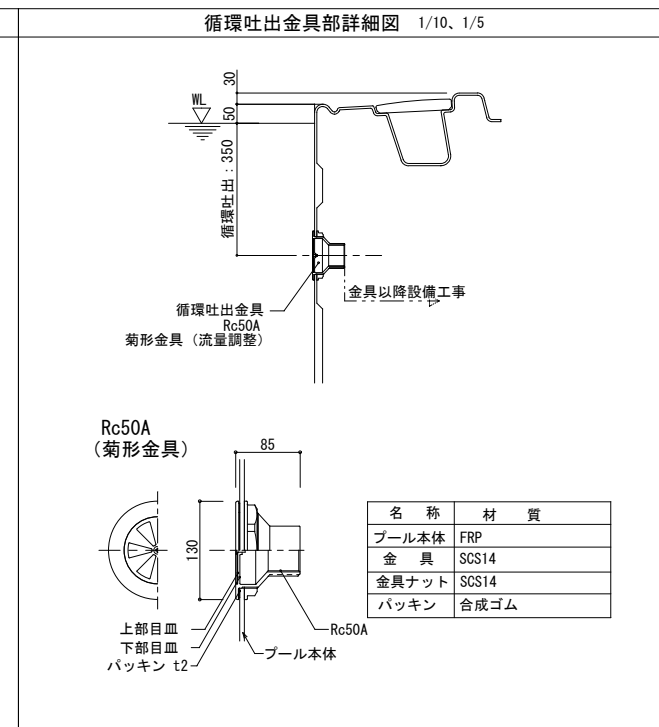
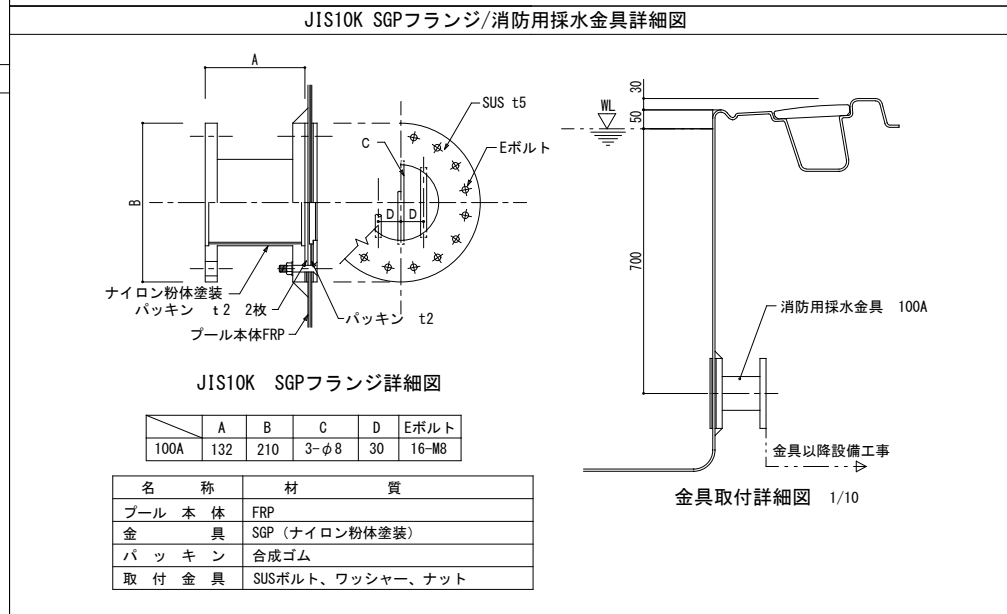
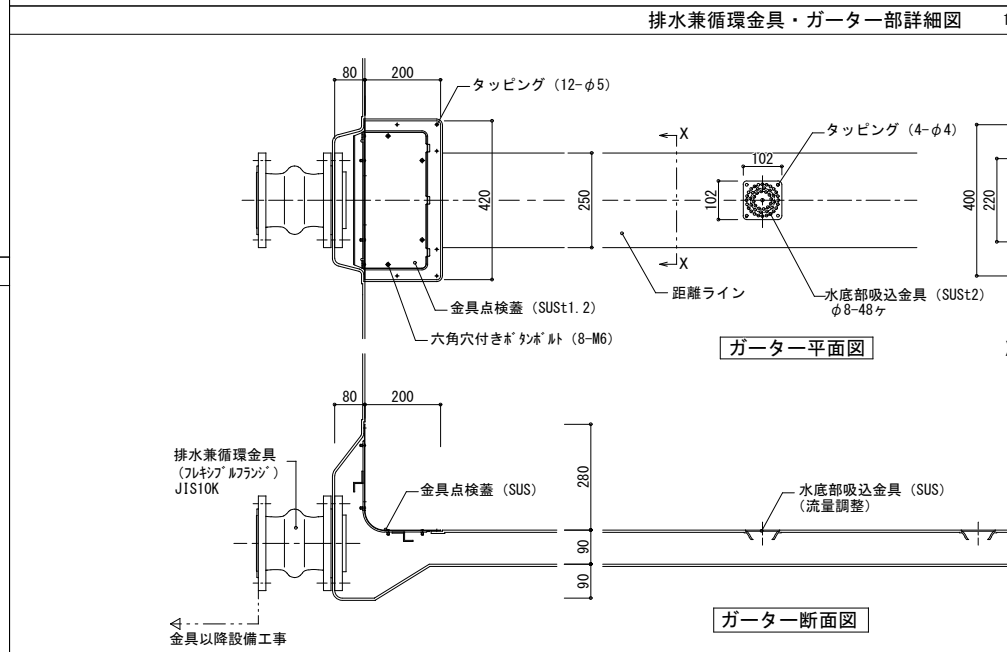
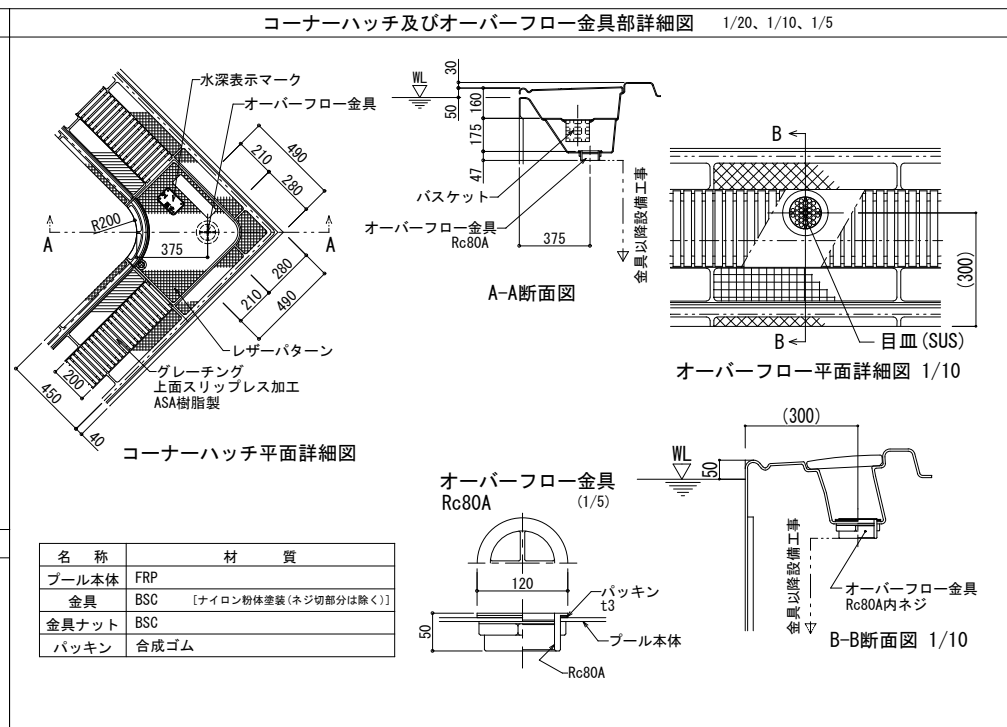
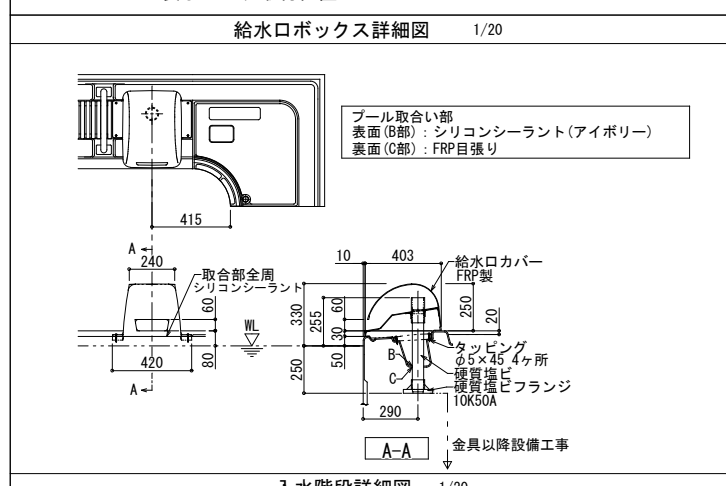
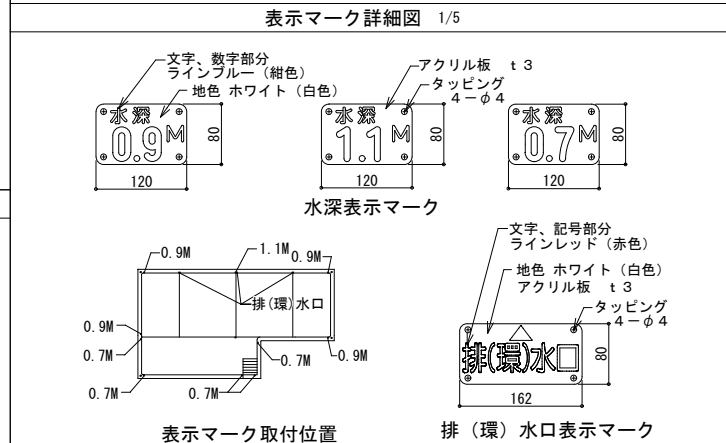
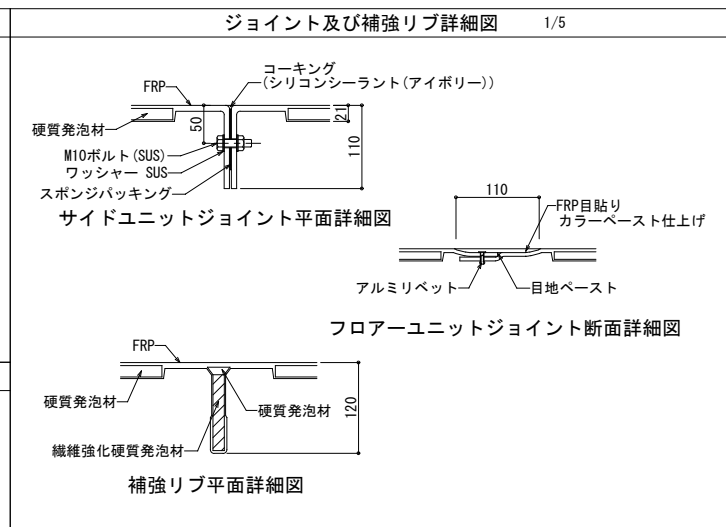
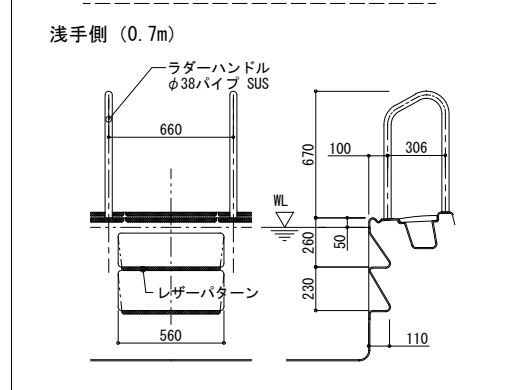
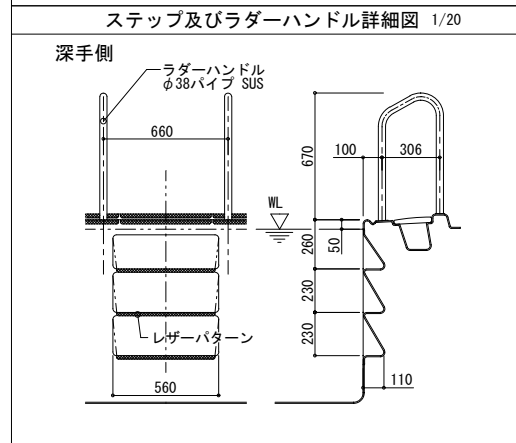
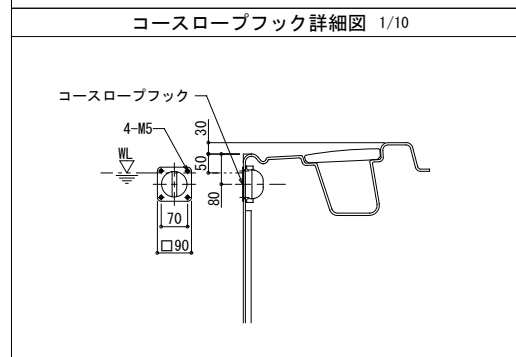
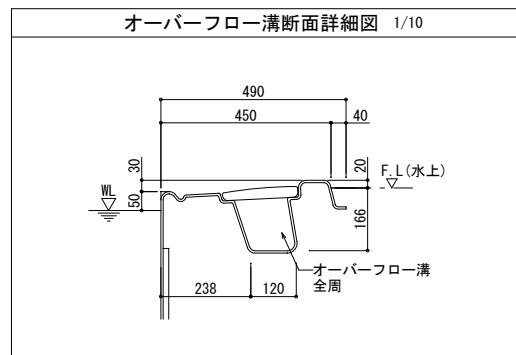
※プール取付金具以降の配管、フランジ、ボルト、ナット、ワッシャー、パッキン、配管サポート等は設備工事

用語説明	ハンドレイアップ法	型の表面に製品色となるゲルコートを吹付硬化後、その上にガラス繊維を置き、これに成形樹脂を含浸させて硬化後、型から外して得る成形法。
	スプレイアップ法	型の表面に製品色となるゲルコートを吹付硬化後、その上にガラス繊維を含ませた成形樹脂をスプレイ散布し硬化後、型から外して得る成形法。
	ASA	アクリレート スチレン アクリロニトリル
	BSC	黄銅鑄物
	Rc	管用テーパームスねじ
	SCS	ステンレス鑄鋼品



注記

1. プールを水上とし1/75~1/100程度のプールサイド水勾配をとること。
2. プール搬入用通路、足場、揚重機、スロープ、荷取りステージ等は現場状況に応じて適宜決定のこと。



洗眼ユニット仕様書

(1) 設備工事条件

- 本商品の洗眼機能を充分発揮させるため、以下の条件を満たしてください。
 - 洗眼ユニット用配管水圧を0.12MPa (1.2kg/cm²) [1.2kg/cm² (1.2kg/cm²)] 流量を毎分 22~26 リットルを目安に供給してください。
高水圧地区では減圧弁を設けて下さい。
 - 下水道へ接続する場合、本体以降の排水管にはトラップを設けてください。
 - 給水は必ず上水道に接続して下さい。上水道以外では使用しないで下さい。
 - 凍結の恐れのある地域では、保温材等による凍結防止措置を行って下さい。

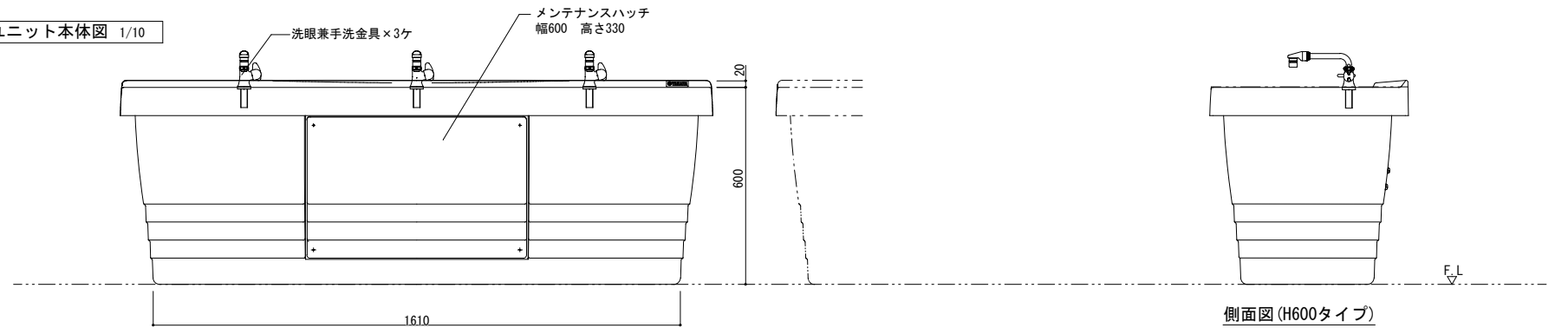
(2) 洗眼ユニット本体標準仕様

区分	内容	単位	数量		仕様・備考
			H600	H700	
1	構造		全FRP構造		
	全長	m	1.80	1.80	
	奥行	m	0.60	0.60	
	全高	m	0.62	0.72	洗眼兼手洗金具は含まない
	天板ユニット	ユニット	1	1	ゲルコート+FRP
	側壁ユニット	ユニット	1	1	ゲルコート+FRP
2	メンテナンスハッチ	ヶ所	1	1	ゲルコート+FRP (4箇所ビス固定)
	洗眼兼手洗金具	ヶ	3	3	
	給水管接続部	ヶ所	1	1	HIVP20A用インサート付バルブソケット
	排水管接続部	ヶ所	1	1	排水ホース32A
	内部給水配管	セット	1	1	黄銅、SUS、青銅
3	カラーリング	本体：ミルキーホワイト			
	重量	kg	47	51	
5	台数	台	1	1	

(3) 洗眼ユニット工事区分表

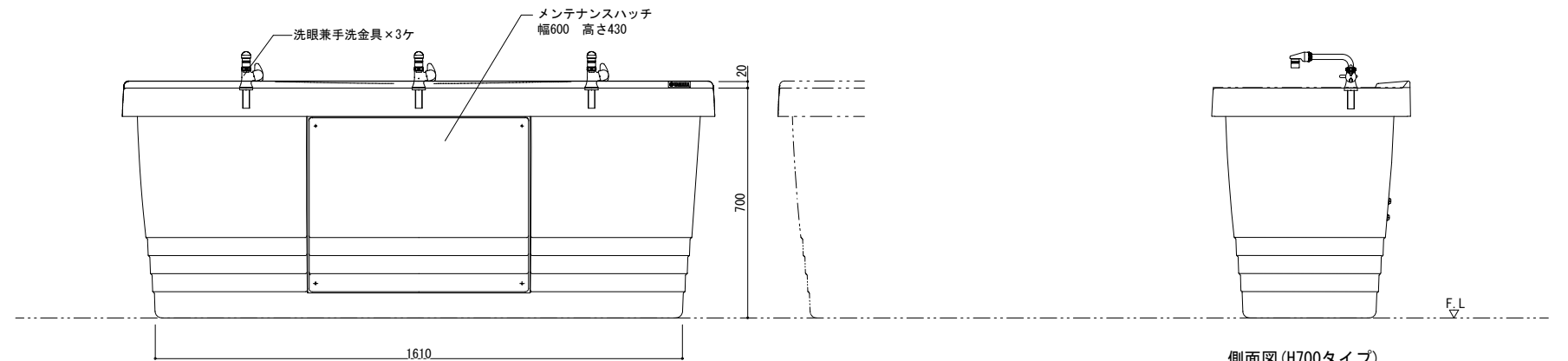
工種	項目		内容
	建築	洗眼	
1	○	据付用基礎工事 (RC) プールサイド床仕上げ工事	RC仕上げで、上面不陸は±10ミリ以内 後施工アンカー施工 (M12) のため、設置面かぶりは60ミリ以上
2	○	据付用基礎墨出し工事	通り芯など
3		○ 洗眼ユニット設置工事	ユニットは壁面に沿って設置し、床にアンカー固定 (強風時に破損の恐れがあるため)
4	○	給排水工事	給排水配管貫通部に構造梁がないことを確認して下さい 給水配管材はHIVP、排水配管材はVPとして下さい 但し、設置地域にて配管の材質の指定がある場合はその規定に従って下さい 給水配管には、水抜き系統をとって下さい (冬期凍結破損防止用)

洗眼ユニット本体図 1/10



正面図 (H600タイプ)

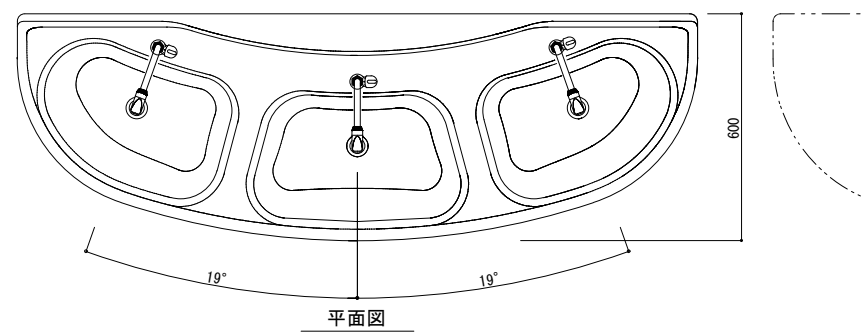
側面図 (H600タイプ)



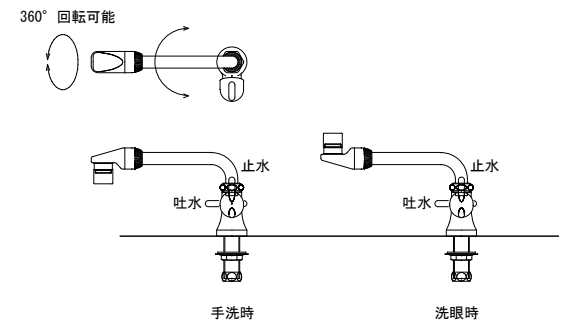
正面図 (H700タイプ)

側面図 (H700タイプ)

200以上 洗眼ユニットを連続して設置する場合は間隔を200以上離すこと

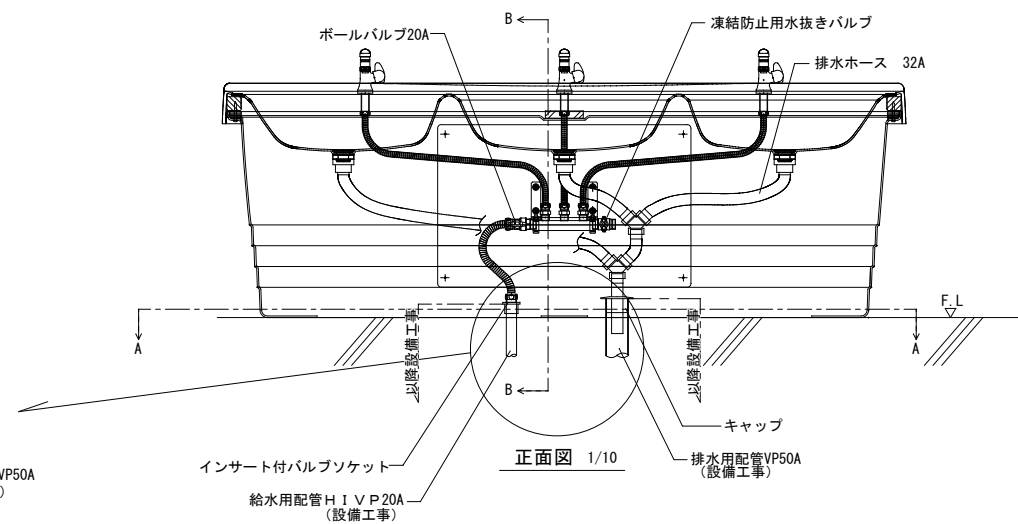


平面図

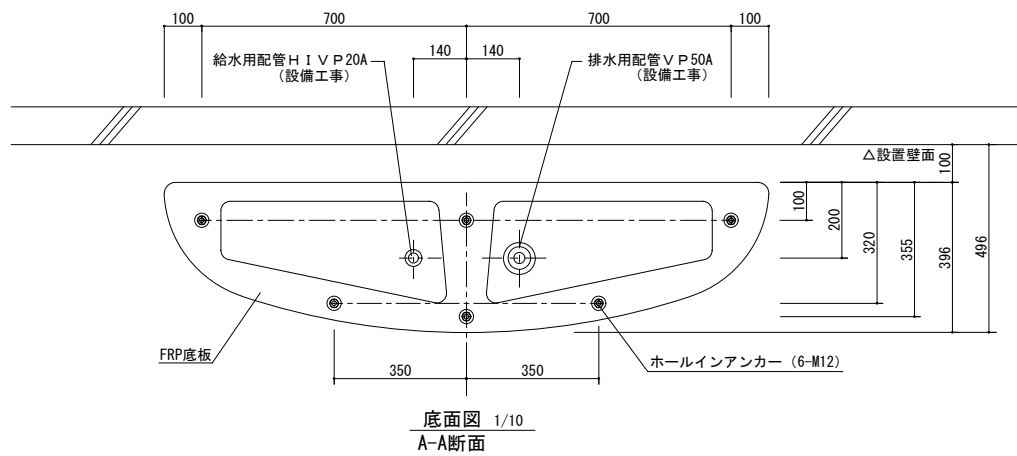


洗眼兼手洗金具詳細図 1/5

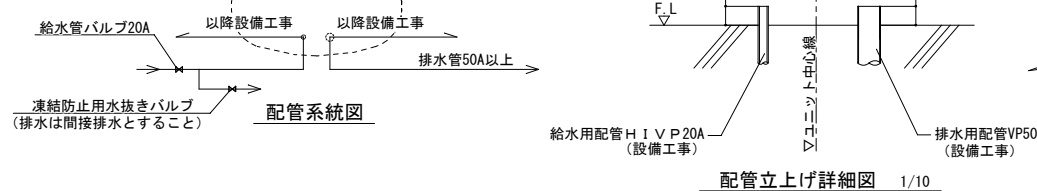
洗眼ユニット設置図 1/10



正面図 1/10

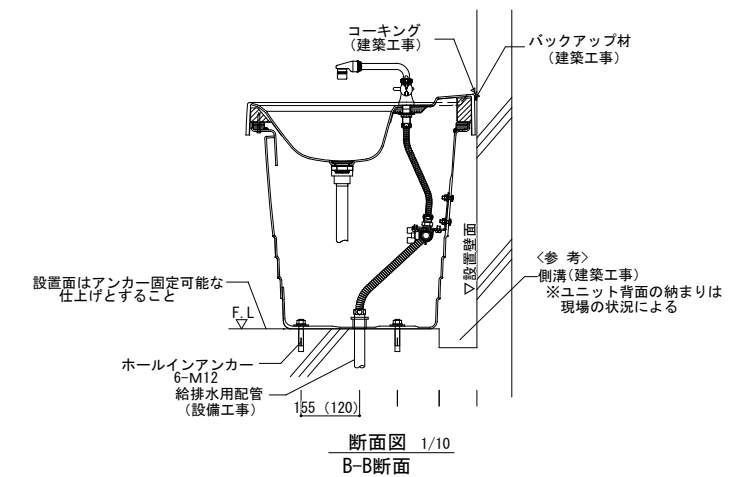


底面図 1/10
A-A断面



配管系統図

配管立上げ詳細図 1/10



断面図 1/10
B-B断面

シャワーユニットスリム特記仕様書

区分	内容	単位	数量	重量	仕様・備考
1 本体	全長	m	2.95		通路幅 1.2m 仕上げFLから高さ 2.105m 仕上げFLから高さ 1.005m
	全幅	m	2.25		
	全高	m	2.2		
	ユニット高	m	1.1		
	ユニット1(側壁及び底盤)	ユニット	1	160kg	
	ユニット2(側壁外側カバー)	ユニット	2	20kg	
2 付属部品	シャワー アッパーパイプ	本	3	5kg	φ34パイプ(SUS304) ノズル(SUS304)3箇所/本
	腰洗いノズル	箇所	6		PP及びPPS
	メンテナンスハッチ	箇所	2		ゲルコート+FRP

本体材質	FRP (Fiberglass Reinforced Plastics): 不飽和ポリエステル樹脂をガラス繊維で強化したもの。
成形法	ハンドレイアップ法 及び スプレイアップ法
各部構造	側壁・カバー: FRP単板構造 底盤: サンドイッチ構造(芯材 硬質発泡材)

部位	塗料材質	色
シャワー本体	ゲルコート(顔料を含んだ不飽和ポリエステル樹脂塗料)	ミルクレーホワイト

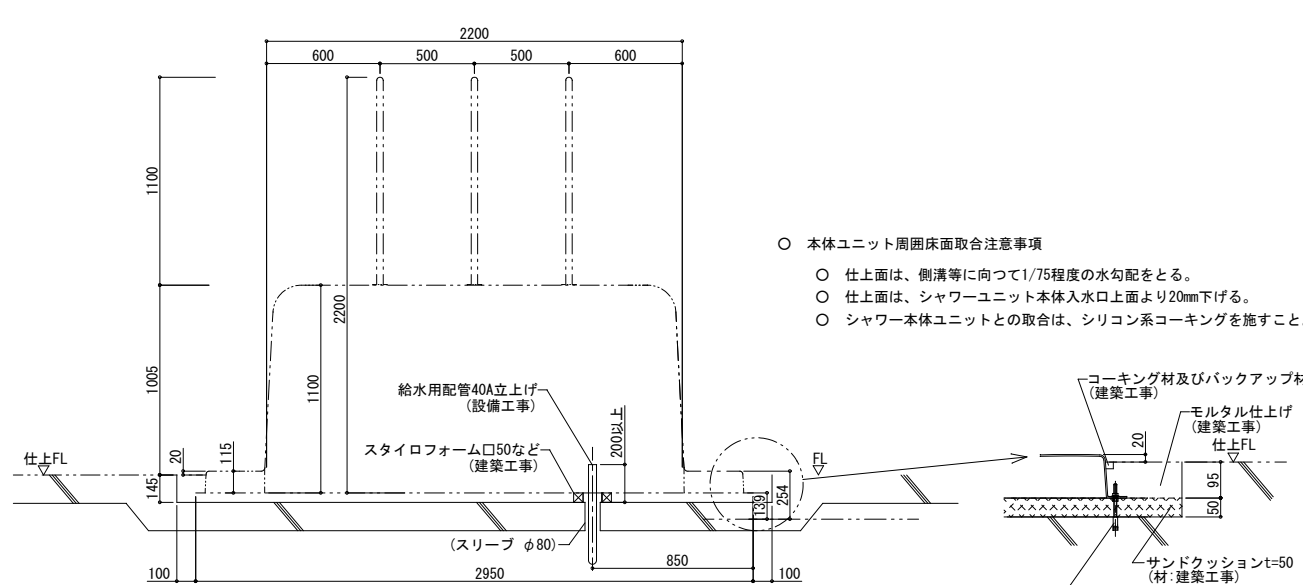
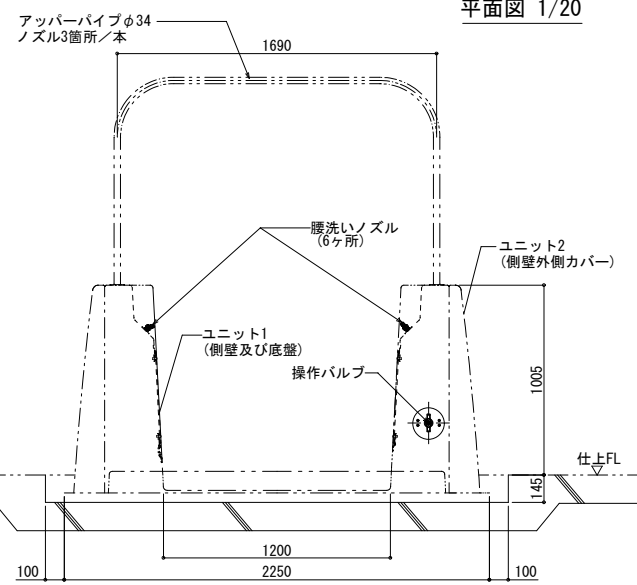
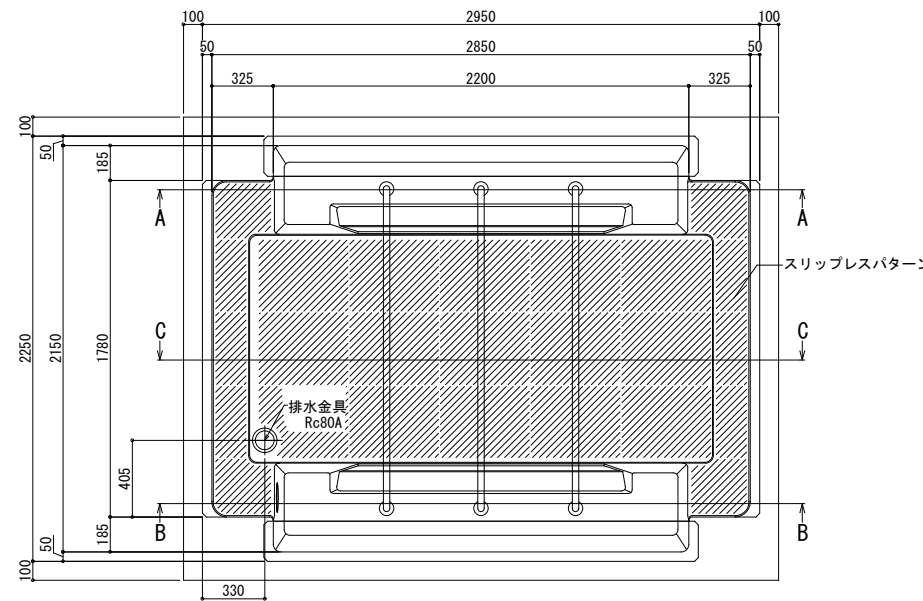
配管部品	部品名称	材質・仕様	サイズ	員数
配管部品 配線部品	1 排水金具	BSC ナイロン粉体塗装(ミルクレーホワイト)	Rc80A	1 個
	2 給水配管接続取り出し	HI-VPバルブソケット	40A	1 箇所
	3 ストレーナー	青銅 メッシュ80	40A	1 個
	4 操作バルブ	PVC	40A	1 個
	5 メンテナンスバルブ	青銅	40A	1 個
	6 フレキシブルホース	SUS316 腰洗いノズル用	φ20	6 本
	7 フレキシブルホース	SUS316 アッパーパイプ及び水抜き用	φ32.5	8 本

※シャワー取付金具以降の配管、バルブ、配管サポート、保温等は設備工事

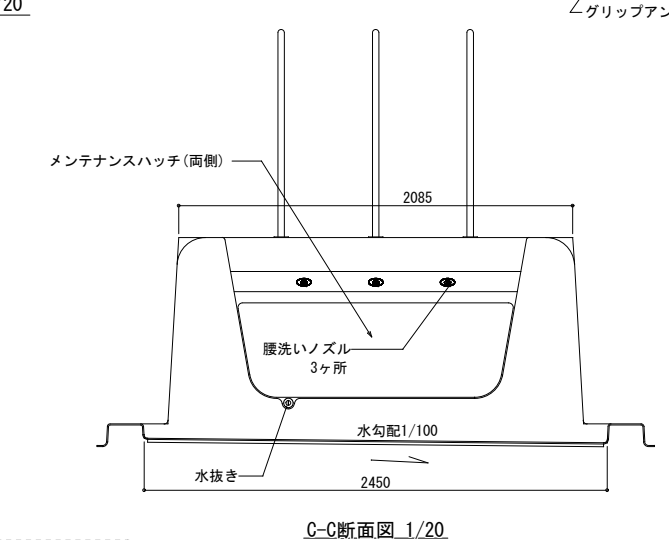
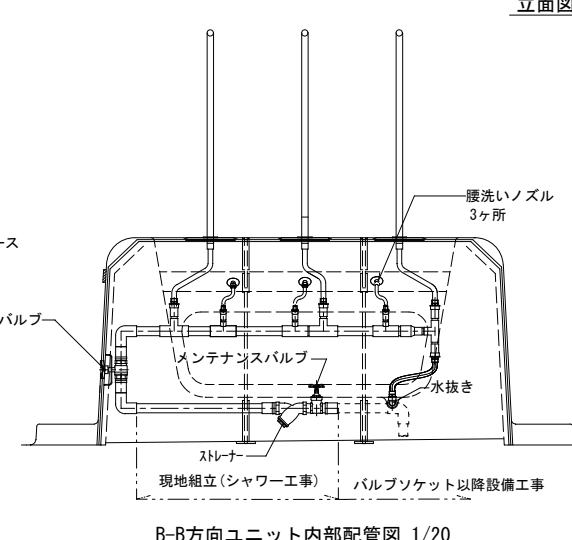
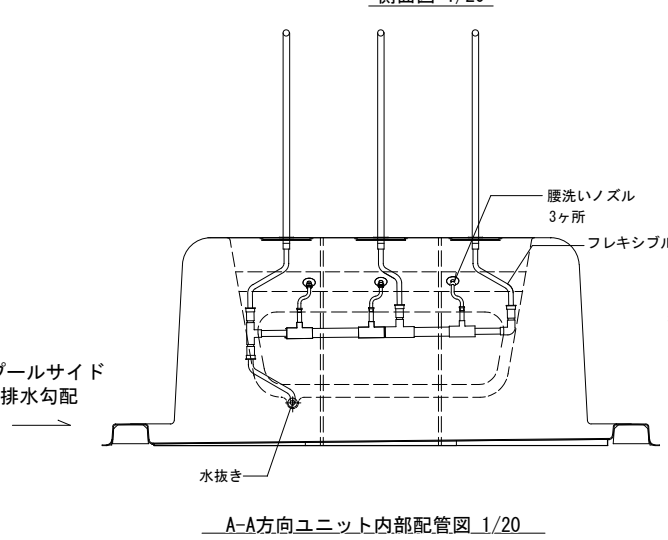
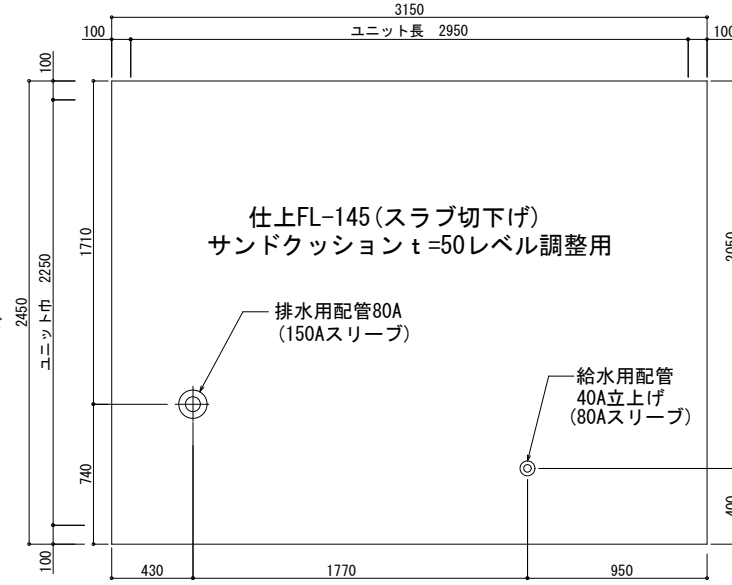
用語説明	説明
ハンドレイアップ法	型の表面に製品色となるゲルコートを吹付硬化後、その上にガラス繊維を置き、これに成形樹脂を含浸させて硬化後、型から外して得る成形法。
スプレイアップ法	型の表面に製品色となるゲルコートを吹付硬化後、その上にガラス繊維を含ませた成形樹脂をスプレイ散布し硬化後、型から外して得る成形法。
BSC	黄銅鋳物
Rc	管用テーパードメスねじ
PP	ポリプロピレン樹脂
PPS	ポリフェニレンサルファイド樹脂
PVC	ポリ塩化ビニル樹脂

- (1) 建築工事条件
- シャワーユニット設置場所50m以内まで4ton車の通行が可能であり、且つユニット設置場所まで2.0m以上の資材搬入路を確保すること。
 - 設置地盤は長期地耐力20kN/m² (2t/m²)以上の均等地盤で不同沈下をおこなない地盤とすること。

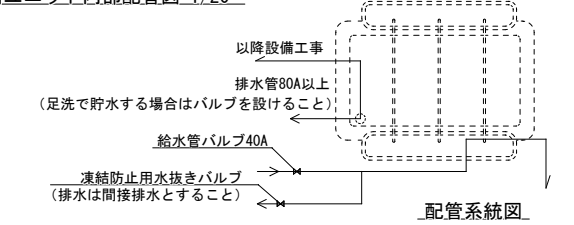
- (2) 設備工事条件
- 本商品のシャワー機能を充分発揮させるため、以下の条件を満たすこと。
- シャワーユニット用配管水圧を0.1MPa(+0.05 / -0) [1.0kg/cm²(+0.5 / 0)] 流量80~100リットル/分目安に供給すること。
上記の水圧・水量が確保出来ない場合は、一次側設備工事にて減圧・増圧の措置を行うこと。
 - 本管からシャワーユニット用配管取込み接続部まで、配管口径は40A以上とすること。
 - シャワーユニットの排水は、自然排水ができるように排水勾配を確保すること。
(できない場合は、ピットを設け、強制排水等の処置をとること。)

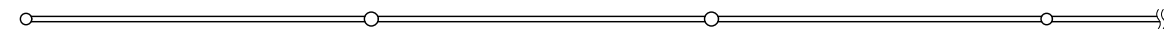


- 本体ユニット周囲床面取合注意事項
- 仕上面は、側溝等に向つて1/75程度の水勾配をとる。
 - 仕上面は、シャワーユニット本体入水口上面より20mm下げる。
 - シャワー本体ユニットとの取合は、シリコン系コーキングを施すこと。

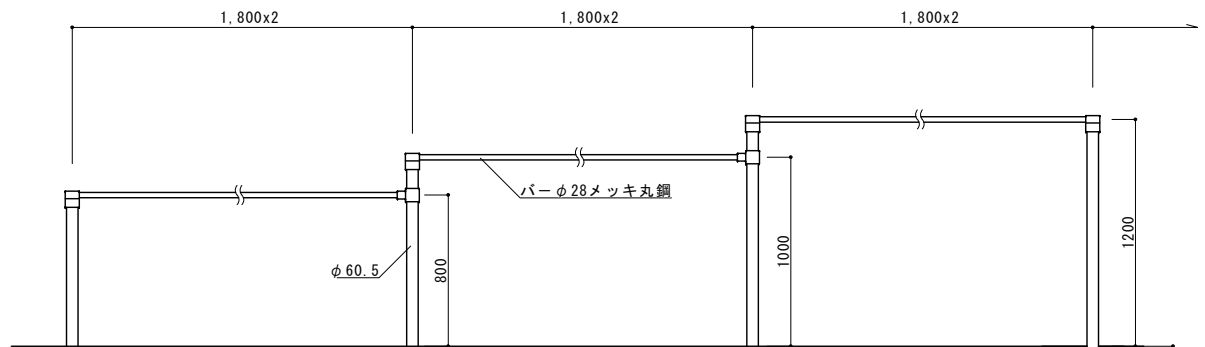


- 配管施工注意事項
- 配管材質と凍結対策方法
- 材質
 - 給水配管は塩化ビニル管(VP)も可とする。
 - 排水配管は塩化ビニル管(VU)も可とする。
(関係官庁給水規定に照らし合わせ、材質を決定すること)
 - 配管取返し
 - 本体ユニット内配管の冬期凍結破損防止用として、給水配管には、水抜き配管を設けて、必要に応じて保温措置をとること。

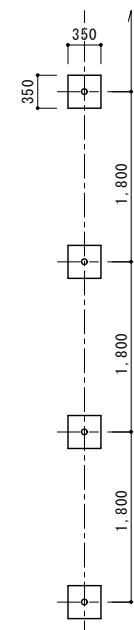




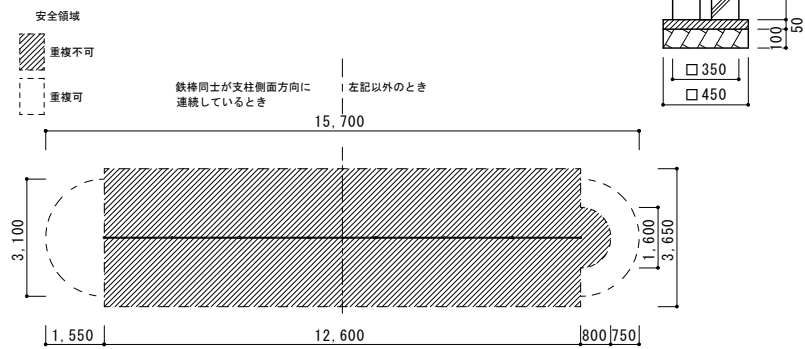
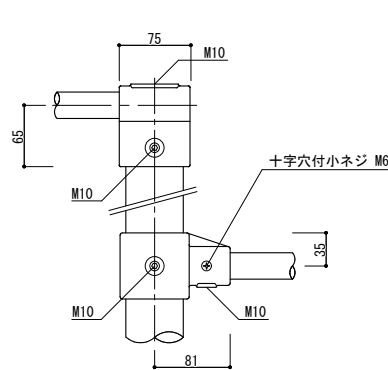
平面図 S=1/20



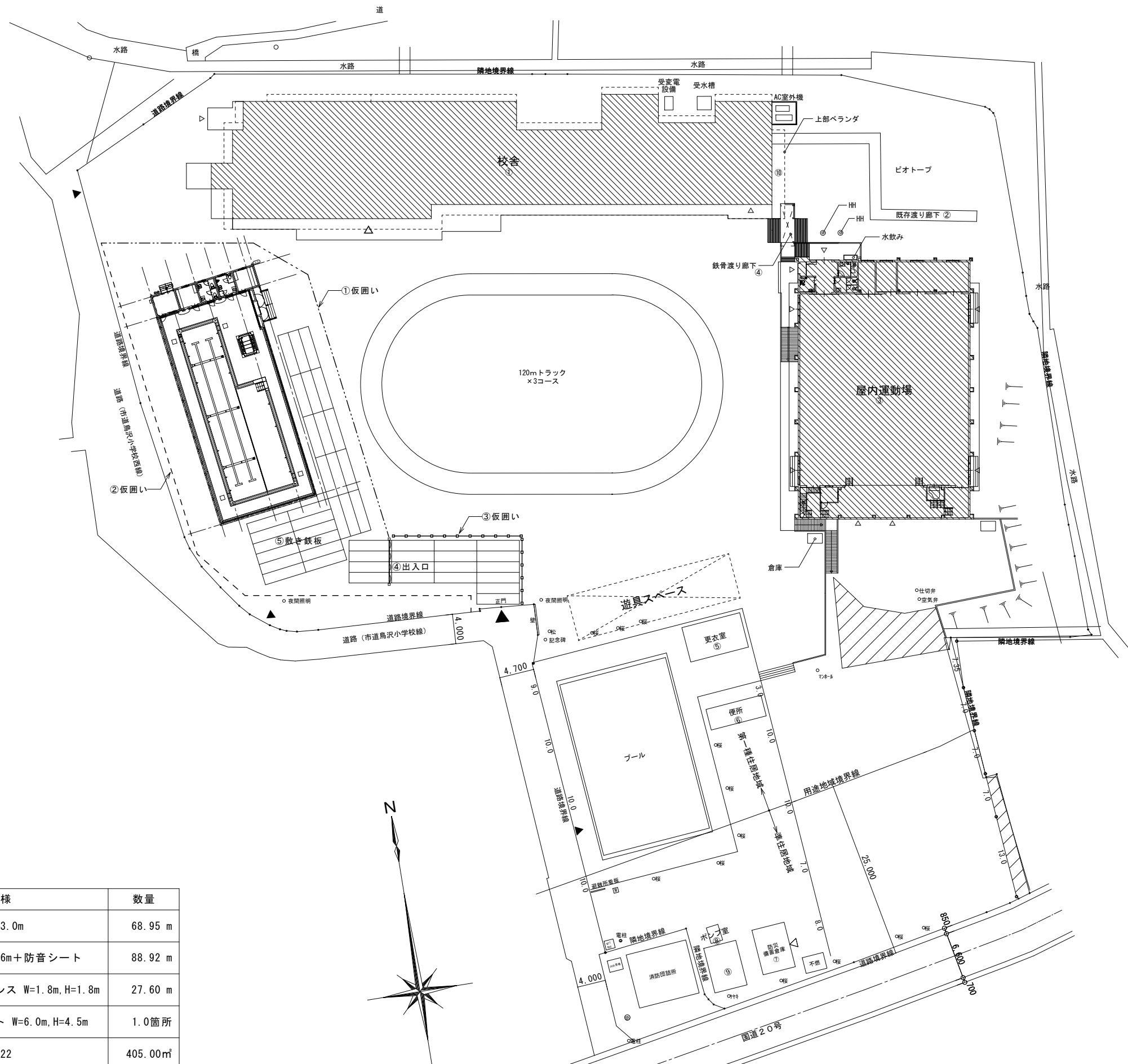
立面図 S=1/20



基礎伏図 S=1/40



安全領域図 S=1/100



仮設物一覧表

記号	名称	仕様	数量
①	仮囲い	成形鋼板 H=3.0m	68.95 m
②	仮囲い	単管組 H=3.6m+防音シート	88.92 m
③	仮囲い	ガードフェンス W=1.8m, H=1.8m	27.60 m
④	出入口	シートゲート W=6.0m, H=4.5m	1.0箇所
⑤	敷鉄板	敷き鉄板 t=22	405.00㎡
⑥	クレーン	配管ビットPC・BOXカッター搬入設置 プール製品搬入用 25tラダークレーン	4.0日

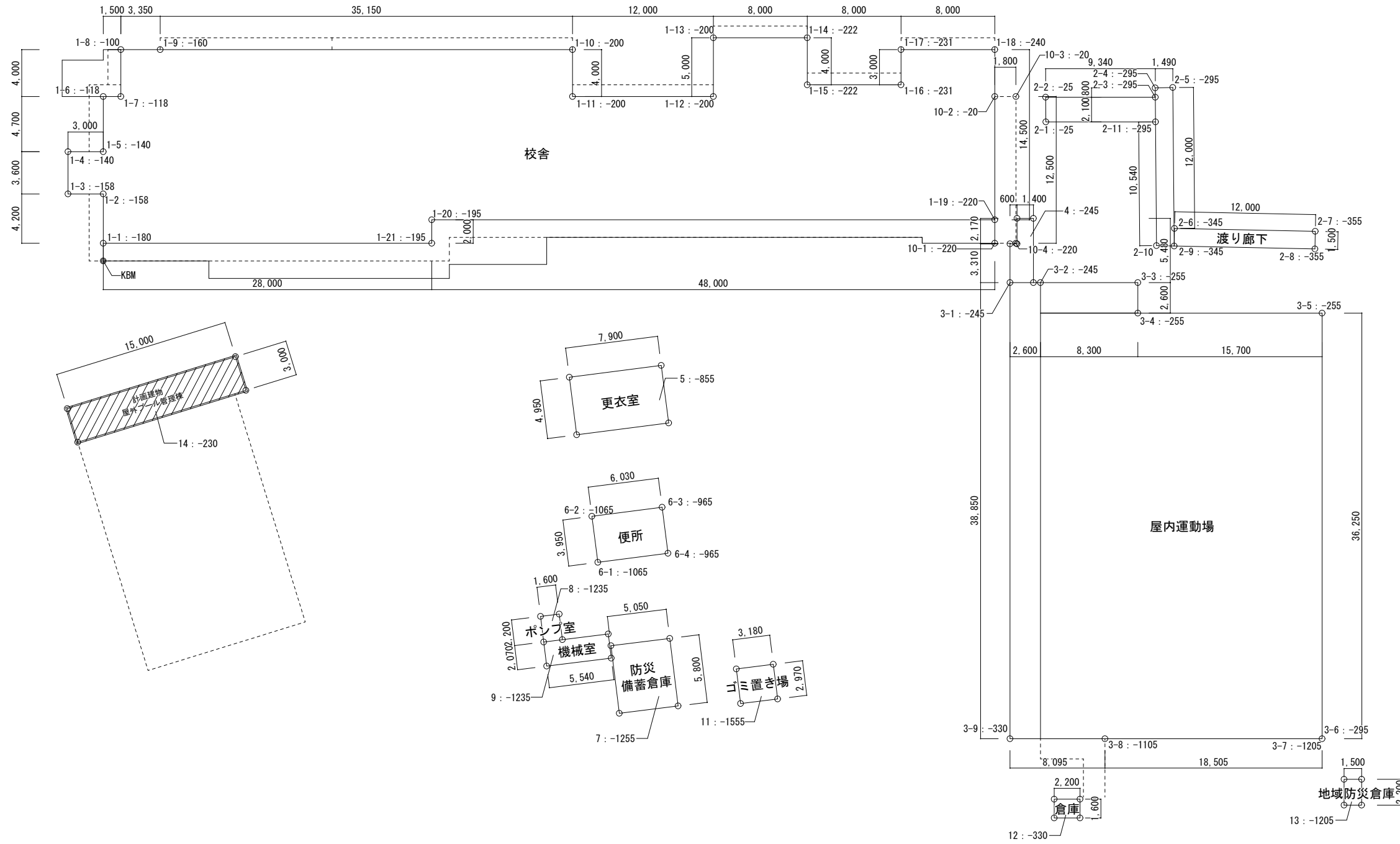


ポイントA	ポイントB	A+B	長さ(m)	倍面積(m ²)		
1-1	-0.180	1-2	-0.158	-0.338	4.200	-1.4196
1-2	-0.158	1-3	-0.158	-0.316	3.000	-0.9480
1-3	-0.158	1-4	-0.140	-0.298	3.600	-1.0728
1-4	-0.140	1-5	-0.140	-0.280	3.000	-0.8400
1-5	-0.140	1-6	-0.118	-0.258	4.700	-1.2126
1-6	-0.118	1-7	-0.118	-0.236	1.500	-0.3540
1-7	-0.118	1-8	-0.100	-0.218	4.000	-0.8720
1-8	-0.100	1-9	-0.160	-0.260	3.350	-0.8710
1-9	-0.160	1-10	-0.200	-0.360	35.150	-12.6540
1-10	-0.200	1-11	-0.200	-0.400	4.000	-1.6000
1-11	-0.200	1-12	-0.200	-0.400	12.000	-4.8000
1-12	-0.200	1-13	-0.200	-0.400	5.000	-2.0000
1-13	-0.200	1-14	-0.222	-0.422	8.000	-3.3760
1-14	-0.222	1-15	-0.222	-0.444	4.000	-1.7760
1-15	-0.222	1-16	-0.231	-0.453	8.000	-3.6240
1-16	-0.231	1-17	-0.231	-0.462	3.000	-1.3860
1-17	-0.231	1-18	-0.240	-0.471	8.000	-3.7680
1-18	-0.240	1-19	-0.220	-0.460	14.500	-6.6700
1-19	-0.220	1-20	-0.195	-0.415	48.000	-19.9200
1-20	-0.195	1-21	-0.195	-0.390	2.000	-0.7800
1-21	-0.195	1-1	-0.180	-0.375	28.000	-10.5000

ポイントA	ポイントB	A+B	長さ(m)	倍面積(m ²)		
2-1	-0.025	2-2	-0.025	-0.050	2.100	-0.1050
2-2	-0.025	2-3	-0.295	-0.320	9.340	-2.9888
2-3	-0.295	2-4	-0.295	-0.590	0.800	-0.4720
2-4	-0.295	2-5	-0.295	-0.590	1.490	-0.8791
2-5	-0.295	2-6	-0.345	-0.640	12.000	-7.6800
2-6	-0.345	2-7	-0.355	-0.700	12.000	-8.4000
2-7	-0.355	2-8	-0.355	-0.710	1.500	-1.0650
2-8	-0.355	2-9	-0.345	-0.700	12.000	-8.4000
2-9	-0.345	2-10	-0.345	-0.690	1.490	-1.0281
2-10	-0.345	2-11	-0.295	-0.640	10.540	-6.7456
2-11	-0.295	2-1	-0.025	-0.320	9.340	-2.9888
3-1	-0.245	3-2	-0.245	-0.490	2.600	-1.2740
3-2	-0.245	3-3	-0.255	-0.500	8.300	-4.1500
3-3	-0.255	3-4	-0.255	-0.510	2.600	-1.3260
3-4	-0.255	3-5	-0.255	-0.510	15.700	-8.0070
3-5	-0.255	3-6	-0.295	-0.550	36.250	-19.9375
3-6	-0.295	3-7	-1.205	-1.500	0.000	0.0000
3-7	-1.205	3-8	-1.105	-2.310	18.505	-42.7466
3-8	-1.105	3-9	-0.330	-1.435	8.095	-11.6163
3-9	-0.330	3-1	-0.245	-0.575	38.850	-22.3388
4	-0.245	4	-0.245	-0.490	14.960	-7.3304
5	-0.855	5	-0.855	-1.710	25.700	-43.9470

ポイントA	ポイントB	A+B	長さ(m)	倍面積(m ²)		
6-1	-1.065	6-2	-1.065	-2.130	3.950	-8.4135
6-2	-1.065	6-3	-0.965	-2.030	6.030	-12.2409
6-3	-0.965	6-4	-0.965	-1.930	3.950	-7.6235
6-4	-0.965	6-1	-1.255	-2.030	6.030	-12.2409
7	-1.255	7	-1.065	-2.510	21.700	-54.4670
8	-1.235	8	-1.235	-2.470	7.900	-19.5130
9	-1.235	9	-1.235	-2.470	15.220	-37.5934
10-1	-0.220	10-2	-0.020	-0.240	12.500	-3.0000
10-2	-0.020	10-3	-0.020	-0.040	1.800	-0.0720
10-3	-0.020	10-4	-0.220	-0.240	12.500	-3.0000
10-4	-0.220	10-1	-0.220	-0.440	1.800	-0.7920
11	-1.555	11	-1.555	-3.110	12.300	-38.2530
12	-0.330	12	-0.330	-0.660	7.600	-5.0160
13	-1.205	13	-1.205	-2.410	7.400	-17.8340
14	-0.230	14	-0.230	-0.460	36.000	-16.5600
計				607.840	-520.4891	
平均地盤面: KBM-0.428 (設計GL-198)						

※ポイント高さはKBMからの高さを示す。
 ※表中の番号「1-1」は、「建物番号1-測定点1」を示す。
 ※番号「4」は、「建物番号4」を示し、地盤面が均一で「辺長」ではなく「周長」を示す。
 ※図中の「1-1: -180」は、「建物番号-測定点: 標高」を示す。

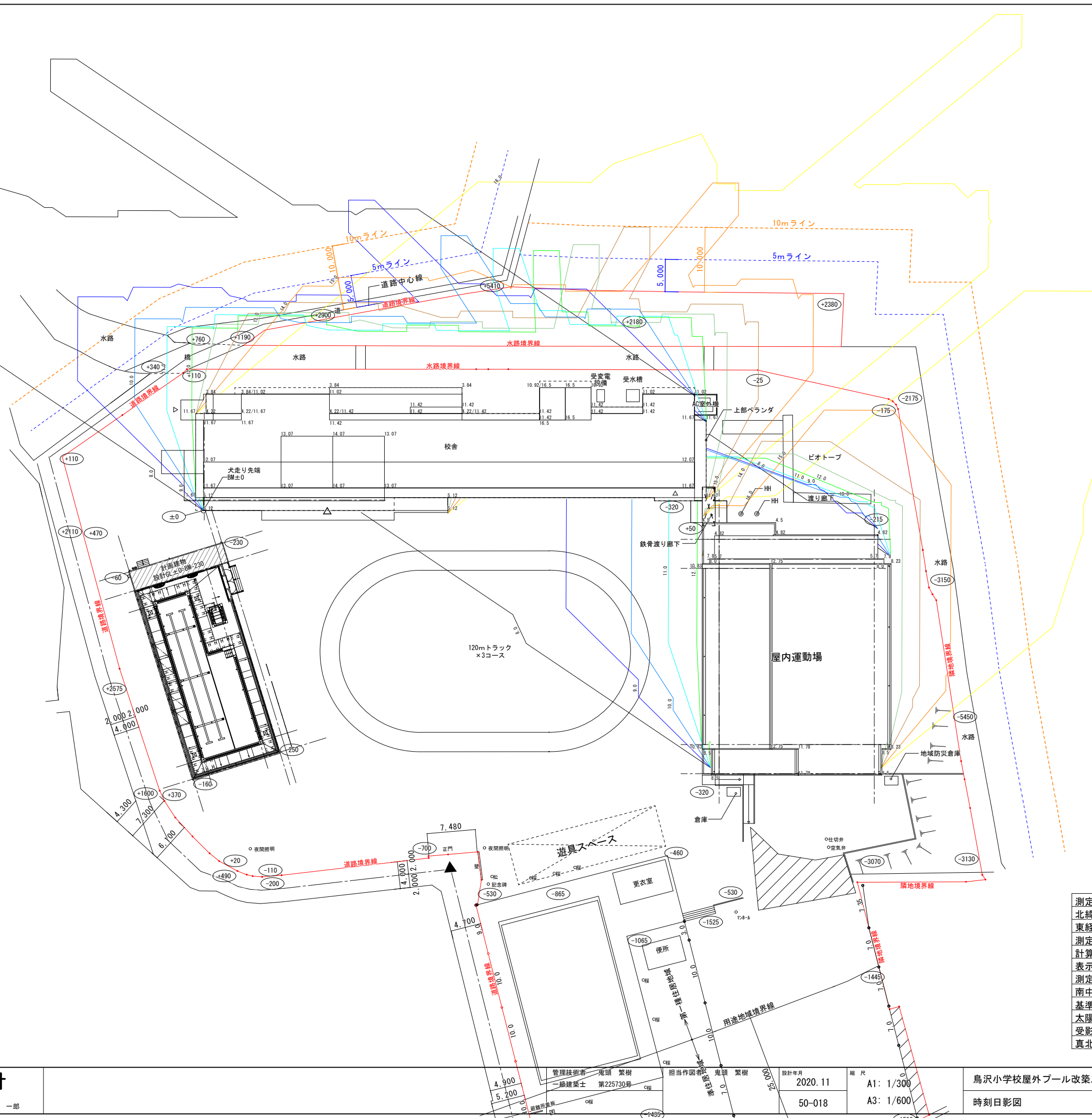
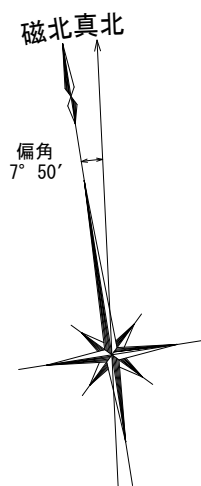


■増築建築物リスト

記号	用途	構造・規模	面積 m ²
①	プール管理棟	RC・1F	48.00
増築合計			48.00

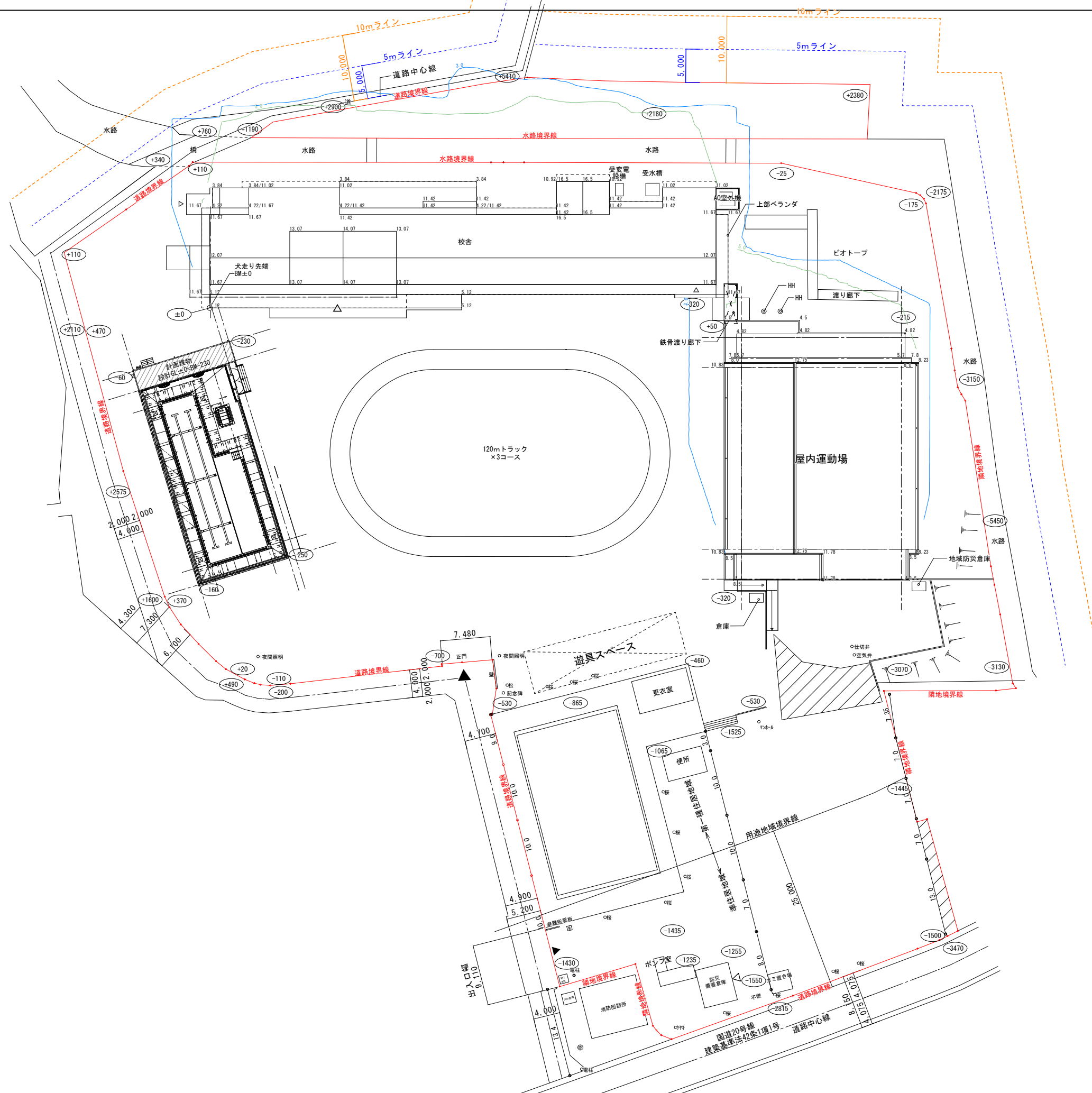
■既存建築物リスト

記号	用途	構造・規模	面積 m ²
①	小学校	RC・3F	2980.00
②	渡り廊下	S・1F	57.84
③	屋内運動場 一部渡り廊下	S・1F	1061.25
④	渡り廊下	S・1F	9.66
⑤	プール更衣室	CB・1F	39.00
⑥	便所	CB・1F	24.00
⑦	備蓄倉庫	CB・1F	21.42
⑧	ポンプ室	CB・1F	3.52
⑨	機械室	S・1F	11.47
⑩	渡り廊下	RC・1F	22.50
⑪	ゴミ置き場	S・1F	9.44
⑫	倉庫	プレハブ・1F	3.52
⑬	地域防災倉庫	プレハブ・1F	3.50
既存合計			4247.12

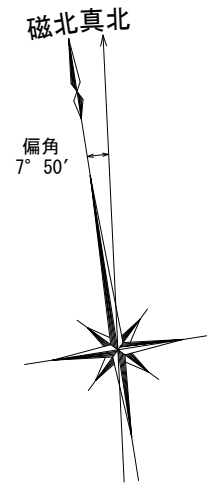


- 8:00
- 9:00
- 10:00
- 11:00
- 12:00
- 13:00
- 14:00
- 15:00
- 16:00

測定地域名	その他
北緯	35° 36' 36"
東経	139° 0' 19"
測定時間	8時~16時
計算精度	30分間隔
表示制度	60分間隔
測定日	2020年12月21日(冬至)
南中時刻	11時43分1秒
基準時刻	真太陽時
太陽経路計算方法	簡易経路計算
受影面の高さ	4000
真北の角度	357° 17' 58"



3時間
5時間



測定地域名	その他
北緯	35° 36' 36"
東経	139° 0' 19"
測定時間	8時~16時
計算精度	30分間隔
表示制度	60分間隔
測定日	2020年12月21日(冬至)
南中時刻	11時43分1秒
基準時刻	真太陽時
太陽経路計算方法	簡易経路計算
受影面の高さ	4000
真北の角度	357° 17' 58"

構造設計標準仕様

適用は 印を記入する。

1. 建築物の構造内容

(1) 工事名称 鳥沢小学校屋外プール改築工事
建築場所 山梨県大月市富浜町鳥沢 1979番地

(2) 工事種別 新築 増築 増改築 改築

(3) 構造種別
木造(W) 補強コンクリートブロック造(CB) 鉄骨造(S)
鉄筋コンクリート造(RC) 壁式鉄筋コンクリート造(WRC)
鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC) 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造(WPRC)

(4) 階数
地下 階 地上 1 階 塔屋 階

(5) 主要用途 屋外プール (付属棟含む)

(6) 屋上付属物
広告塔 太陽光発電パネル0.20KN/m² キュービクル KN 空調室外機

(7) 増築計画 有 () 無

(8) 付帯工事
門扉 擁壁 外部外構工事

(9) 特別な荷重
エレベータ 人乗(ロープ式 油圧式) リフト KN クレーン KN
倉庫積載床用 N/m² 受水槽 KN
積雪荷重 1300 N/m²

(10) 構造計算ルート X方向ルート - (1) Y方向ルート - (1)

2. 使用構造材料

(1) コンクリート

適用箇所	種類	設計基準強度 F _c =N/cm ²	耐久設計基準強度 F _d =N/cm ²	スラブ厚 cm	備考
控コン・ファインコンクリート	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	18		18	
土間コンクリート	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	18、21		15	
基礎、基礎はり	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	18、21、24	24(標準)	18	
柱、はり、床、壁	<input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 軽量	18、21、24	24(標準)	18	
押えコンクリート	<input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 軽量	15、18、24			比重
	<input type="checkbox"/> 普通	18、21、24		18	比重

混和剤

(2) コンクリートブロック(CB)
A種 B種 C種 厚 100、120、150、190。

(3) 鉄筋

種類	径	使用箇所	継手工法	
異形鉄筋	<input checked="" type="checkbox"/> SD295A	D10~D16	躯体、床	<input checked="" type="checkbox"/> 重ね継手
	<input type="checkbox"/> SD295B			
	<input checked="" type="checkbox"/> SD345	D19	躯体	<input checked="" type="checkbox"/> ガス圧接継手
	<input type="checkbox"/> SD390			
高強度せん断補強筋	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/> 特殊継手
丸鋼	<input type="checkbox"/> SR235			
溶接金網(JIS G 3551)	<input type="checkbox"/>			()

(4) 鉄骨

種類	使用箇所	現場溶接	備考
<input type="checkbox"/> S340 <input type="checkbox"/> SN490B <input type="checkbox"/> SN400A、B		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
<input type="checkbox"/> STKR400 <input type="checkbox"/> STKR490 <input type="checkbox"/> STK400		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
<input type="checkbox"/> BCR295 <input type="checkbox"/> BCP235		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
<input type="checkbox"/> SM490A <input type="checkbox"/> SN490B <input type="checkbox"/> SN490C		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
<input type="checkbox"/> SSC400		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	

(5) ボルト
高力ボルト M12、M16、M20、M22
中ボルト M12、M16、M20、M22
アンカーボルト φ= M20 L= mm
スタッドボルト φ= M L= mm
使用箇所(柱 大梁 小梁)
使用箇所(柱 大梁 小梁)

(6) 屋根、床、壁
ALC 厚 100
折版型式 H= 厚
折版型式 H= 厚
キーストンプレート 型式 H= 厚
特殊デッキプレート H= 厚
フラットデッキ 厚

3. 令129条の2の4の事項

建築設備(昇降機を除く)、建築設備の支持部及び緊結金物は腐食または腐朽の恐れのないものとする。 屋上から突出する水槽、煙突冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力状主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。

煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支枠を設けたものを除き、90cm以下とすること。

煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は、厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。

建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、
風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障がない構造とすること。
建築物の部分を通って配管する場合に於いては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずる恐れがある場合において、伸縮継ぎ手又は可換継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。

法第20条第一号から3号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものにおいて は建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造上安全なものとする。

4. 地盤

(1) 地盤調査資料
有(敷地内 近隣) ボーリング調査 平板載荷試験 SWサウンディング
無 (調査予定 有 無)

(2) 地盤調査計画
ボーリング調査 静的貫入試験 標準貫入試験 水平地盤反力係数の測定
土質試験 物理探査 平板載荷試験

(3) 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長、杭径、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある

(4) ボーリング標準貫入値、土質構成 (基礎・杭の位置を明記すること)

深度	土質	N値	標準貫入試験					調査地番 敷地内
			10	20	30	40	50	
1								
2								
3								
4								
5								
6								

調査地番敷地内
支持地盤、地層及び深さについてのコメント
位置図
孔内水位 GL - m

5. 地業工事

(1) 直接基礎 ベタ基礎 布基礎 独立基礎 試験掘 有 無
深さG L - m、支持層(地盤改良土) 長期許容支持力 50 KN/m² 載荷試験 有 無

(2) 地盤改良基礎 支持層-ローム混り細砂荘

改良工法	仕様・支持地盤等	施工法	備考
<input type="checkbox"/> 浅層地盤改良	支持地盤:	<input type="checkbox"/>	技術審査証明
<input checked="" type="checkbox"/> 柱状地盤改良	支持地盤: ローム混り細砂荘	<input checked="" type="checkbox"/> テノコラム工法	技術審査証明 技審照第3002号

地盤改良仕様 施工計画承認 施工結果報告書
試験 (有 無) (一軸圧縮試験 載荷)

改良径(mm)	設計支持力(KN/m ²)	杭先端の深さ(m)	本数	特記事項
1200	50	8.70~12.30	77	

6. 鉄筋コンクリート工事

(1) コンクリート
コンクリートはJIS認定工場の製品とし施工に関してはJASS5(2009年度版)による。
耐久設計基準強度 F_d 一般 標準 長期
セメントは、JIS R5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。
調査計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当る場合は、調査、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で(財)国土開発技術研究センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真(カラー)を保管し承認を得る。測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一資料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。
使用するコンクリートの圧縮強度試験は、普通コンクリートでは、標準養生を行った供試体を用いて材齢28日で行い、1回の試験は打込み区工ごと、打込み日ごと、かつ150m³またはその端数ごとに3個の供試体を用いて行う。高強度コンクリートでは、打込み日かつ300m³ごとに検査ロットを構成して行なう。1検査ロットにおける検査回数は3回とする。検査は適当な間隔をあけた任意の3台のトラックアジテータから採取した合計9個の供試体の試験結果から行う。
ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ちコンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送の際には、コンクリート圧送技師または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は150分、25℃以上の場合は120分以内とする。

(2) 鉄筋
鉄筋はJIS G3112の規格品を標準とする。
鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)(2)」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)(2)」による。
D19未満は、すべて重ね継手とする。継手(D19以上)をガス圧接とする場合は、日本圧接協会「鉄筋の圧接工事標準仕様書」による。
ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと(200箇所を超えときは、200箇所ごと)に1回行い、1回の試験は5本以上とする。外観検査 有 無、引張試験 有 無、超音波探傷試験 有 無
柱の帯筋(H00P)の加工方法は、H型(タガ型) W型(溶接型) S型(スパイラル型)とする。
コンクリート及び鉄筋の試験は下記の試験機関で行うこと
(「建築物の工事における試験及び検査に関する東京都取扱要綱」第4条による)
試験機関名 公共試験機関
代行業者名
代行業者とは、試験、検査に伴う業務を代行する者をいう。

(3) 型枠
材料 合板厚 12mmを標準とする。
型枠存置期間

種類	せき板		支柱			
	基礎、はり側、柱、壁	スラブ下、はり下	スラブ下		はり下	
セメントの種類	単強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	単強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	単強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント
	高炉セメントA種	シリカセメントA種	高炉セメントA種	シリカセメントA種	高炉セメントA種	シリカセメントA種
コンクリート(日)5℃未満	2	3	4	6	8	17
28日	3	5	6	10	12	25
コンクリートの圧縮強度	5N/mm ²	設計基準強度の50%		設計基準強度の		
				85%	100%	

- 注) 1 片持ばり、庇、スパン9.0m以上のはり下は、工事監理者の指示による。
- 注) 2 大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
- 注) 3 支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
- 注) 4 盛りかえ後の支柱顶部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
- 注) 5 支柱の盛りかえは、小ばりが終わってから、スラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしたはならない。
- 注) 6 上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

6. 鉄骨工事

(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
鋼材倶楽部「建築鉄骨工事施工指針」
日本建築センター「冷間成形形鋼管設計・施工マニュアル(改訂版)」

(2) 工事監理者の承認を必要とするもの
製作工場 製作要領書 工作図 施工計画書
認定または登録工場() グレード以上 グレード登録 () ランク
材料規格証明書または試験成績書
鋼材 高力ボルト 特殊ボルト 頭付スタッド
※社) 日本鋼構造協会「建築鋼構造用鋼材の品質証明ガイドライン」の規格証明方法、またはミルシート
社内検査表

(3) 工事監理者が行う検査項目
(印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること)
現寸検査 組立・開先検査 製品検査 建方検査

(4) 接合部の溶接は下記によること
平成12年度建設省告示第1464号第2号イ、ロ
鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要綱
日本建築学会「溶接作業規程、同解説I、II、III、IV、V、VI、VII、VIII、IX」
日本建築学会「溶接工事技術指針 工事現場施工編」

(5) 接合部の検査
溶接部の検査(検査結果は後日工事監理者に報告すること)

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数				備考
		社内	第三者	工事監理者		
<input type="checkbox"/> 突合せ溶接部 <input type="checkbox"/>	外観検査※	100%	30%	30%	※平成12年度建設省告示第1464号第二号による(目視及び計測)	
	超音波探傷検査	100%	30%	30%		
	内質検査(注)					
	硬さ試験					
	示温塗料塗布					
	マクロ試験・その他					
<input type="checkbox"/>	外観検査(※)					

第三者検査機関名 工事監理者が指定する第三者検査機関
第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。

注1) 現場溶接部については原則として第三者による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行うこと
注2) 知事が定めた重大な不具合が発生した場合は、是正前に対応策を建築主事に報告すること

高力ボルトの検査
軸力導入試験 要 否 高力ボルトすべり係数試験 要 否
一次締め後にマーキングを行い、二次締め後そのずれを見て、供回り等の異常がないことを確認する
トルシヤ形高力ボルトは二次締め後、ピンテールが破断していることを確認する。

(6) 防錆塗装
防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。(ウレタン塗装部はJIS K 5659)
錆止めペイントは、JIS K 5621 JIS K 5674 を使用して、4つ星2回塗りを標準とするが、実状に応じて決定すること。
現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し2回塗りとする。

(7) 耐火被覆の材料
別図(意匠図:耐火リスト)による

7. 設備関係

設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。
エレベーターの駆動装置等は、構造体に安全に緊結されていること。
特記以外の梁貫通孔は原則として設けない。設ける場合は設計者の承認を得ること
床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を管径の3倍以上かつ5cm以上とする。

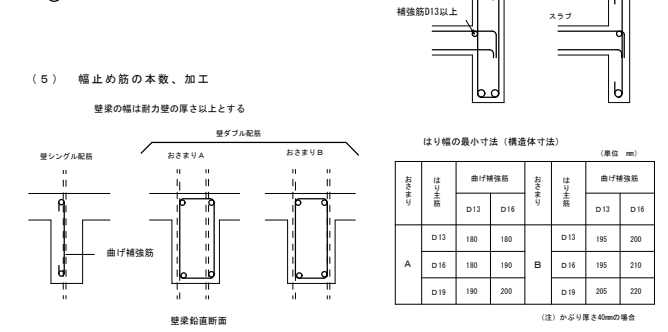
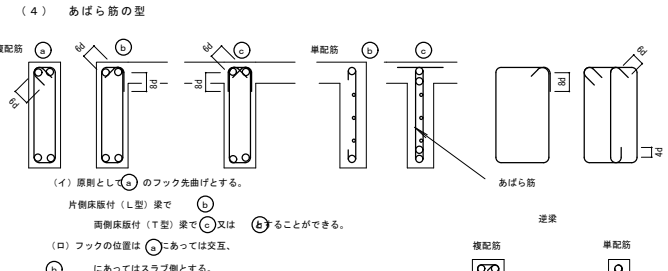
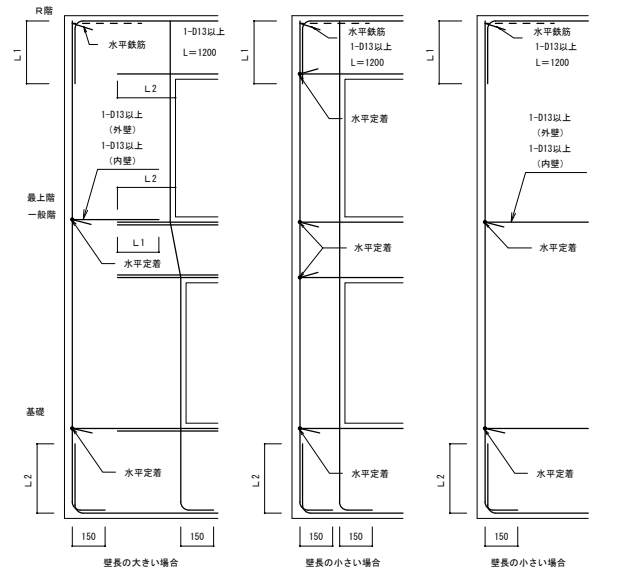
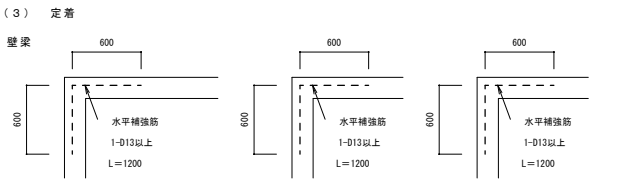
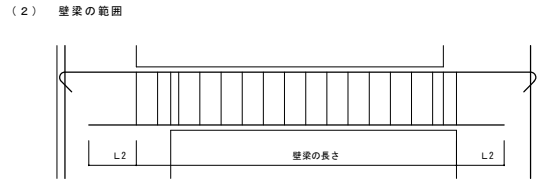
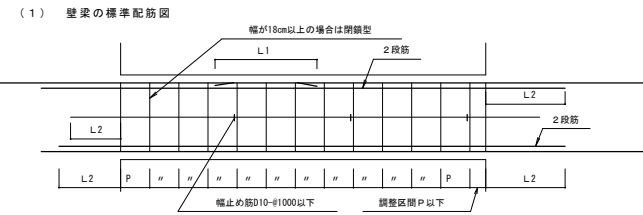
8. その他

諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

壁式鉄筋コンクリート配筋標準図(2)

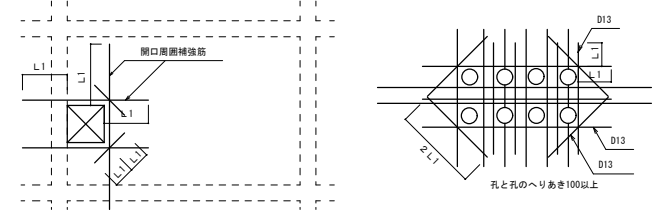
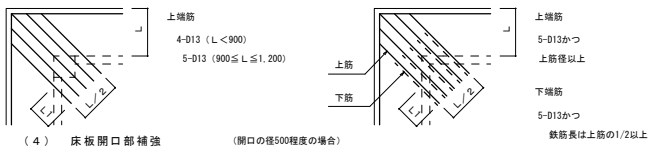
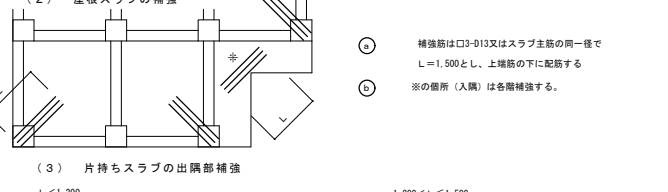
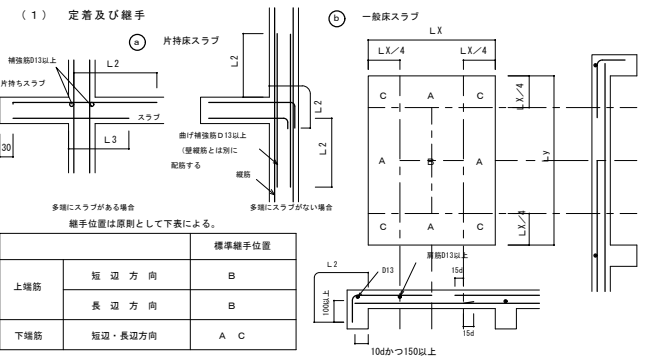
L=鉄筋コンクリート構造
標準図(1)の2-(3)による。

7. 壁梁、小梁

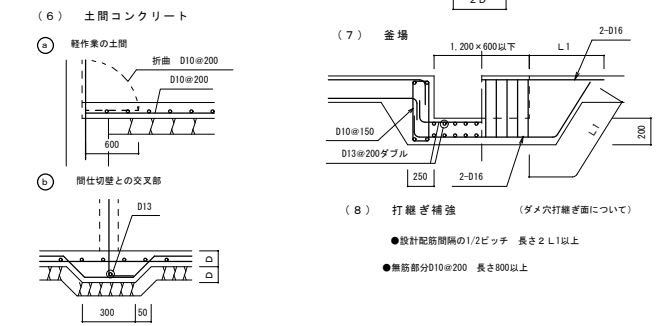
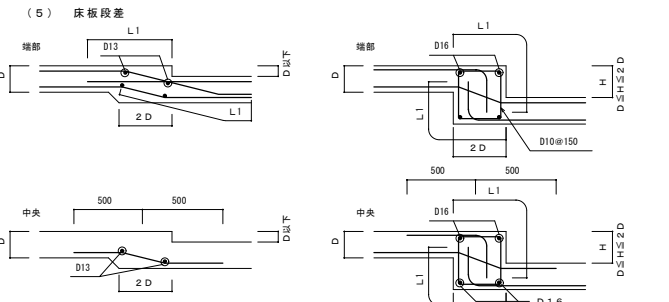


はり径	曲げ補強筋		曲げ補強筋	
	標準	最大	標準	最大
D13	180	180	185	200
D16	180	180	195	210
D19	190	200	210	220

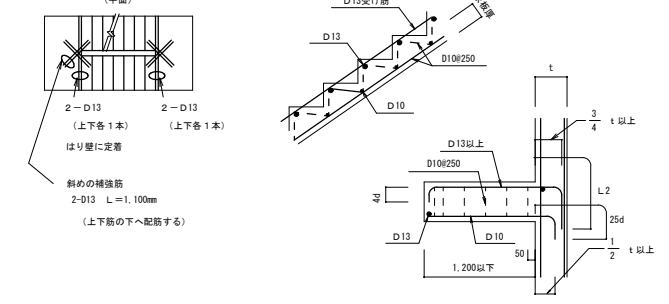
8. 床板



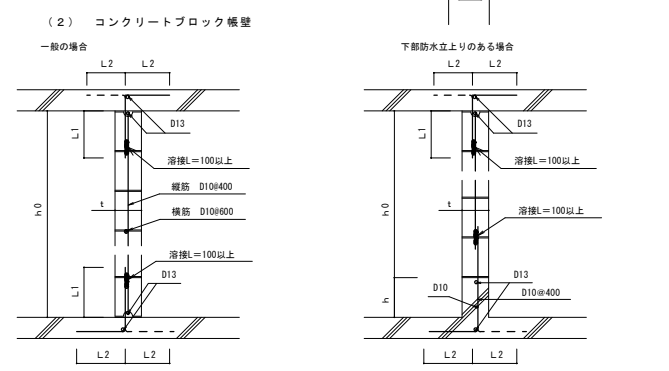
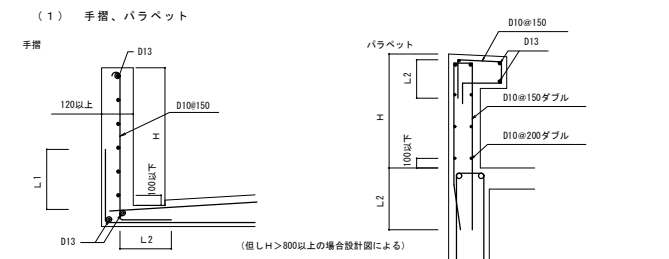
床板厚さ D	周 囲	斜 め
D ≤ 150	各2-D13	各1-D13
150 < D ≤ 200	各2-D13	各2-D13



9. 階段



10. その他



11. 梁貫通孔補強

(1) 既製品 (使用するときには、設計者又は工事監理者と打合せのこと)

□ リング型 □ パイプ型 □ 金網型 □ プレート型 ● 既成品

(2) 鉄筋標準配筋 (値は φ ≤ D/3 とする)

設置可能範囲 梁端部 (スパンL/10以内かつ2D以内) は避ける

80 ≤ φ ≤ 100	100 < φ ≤ 150	150 < φ ≤ 250
折筋 2-(2-D13) 縦筋 ST 2-D13-100φ	折筋 2-(2-D13) 縦筋 ST 2-D13-100φ 横筋 2-(2-D13)	斜筋 4-(2-D13) 縦筋 ST 2-D13-100φ 横筋 2-(2-D13) 上 下 縦筋 ST 2-D13

φ > 250
孔補強の有効範囲と定着長さのとり方

※部分について計算で確認された場合は右記の位置、寸法によらずに良い

貫通孔が連続して間隔等が取れない場合は設計者又は工事監理者と打合せのこと。

12. コンクリートブロック塀

(1) 既製品 (使用するときには、設計者又は工事監理者と打合せのこと)

a. 塀の高さ (地盤面に高低差のある場合は低い方による) は2.2m以下。
b. 塀の厚さは、塀の高さ2m以下の場合は120mm以上、2mを超える場合は150mm以上。
c. 地盤が液状化の恐れのある砂質土および軟弱土の場合は、別途検討する。
d. 鉄筋挿入部はモルタルを充填すること。

控え壁のない簡易 高さ: 2m以下

控え壁のある簡易 高さ: 2m以下

◎標準図

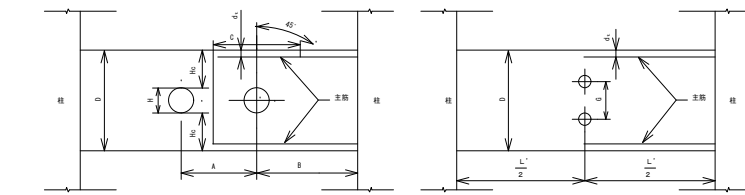
- 1、一般事項
- 1) 本仕様書は、MAXリンプレンK型の標準仕様を定めるものであり、各設計における特記仕様は、本仕様書に優先して適用する。
 - 2) 本仕様書に定めなき事項は、日本建築学会「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説」2010年版、「鉄骨鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説」2014年改定、「建築工事標準仕様書・同解説」(JASS5) 2009年版、「鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説」2010年改定、「鉄骨鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説」2005年改定、日本建築センター「建築物の構造関係技術基準解説書」2007年版、公共建築協会「建築構造設計基準」平成22年版及び、「公共建築工事標準仕様書」平成25年版による。

2、適用範囲

- 1) 適応対応梁の構造
- ・梁の構造種別 : 鉄筋コンクリート造及び、鉄骨鉄筋コンクリート造
 - ・梁せい (D) : D≧450 (mm)
 - ・コンクリートの設計基準強度 (F_c)
 - あばら筋に普通鉄筋を用いた梁 18≦F_c≦60N/mm²
 - あばら筋に高強度鉄筋を用いた梁 21≦F_c≦100N/mm²
 ただし、コンクリートの設計基準強度が60N/mm²を超えた場合は、建築基準法 第37条二号の大匠認定を取得している高強度コンクリートとする。
- ・鉄筋
- 主筋 JIS-G 3112 「鉄筋コンクリート用棒鋼」及び、建築基準法 第37条二号の大匠認定を取得している 590・685N/mm²級鋼の高強度鉄筋
ただし、主筋に丸鋼及びインデントの鉄筋は用いないこととする。
 - あばら筋 JIS-G 3112 「鉄筋コンクリート用棒鋼」及び、建築基準法 第37条二号の大匠認定を取得している 685・785・1275N/mm²級鋼の高強度鉄筋
ただし、開孔上下部補強筋に丸鋼及びインデントの鉄筋は用いないこととする。

2) 開孔径及び、開孔位置

- ・開孔径 (H) : H≦D/3 ただし、80≦H≦750 (mm)
- ・開孔の水平方向中心間距離 (A) : A≧3H (隣り合う開孔径の平均径の3倍以上)
- ・開孔の垂直方向中心間距離 (G) : G≧3H ただし、2H≦D/4 且つ、基礎梁の中央部に2開孔までとする。(同軸上と同径)
- ・柱際から開孔中心までの距離 (B) : B≧D (mm)
ただし、あばら筋に普通鉄筋を使用した梁端の曲げ降伏型ではない基礎梁で、有効補強範囲Cが確保でき、1.0≦M/Qd≦1.22 且つ、H/D≦0.27の場合 B≧0.6D (mm)
- ・梁上下端からのへりあき距離 (H_c) : 開孔の上下方向の位置は梁せい中心付近とする。
ただし、梁上下端からのへりあき距離については、MAXリンプレンK型があばら筋の内側に納まる距離を確保する。



3) 補強量の範囲

- ・MAXリンプレンK型の補強筋比 (ρ_r)
 - あばら筋に普通鉄筋を用いた梁 ρ_r≦1.0 (%)
 - あばら筋に高強度鉄筋を用いた梁 ρ_r≦1.2 (%)
- ・有効補強範囲内のあばら筋比 (ρ_{ra})
 - あばら筋に普通鉄筋を用いた梁 ρ_{ra}≦1.2 (%)
 - あばら筋に高強度鉄筋を用いた梁 ρ_{ra}≦1.0 (%)
- ・有効補強範囲内のせん断補強筋比 (Σρ_{sv}=ρ_{sv1}+ρ_{sv2})
 - あばら筋に普通鉄筋を用いた梁 0.2≦Σρ_{sv}≦1.8 (%)
 - あばら筋に高強度鉄筋を用いた梁 0.2≦Σρ_{sv}≦2.2 (%)

◎補強算定式

MAXリンプレンK型補強有孔梁のせん断終局強度式 (修正広沢式)

$$Q_{ult} = \alpha \left\{ \frac{0.053 \rho_c^{0.23} (18 + F_{ck})}{M/Qd + 0.12} \left(1 - 1.61 \frac{H}{D} \right) + 0.85 \sqrt{\rho_r \cdot \sigma_r + \rho_{sv} \cdot \sigma_{sv}} \right\} b_j$$

α: 低減係数 α=1.00
ただし、梁端の曲げ降伏型ではない基礎梁で有効補強範囲が確保でき、開孔位置Bが 0.6D≦B<1.0Dの場合、あばら筋が普通鉄筋 (α_r=0.91) あばら筋が高強度鉄筋は適用範囲外

ρ_r: 引張鉄筋比 F_{ck}: コンクリートの設計基準強度 (N/mm²)
M/Qd: せん断スパン比で、3以上のときは3とする。

H: 開孔径 (mm) D: 梁せい (mm)

ρ_r: MAXリンプレンK型の補強筋比
σ_r: MAXリンプレンK型の規格降伏点 (785N/mm²) ただし、σ_r=min(785, 25F_{ck})

ρ_{sv}: 有効補強範囲内のあばら筋比
σ_{sv}: 有効補強範囲内のあばら筋の規格降伏点 (N/mm²) ただし、σ_{sv}=min(σ_{sv}, 25F_{ck})

b: 梁幅 (mm) j: 応力中心間距離で、j=7/8d (mm) とする。

d: 梁の有効せい (mm)

◎施工管理要領

- 1、施工に先立ち、設計図書又は、配筋図に基づき有孔梁の補強計算を行い、補強筋量及び開孔位置を確認する。次にMAXリンプレンK型の枚数及び、必要あばら筋組数を確認する。
- 2、MAXリンプレンK型には製品の型式が記載されたラベルが取付けてあるので、適用な製品であるか又、変形や腐がないか、スペーサー部にキャップが付いているか必ず確認する。キャップは開孔径別に色分けを施している。
- 3、MAXリンプレンK型を直接地面に置くことは避け、各サイズ毎に整理し、雨・泥・油等で汚さないように保管する。

◎標準配筋図

- 1、MAXリンプレンK型の取り付け
- 1) MAXリンプレンK型はあばら筋の内側に取り付け。3枚以上の場合は、捨て筋に取り付け、MAXリンプレンK型の間隔は50mm以上とする。

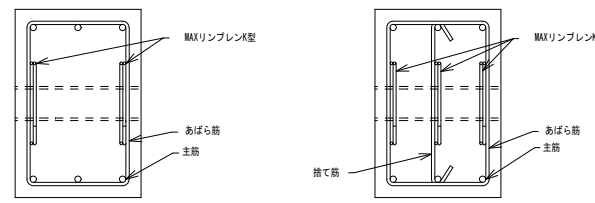


図2 MAXリンプレンK型の取り付け

2、開孔際補強あばら筋の基本配筋 (図3参照)

- 1) 開孔際補強あばら筋は、一般部あばら筋と同種同形状とし、基本組数を開孔径が、H<250のとき開孔側に1組、250≦Hのとき開孔側に2組とする。
- 2) 開孔際補強あばら筋は、開孔際から50mmのかぶり厚とし、2組目以上の場合は50mmピッチとする。

3、開孔上下部の補強 (図4、5参照)

- 1) 開孔径が250≦Hのときは開孔上下部補強を設計ピッチ以内 (X') で設ける。
- 2) 開孔上下部補強筋は一般部あばら筋と同径とし、横筋は一般部あばら筋と同径以上とし、定着長さは開孔際から40d以上とする。ただし、開孔上下部補強筋に丸鋼及びインデントの鉄筋は用いないこととする。
- 3) 開孔上下部補強筋は開孔の上下端から50mm以上のかぶりを確保し、形状は図5を参考に決定する。H_cが300mm未満の場合、(d)の形状としてもよい。また、(c)のように梁の両側から十字形状の補強筋を配筋する場合の重ね長さは、「JASS5」の直線重ね継手長さ以上を確保することとする。

■H<250 基本組数1組

■250≦H 基本組数2組

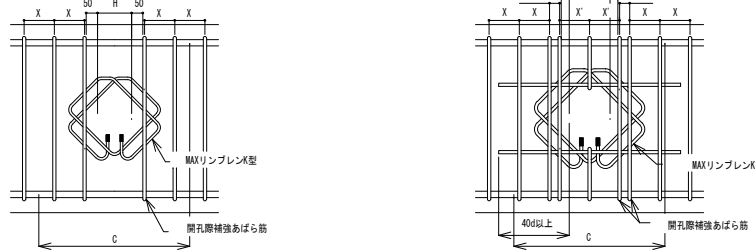


図3 開孔径別のあばら筋基本配筋図

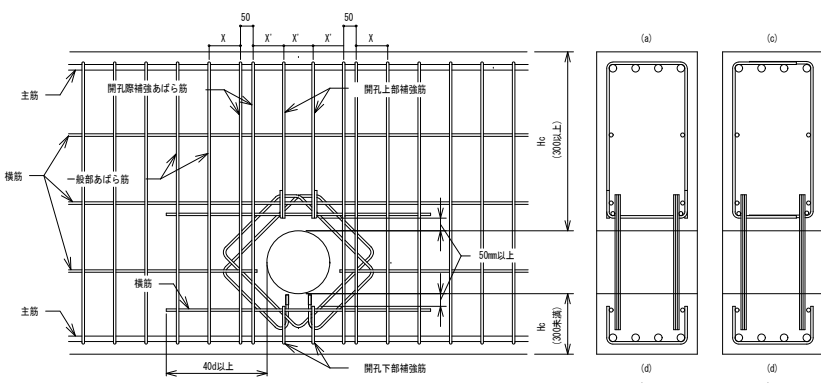


図4 開孔上下部の補強図

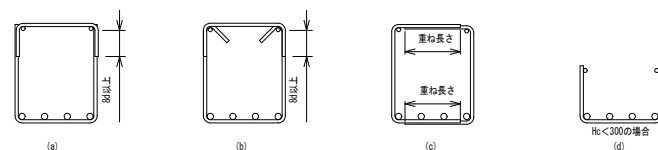


図5 開孔上下部補強筋の形状例

4、MAXリンプレンK型の取り付け向き

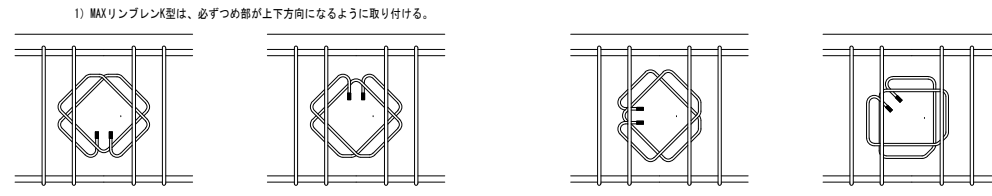
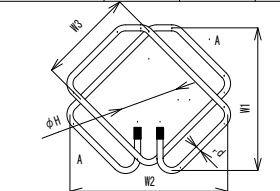


図6 MAXリンプレンK型の取付け向き

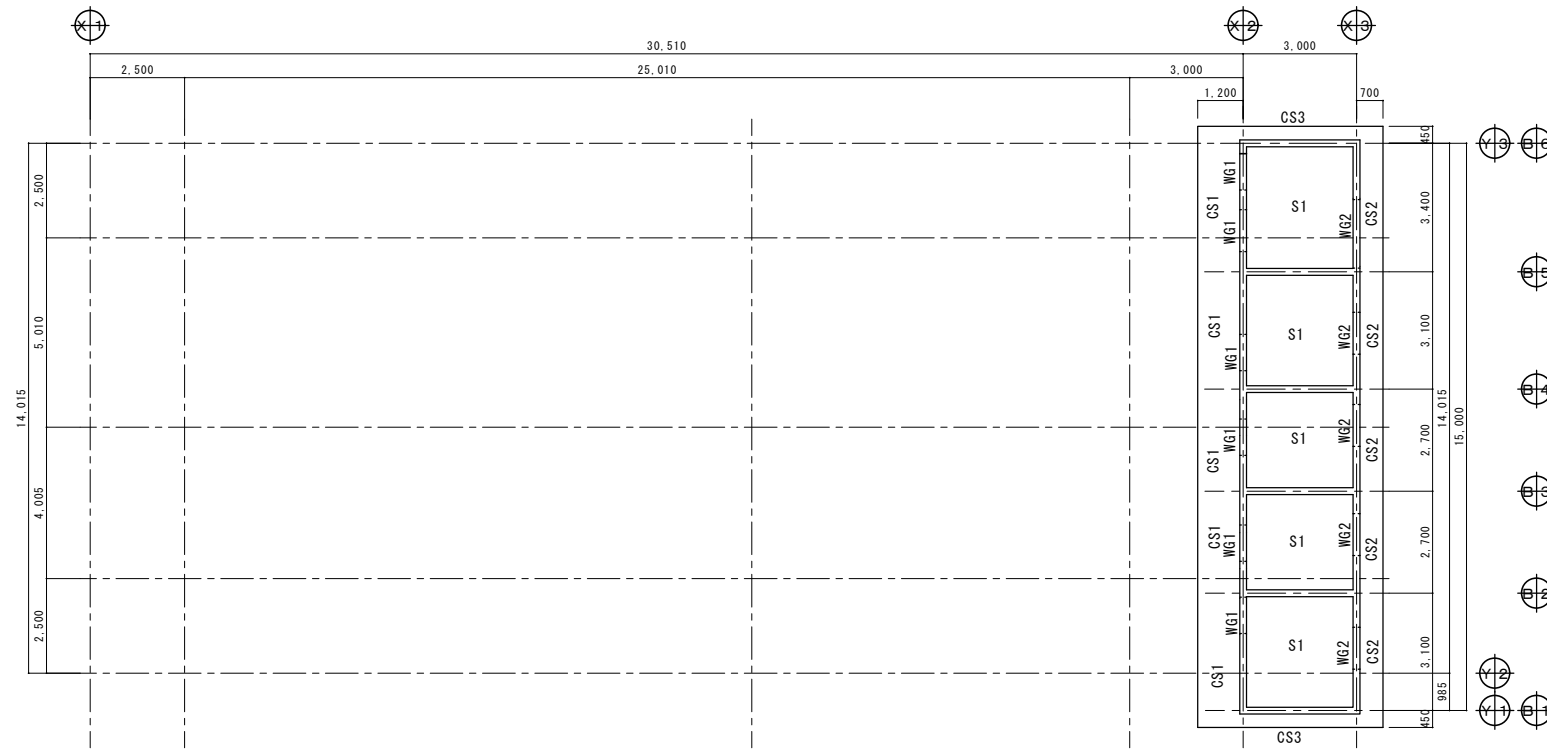
◎仕様

型式	開孔径 H	寸法			使用鉄筋	有効断面積 mm ²	キャップ色別
		W1	W2	W3			
K-0806R	φ80	253	292	180	S6	179.2	赤
K-0808R		264	298	180	S8	280.1	
K-0810R		289	319	190	S10	403.5	
K-0813R		296	334	200	S13	716.7	
K-1006R	φ100	283	327	205	S6	179.2	黒
K-1008R		294	334	205	S8	280.1	
K-1010R		320	354	215	S10	403.5	
K-1013R		327	369	225	S13	716.7	
K-1206R	φ125	313	363	230	S6	179.2	緑
K-1208R		325	369	230	S8	280.1	
K-1210R		350	389	240	S10	403.5	
K-1213R		357	404	250	S13	716.7	
K-1216R	φ150	350	405	250	S16	1123.5	白
K-1506R		344	398	255	S6	179.2	
K-1508R		355	404	255	S8	280.1	
K-1510R		380	425	265	S10	403.5	
K-1513R	φ175	388	440	275	S13	716.7	赤
K-1516R		380	441	275	S16	1123.5	
K-1706R		374	433	280	S6	179.2	
K-1708R		385	440	280	S8	280.1	
K-1710R	φ200	411	460	290	S10	403.5	黒
K-1713R		418	475	300	S13	716.7	
K-1716R		411	476	300	S16	1123.5	
K-2006R		404	469	305	S6	179.2	
K-2008R	φ250	416	475	305	S8	280.1	白
K-2010R		441	495	315	S10	403.5	
K-2013R		448	510	325	S13	716.7	
K-2016R		441	511	325	S16	1123.5	
K-2506R	φ300	488	561	365	S6	179.2	黒
K-2508R		500	567	365	S8	280.1	
K-2510R		525	587	375	S10	403.5	
K-2513R		532	602	385	S13	716.7	
K-2516R	φ350	525	603	385	S16	1123.5	白
K-3006R		589	674	440	S6	179.2	
K-3008R		600	680	440	S8	280.1	
K-3010R		625	701	450	S10	403.5	
K-3013R	φ400	632	716	460	S13	716.7	黒
K-3016R		625	716	460	S16	1123.5	
K-3508R		675	758	490	S8	280.1	
K-3510R		700	778	500	S10	403.5	
K-3513R	φ450	707	793	510	S13	716.7	白
K-3516R		700	794	510	S16	1123.5	
K-4010R		761	849	550	S10	403.5	
K-4013R		768	864	560	S13	716.7	
K-4016R	φ500	761	865	560	S16	1123.5	黒
K-4510R		850	941	610	S10	403.5	
K-4513R		857	956	620	S13	716.7	
K-4516R		850	957	620	S16	1123.5	
K-5010R	φ550	911	1,012	660	S10	403.5	白
K-5013R		918	1,027	670	S13	716.7	
K-5016R		911	1,028	670	S16	1123.5	
K-5510R		986	1,089	710	S10	403.5	
K-5513R	φ600	993	1,104	720	S13	716.7	黒
K-5516R		986	1,104	720	S16	1123.5	
K-6010R		1,046	1,160	760	S10	403.5	
K-6013R		1,053	1,175	770	S13	716.7	
K-6016R	φ650	1,046	1,176	770	S16	1123.5	白
K-6510R		1,135	1,252	820	S10	403.5	
K-6513R		1,142	1,267	830	S13	716.7	
K-6516R		1,135	1,268	830	S16	1123.5	
K-7010R	φ700	1,196	1,323	870	S10	403.5	黒
K-7013R		1,203	1,338	880	S13	716.7	
K-7016R		1,196	1,339	880	S16	1123.5	
K-7510R		1,257	1,394	920	S10	403.5	
K-7513R	φ750	1,264	1,409	930	S13	716.7	白
K-7516R		1,257	1,409	930	S16	1123.5	



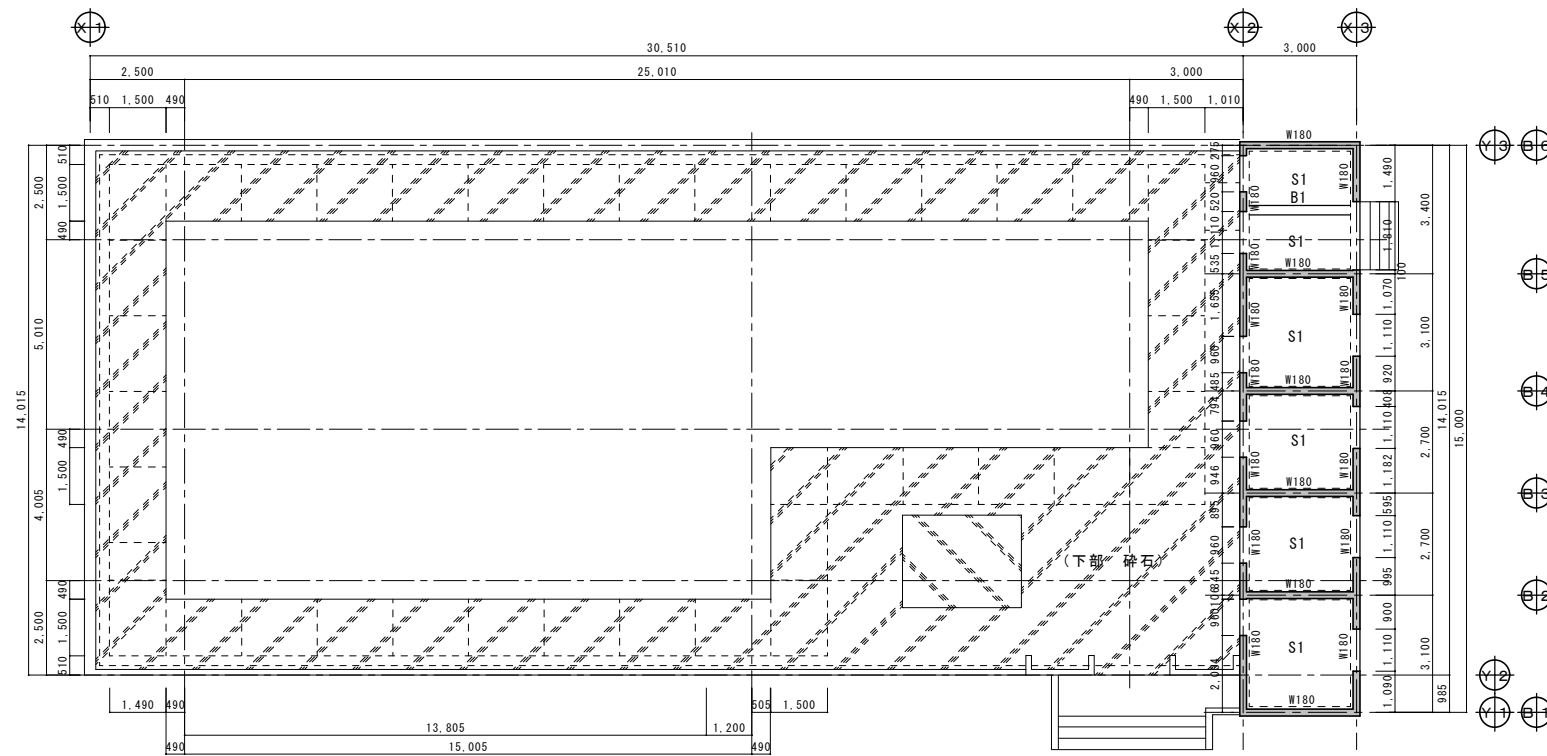
・鉄筋の材質 KSS785-K (認定番号 MSRB-0004)

・有効断面積 (a_r) はA-A部の断面×√2



屋根伏図 1/100

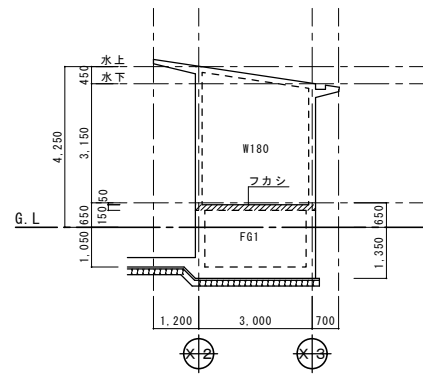
※ 躯体寸法に躯体打ち直しファカシは含まない。(ファカシ位置、厚さは意匠図参照)



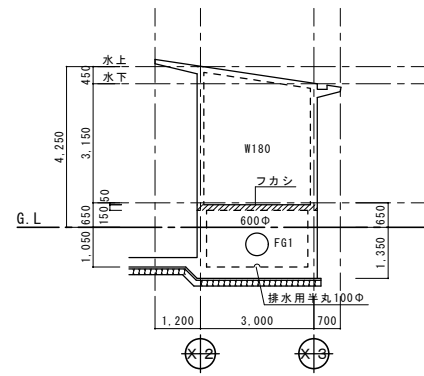
1階土間・壁伏図 1/100

※ 躯体寸法に躯体打ち直しファカシは含まない。(ファカシ位置、厚さは意匠図参照)

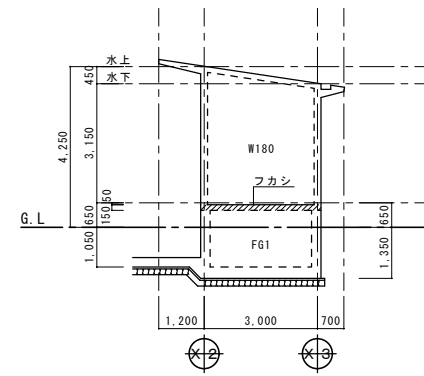
土間コンクリート (D3)



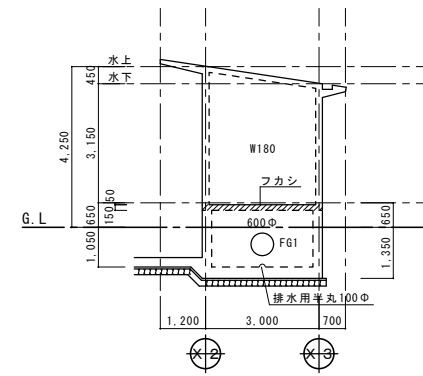
B 1 通り軸組図 1/100



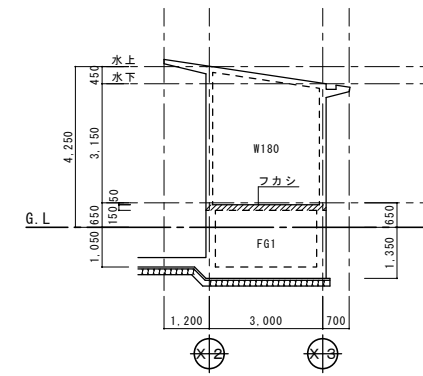
B 2 通り軸組図 1/100



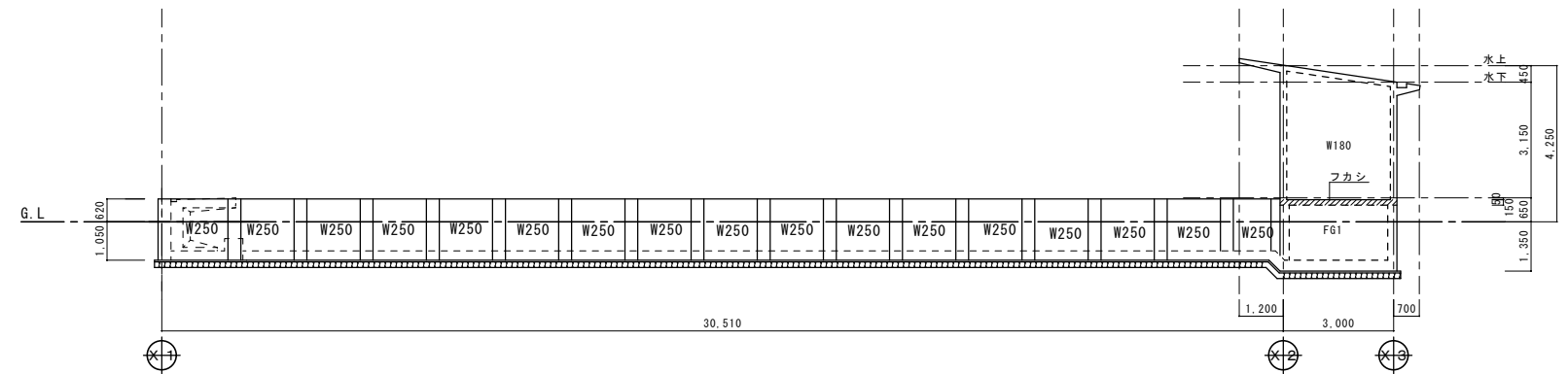
B 3 通り軸組図 1/100



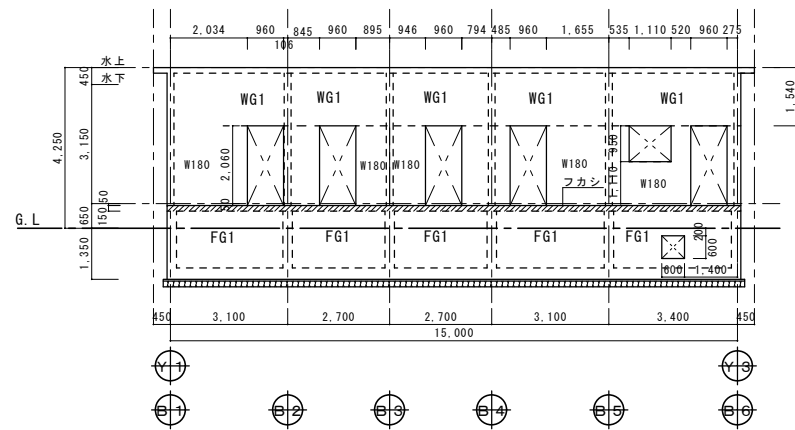
B 4 通り軸組図 1/100



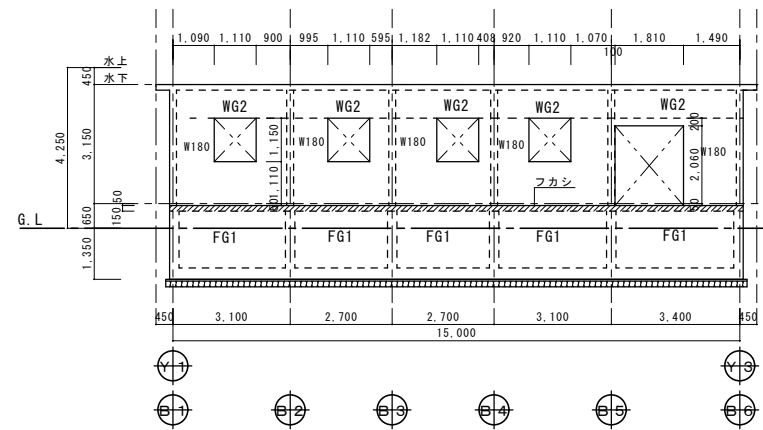
B 5 通り軸組図 1/100



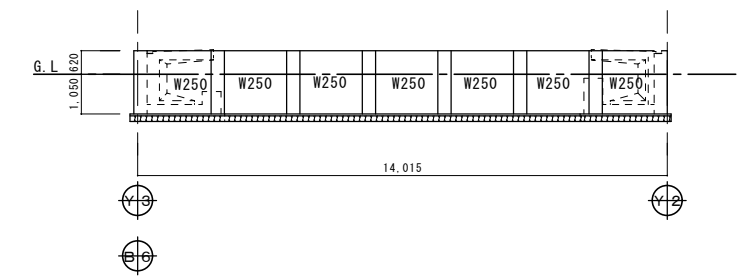
Y 3 (B 6) 通り軸組図 1/100



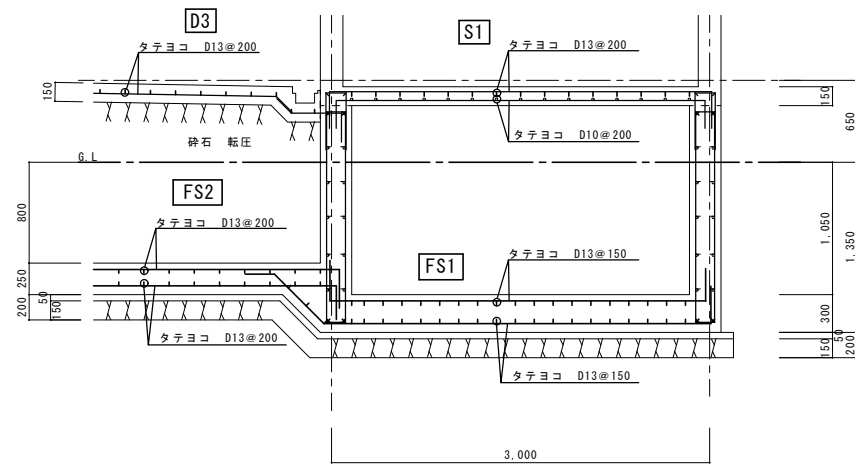
X 2 通り軸組図 1/100



X 3 通り軸組図 1/100

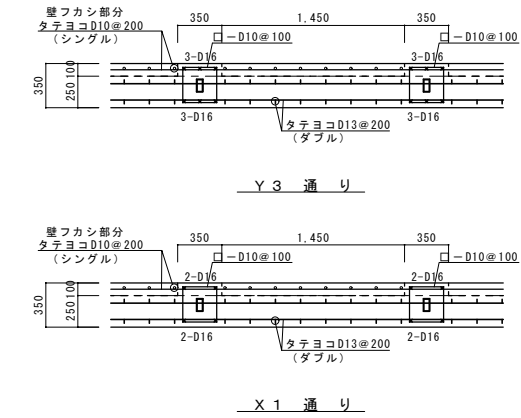
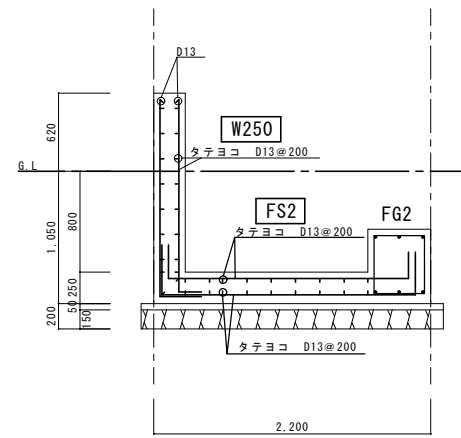


X 1 通り軸組図 1/100



基礎底盤・側壁 配筋図 1/30

※ 躯体寸法に躯体打ち放しフカシは含まない。(フカシ位置、厚さは意匠図参照)



Y3通り、X1通り W250 柱型・壁フカシ 配筋図 1/30

※ 躯体寸法に躯体打ち放しフカシは含まない。(フカシ位置、厚さは意匠図参照)

地中梁リスト 1/30

※ 躯体寸法に躯体打ち放しフカシは含まない。(フカシ位置、厚さは意匠図参照)

符 号	FG 1	FG 2	FG 3	FG 4	FG 5	B 1
位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断 面						
B x D	250 x 1800	450 x 540	500 x 940	450 x 390	450 x 290	300 x 500
上 端 筋	2-D16	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	2-D19
下 端 筋	2-D16	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19
スターラップ	D10@200	D13@200	D13@200	D13@200	D13@200	D10@200
腰 筋	10-D10	2-D10	4-D10			
巾 止 筋	D10@1000	D10@1000	D10@1000			

フカシ補強筋	
梁 幅	フカシ部分 主筋
600~700	4-D19
400~550	3-D16
300~350	2-D16
250	2-D13

壁 リ ス ト 1 / 3 0

符 号	W180	開口補強筋
断 面		
タテ筋	D10-@200 ダブル	
ヨコ筋	D10-@200 ダブル	
開口補強筋 タテ	2-D16	a
開口補強筋 ヨコ	2-D16	b
開口補強筋 斜メ	2-D16	c

※ 躯体寸法に躯体打ち放しフカシは含まない。(フカシ位置、厚さは意匠図参照)

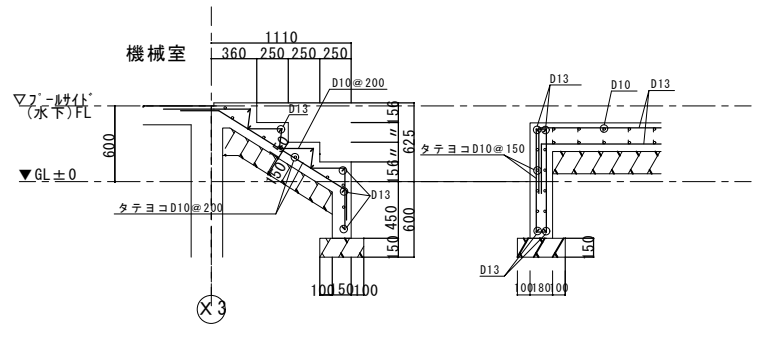
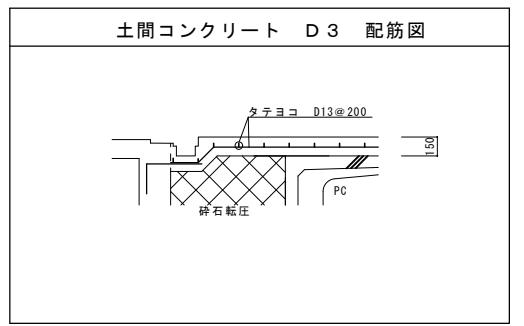
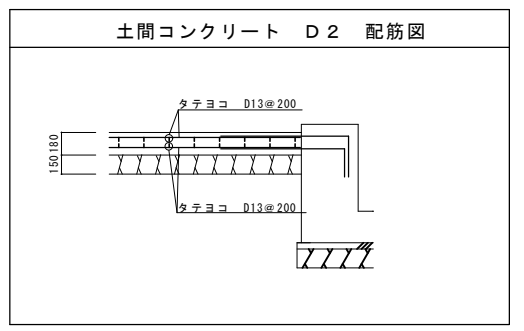
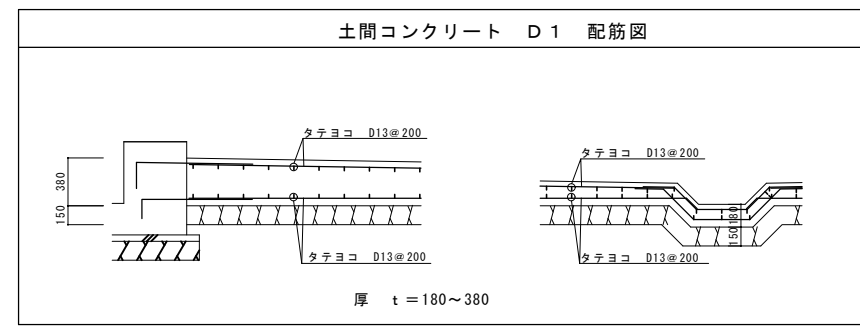
壁 梁 リ ス ト 1 / 3 0

符 号	WG1	WG2
位 置	全断面	全断面
R 階		
B x D	180 x 1540	180 x 890
上端筋	2-D16	2-D16
下端筋	2-D16	2-D16
スターラップ	D10@200	D10@200
腰筋	14-D10	8-D10
巾止筋	D10@1000	D10@1000

※ 躯体寸法に躯体打ち放しフカシは含まない。(フカシ位置、厚さは意匠図参照)

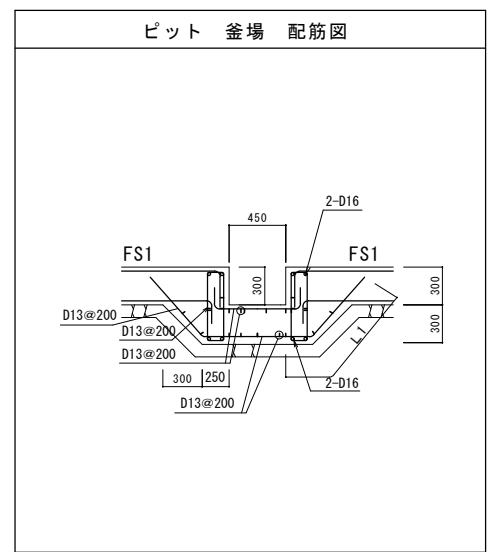
床 版 リ ス ト

符号	板厚	位置	短辺方向			長辺方向						
			端部(X1)	中央(X2)	端部(X3)	端部(Y1)	中央(Y2)	端部(Y3)				
			上筋	下筋	上筋	下筋	上筋	下筋	上筋	下筋		
S1	150		D13@200	D13@200	D13@200	D13@200	D13@200	D13@200	D13@200	D13@200	D13@200	D13@200
CS1	220~120		D13@200	D10@200	D13@200	D10@200	D13@200	D10@200	D13@200	D10@200	D13@200	D10@200
CS2	220~120		D13@200	D10@200	D13@200	D10@200	D13@200	D10@200	D13@200	D10@200	D13@200	D10@200
CS3	220~120		D13@200	D10@200	D13@200	D10@200	D13@200	D10@200	D13@200	D10@200	D13@200	D10@200

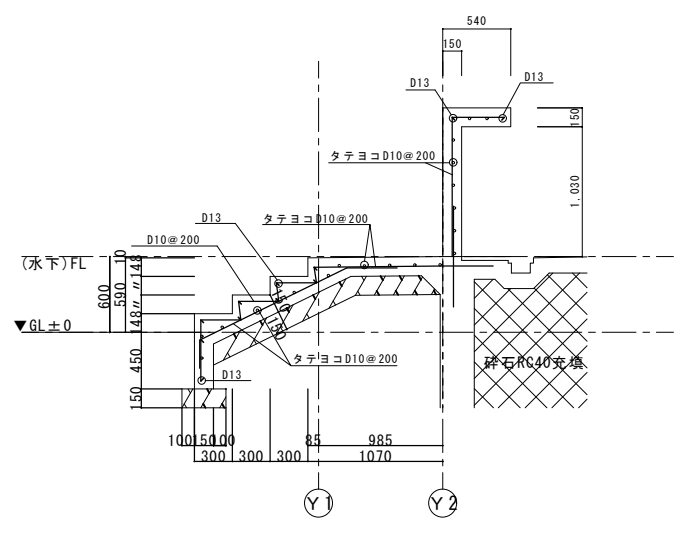
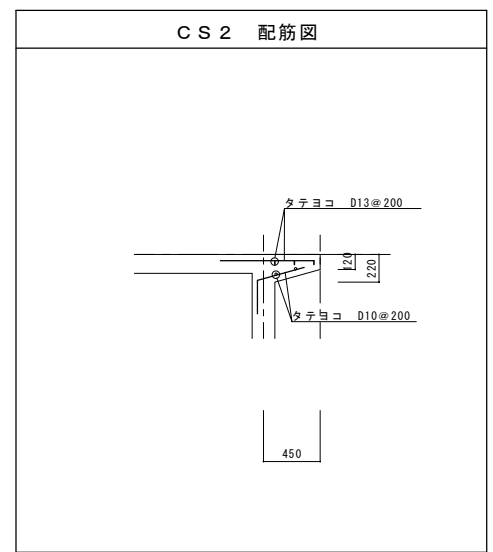
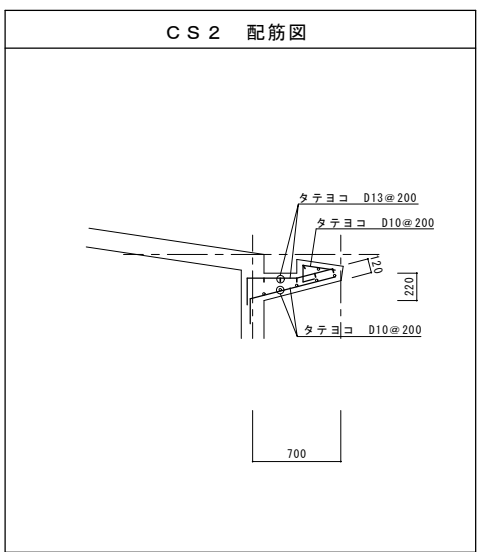
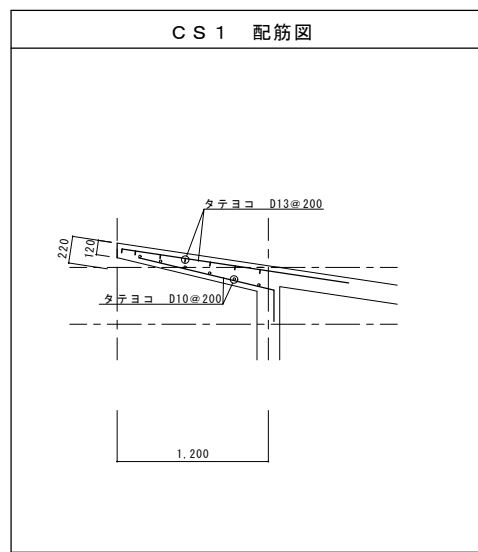


外部階段配筋図(機械室入り口) 1 / 3 0

※ 躯体寸法に躯体打ち放しフカシは含まない。(フカシ位置、厚さは意匠図参照)

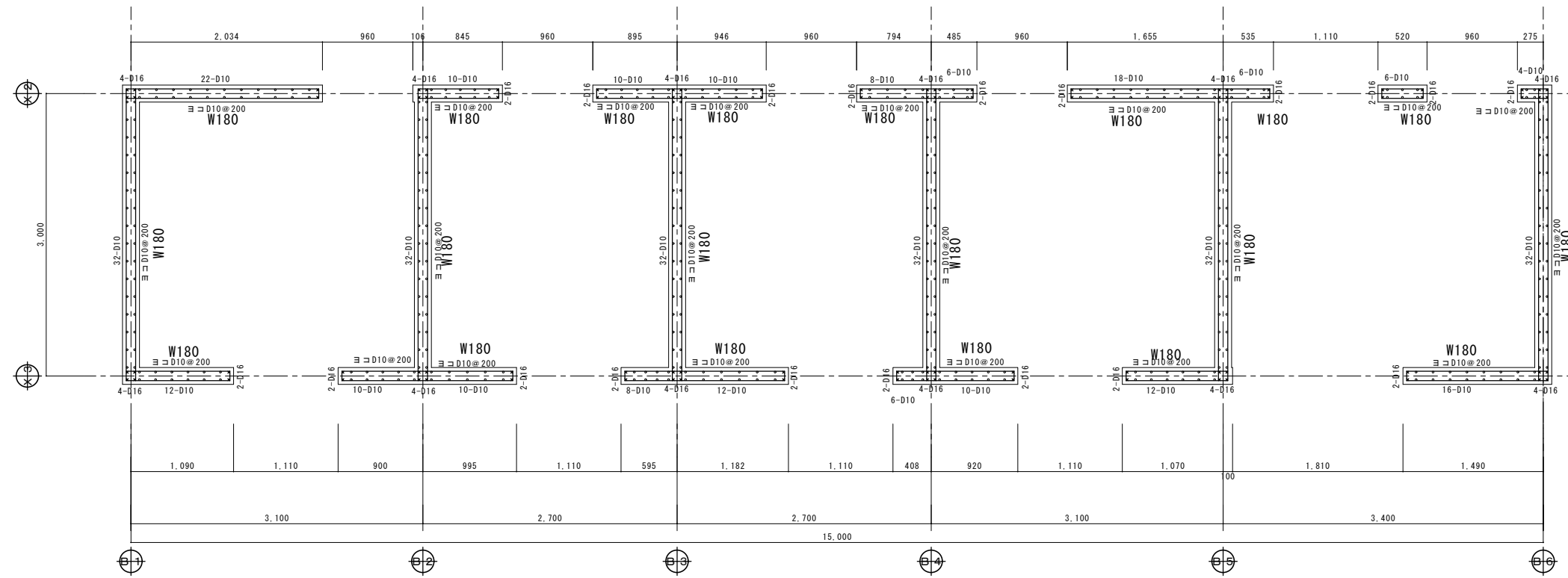


※ 躯体寸法に躯体打ち放しフカシは含まない。(フカシ位置、厚さは意匠図参照)



外部階段配筋図(プール入口) 1 / 3 0

※ 躯体寸法に躯体打ち放しフカシは含まない。(フカシ位置、厚さは意匠図参照)

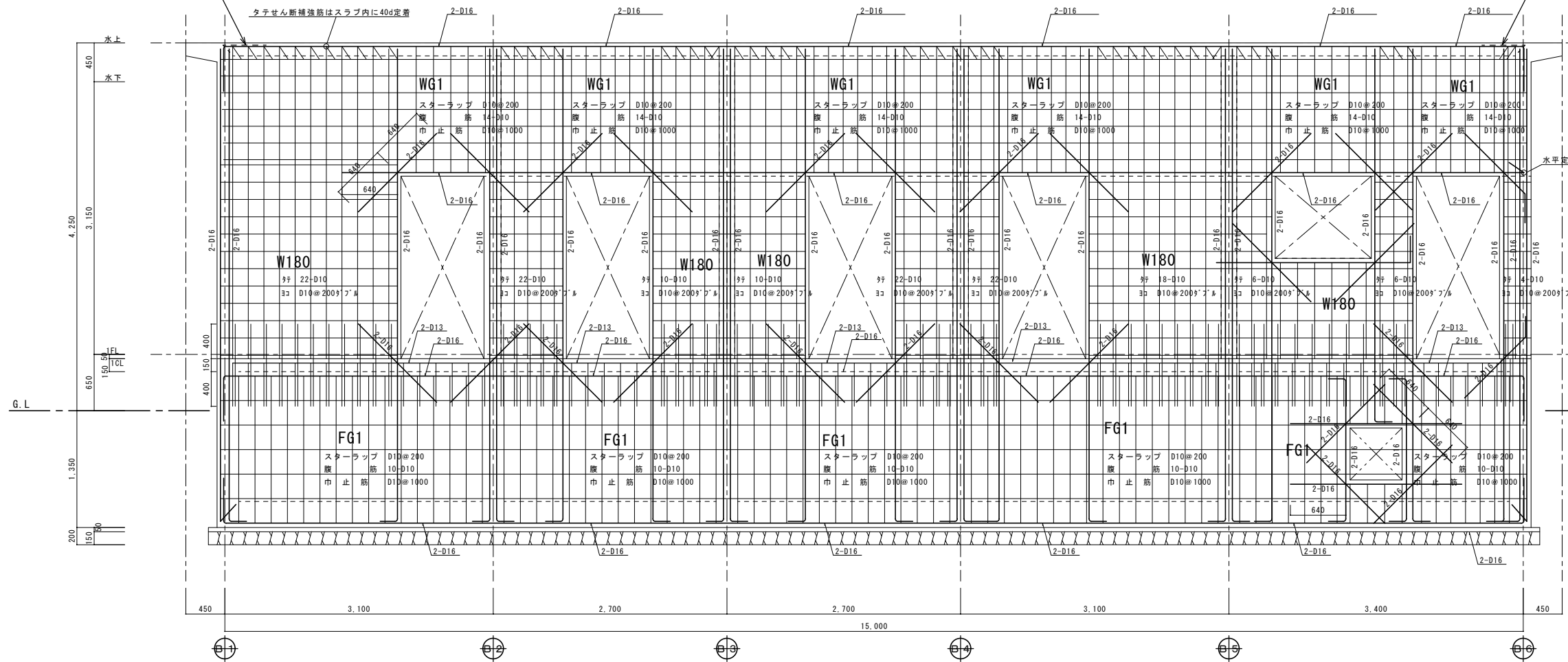


L字形水平鉄筋 D16 L=640×640

※ 壁体寸法に壁体打ち放しフカシは含まない。(フカシ位置、厚さは意匠図参照)

L字形水平鉄筋 D16 L=640×640

壁平面配筋詳細図 1/30



X2通り配筋詳細図 1/30

電 気 設 備 特 記 仕 様 書

工 事 名 称 鳥沢小学校屋外プール改築工事

工 事 場 所 大月市富浜町鳥沢 1 9 7 9 番地

建 物 概 要 R C造 平屋建て

工 事 項 目 1, 幹線動力設備 一式
2, 電灯コンセント設備 一式
3, 電話設備 一式
4, 拡声設備 一式

施 工 基 準 本工事は下記により完全に施工するものとする。

- 国土交通省大臣官房官庁営繕部「公共建築工事標準仕様書、標準図(電気設備工事編、最新版)」
- " 「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編、最新版)」
- 電気設備技術基準
- 内線規程 配電規程
- 建築基準法
- 消防法
- その他関係政省令
- 監理監督員（以下監督員という）の指示事項

- 一 般 事 項
- 1 本設備工事は、当該建築物に本事項および施工基準に従い電気設備の一式を施工するもので、技術的に完全に行うと共に各申請手続きも遅滞なく請負者が代行し、これらに要する費用は全て本工事に含むものとする。
 - 2 本設計図書は、工事の概要を示すものであるから施工者は、着工前に充分なる理解の上、速やかに実施工程表及び、施工図面、承諾図面等を提出し監督員の承諾を得るものとする。
 - 3 工事の進行状態に応じて疑義が生じた場合及び、細部不明の際は速やかに監督員と協議の上着手する。
 - 4 監督員と協議のもとに行う軽微な変更については請負金額の増減を行わないものとする。
 - 5 増額を必要とする事態が生じた時は、変更契約をすみやかに行き承諾を得た後に、施工すること。
 - 6 本工事に使用する製品、材料は別記指定製作者新品とし、監督員の承諾を受けたものとする。又、機器の制作に対しては、製作図を提出、承認を受けてから製作すること。
 - 7 機器の搬入に際しては、立会い検査及び試験を行い合格した後に搬入すること。ただし、軽易な機器についてはこの限りではない。
 - 8 各施工段階において、管理者・監督員の検査を受け、次の施工に進む事。また、必要に応じ試験・検査結果を報告すること。
 - 9 工事現場の安全衛生に関する監理は現場代理人が責任者となり、関連法令などに従ってこれを行う。ただし、別に責任者が定められた場合は、これに協力するものとする。
 - 10 図面に指示なくも技術上、構造上、及び美観上当然必要と認められるものは請負者負担において、良心的に行うものとする。
 - 11 その他細部については、監督員の指示による。

工 事 範 囲 設計図書、現場説明及び、工事契約書による。

提 出 書 類 着工時 1 工程表等関係書類一式 2 メーカーリスト 3 各種機器承諾図 4 施工詳細図
竣工時 1 完成図書一式 2 各種試験成績書 3 施工、竣工写真 4 竣工図面

- 特 記 事 項
- 原則として、特記なきスイッチの高さはFL+1200~1300、コンセントはFL+300とする。
 - 重量の大きい照明器具、天井扇等はスラブその他構造体より呼び径9mm以上のボルトなどで堅固に支持する。
 - 入線しない管路には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。
 - 天井内ケーブル配線は、2m以内ごとに支持材にて支持すること。
 - Fケーブル類の整線のための結束は5本以下とする事。
 - 配線器具は、JIS大形連用とし、プレートは新金属製とする。
 - スwitchは、全てネーム（印刷文字）付とする。
 - 各種カバープレートには、その用途を表示すること。
 - 各分電盤には、図面ホルダーを設け結線図等を収納すること。
 - 屋外に使用するプルボックス、支持金物及びビス類はステンレス製を使用すること。
 - 合成樹脂可とう管は、屈折及び交差を極力少なくし、1メートル以下の間隔で支持を行うこと。
 - 合成樹脂可とう管の鉄筋等による圧力を受ける恐れのある部分には養生カバーを取り付けること。
 - メーカー建材・製品・電気及び機械設備機器類の施工については、営繕協会工事共通仕様書等によるほか、メーカー仕様書に基づき責任施工とし、メーカー立合いのもと施工状況を確認し、完成届けを管理者に提出する事。完成届け受理後、管理者は検査を行うが、メーカー建材・製品・設備機器類、施工の瑕疵については、管理者は責任を負わない事とする。

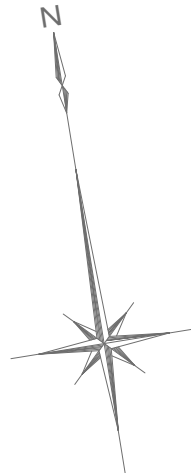
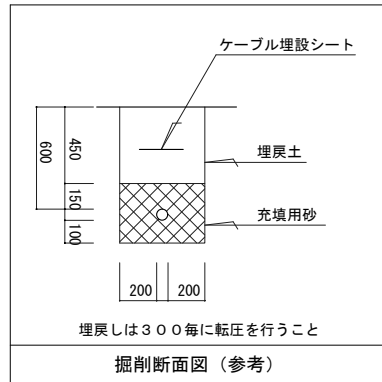
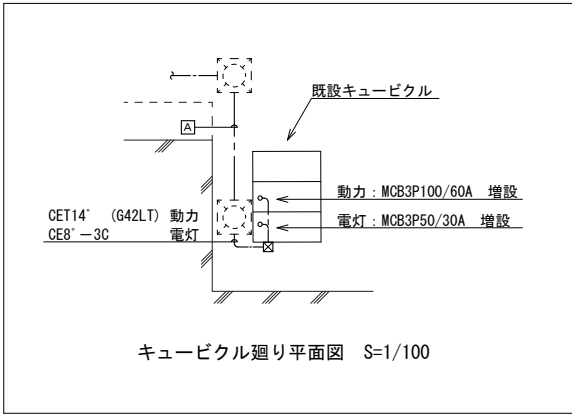
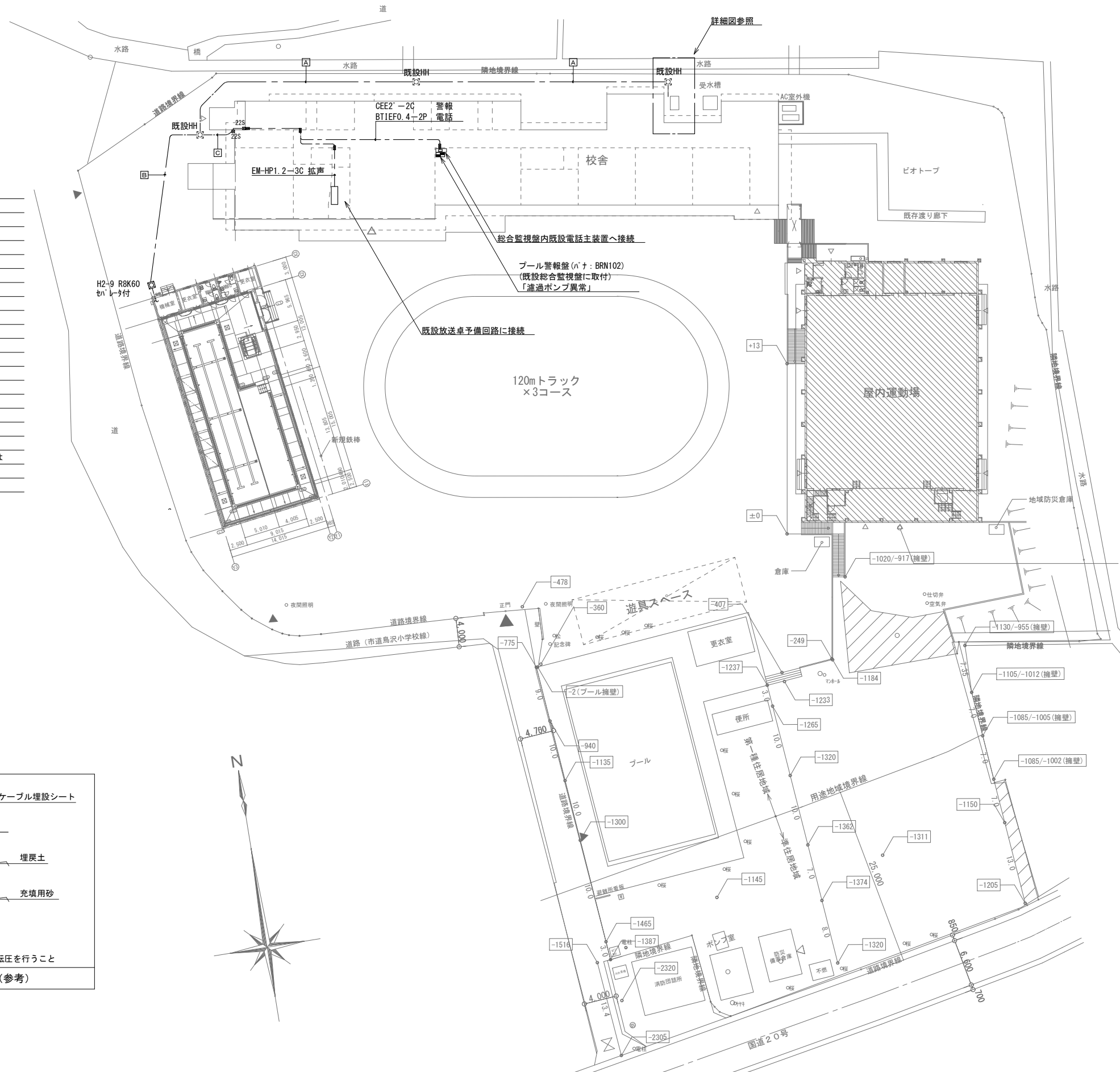
凡 例 図中特記なきシンボル等はJIS-C-0303-00に準拠。（細目は、平面図等による。）

メーカーリスト

機 材 名 称	製 造 業 者 名				
電線管・付属品	JIS規格品及びJISマーク表示品				
電線・ケーブル類	JIS規格品又はJCSAマーク表示品				
分電盤類	日 東	パナソニック	内 外	河 村	
照明器具	パナソニック	三 菱	東 芝		
配線器具	パナソニック	東 芝	寺 田	神 保	
拡声設備	TOA	パナソニック	JVC		
電話器	NTT				

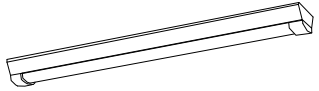
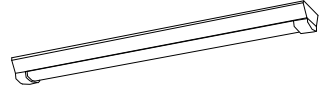
(上記以外は監督員の承諾を得ること)

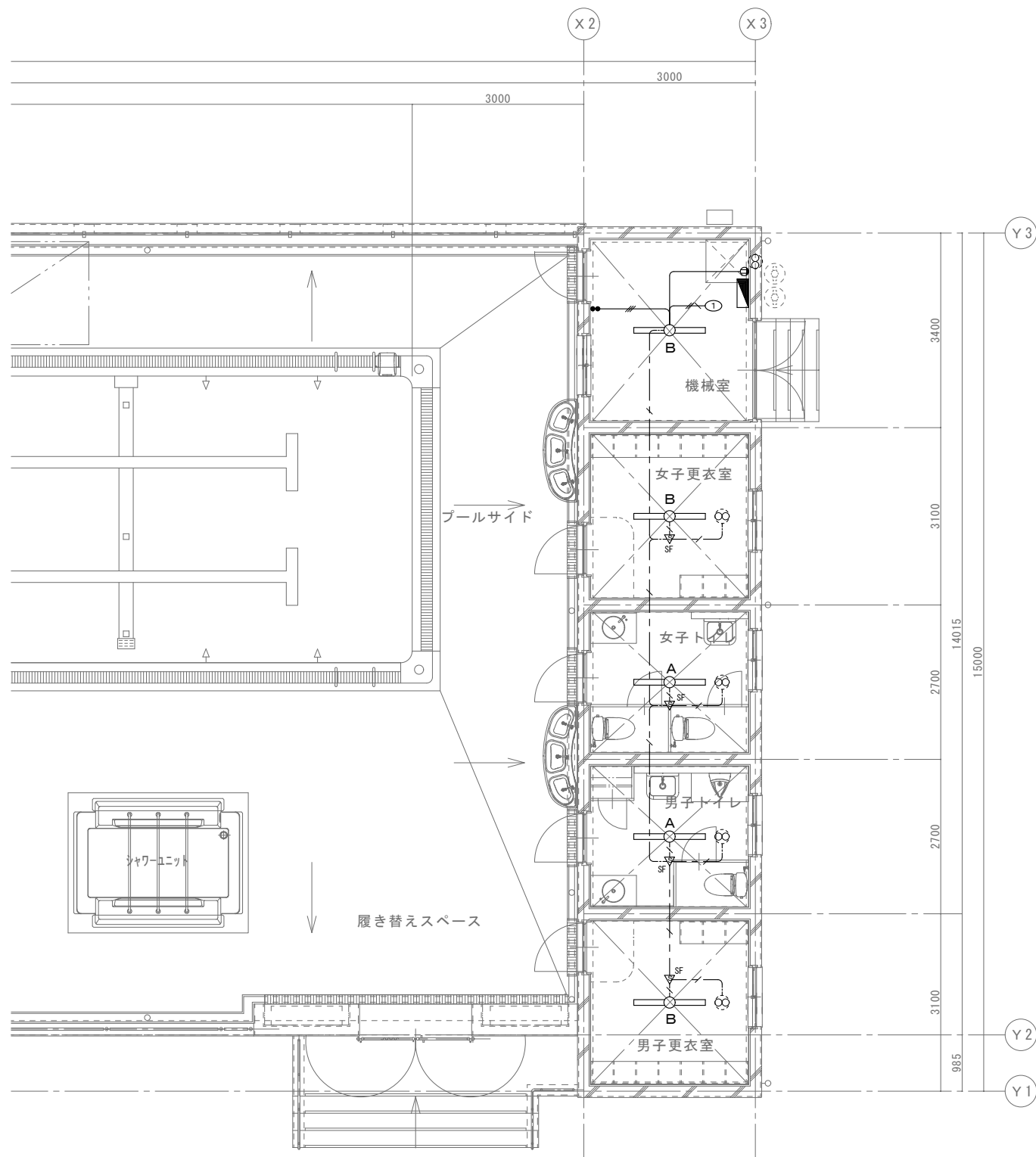
※ 凡 例	
[A]	CET14' (FEP50) 動力 CE8'-3C (FEP50) 電灯
[B]	CET14' (FEP50) 動力 CE8'-3C (FEP50) 電灯 CEE 2' -2C (FEP50) 警報 BT1EF0.4-2P (FEP30) 電話 EM-AE1.2-3C (FEP30) 拡声
[C]	CEE 2' -2C (G28LT) 警報 BT1EF0.4-2P (G28LT) 電話 EM-AE1.2-3C (G28LT) 拡声
■22S	PB200×200×200 SUS-WP
■	コンクリート壁穴明け(天井内)
校舎内配線は天井内ケーブル配線とし壁露出部分は メタルモールで保護すること。	



回路 No.	分岐開閉器		R-Ry	負荷名称	負荷容量	単位装置	備考
	MICB	AFA					
3φ3W200V	3P	100.60		ろ過機制御盤	4.1	KW	
1φ3W100/200V	① 2P	30.20		電灯			
	② 2P	30.20		コンセント			
	③ 2P	30.20		コンセント			
	④ 2P	30.20		予備			
	⑤ 2P	30.20		予備			
	⑥ 2P	30.20		予備			

電灯動力盤
鋼板製露出形標準色

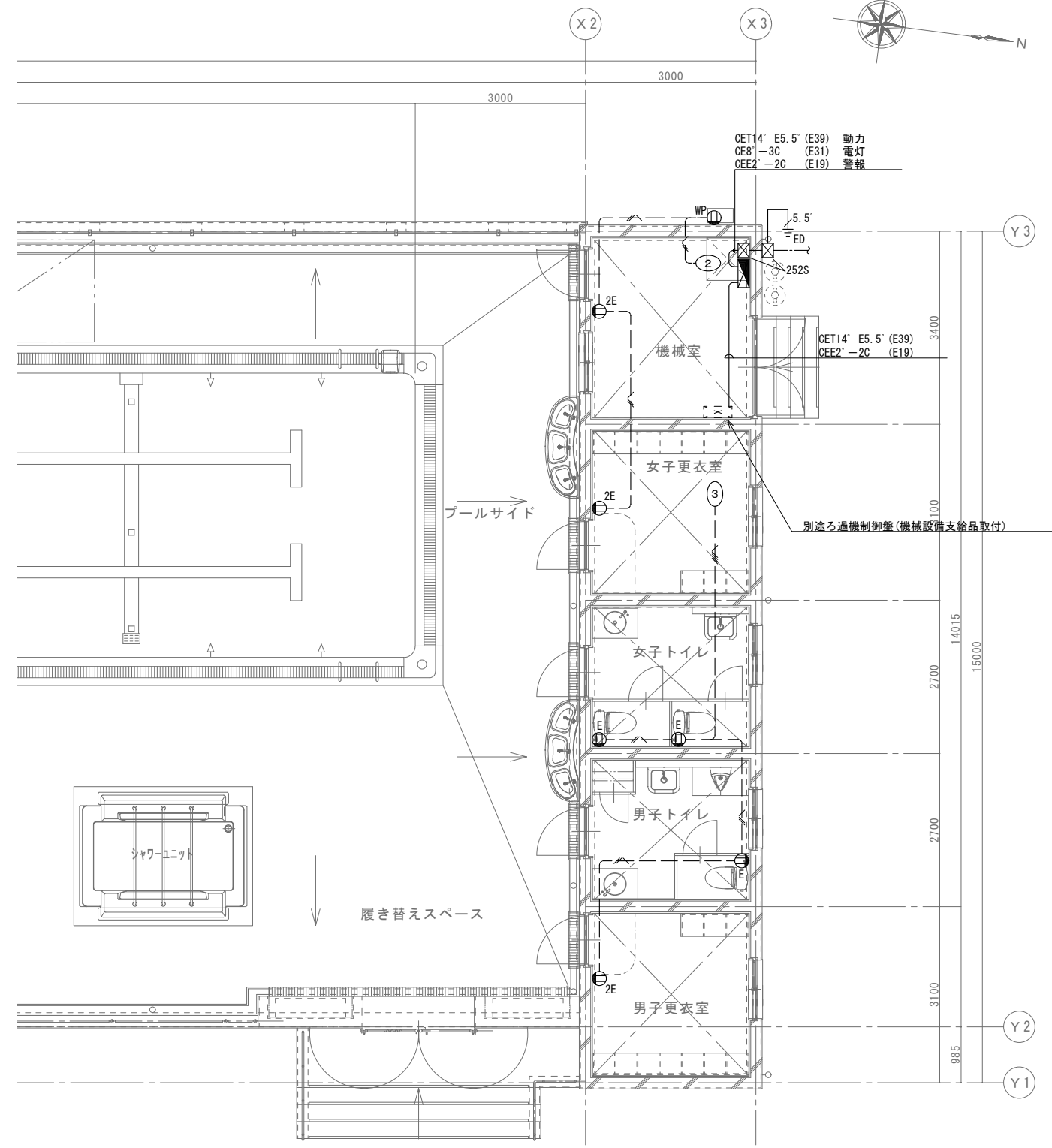
A	LED20.6W 直付形40形 W150
	3200lm 5000K 防湿型・防雨型
ハナニカ 直付XLW433AENZLE9 相当品	
	
本体：ステンレス（高反射白色粉体塗装） 防湿型・防雨型ライトバー：ポリカーボネート（乳白）	
B	LED43.1W 直付形40形 W150
	6900lm 5000K 防湿型・防雨型
ハナニカ 直付XLW463AENZLE9 相当品	
	
本体：ステンレス（高反射白色粉体塗装） 防湿型・防雨型ライトバー：ポリカーボネート（乳白）	



電灯設備平面図 S=1:50

※ 記入なき配管配線は下記とする	
—	EEF 1.6-2C
— / —	EEF 1.6-3C 1芯接地線
—	1E 1.6×2 (PF16)
— / —	1E 1.6×2 E1.6 (PF16)
— / /	1E 1.6×3 (PF16)
— / / /	1E 2.0×2 E2.0 (PF16)

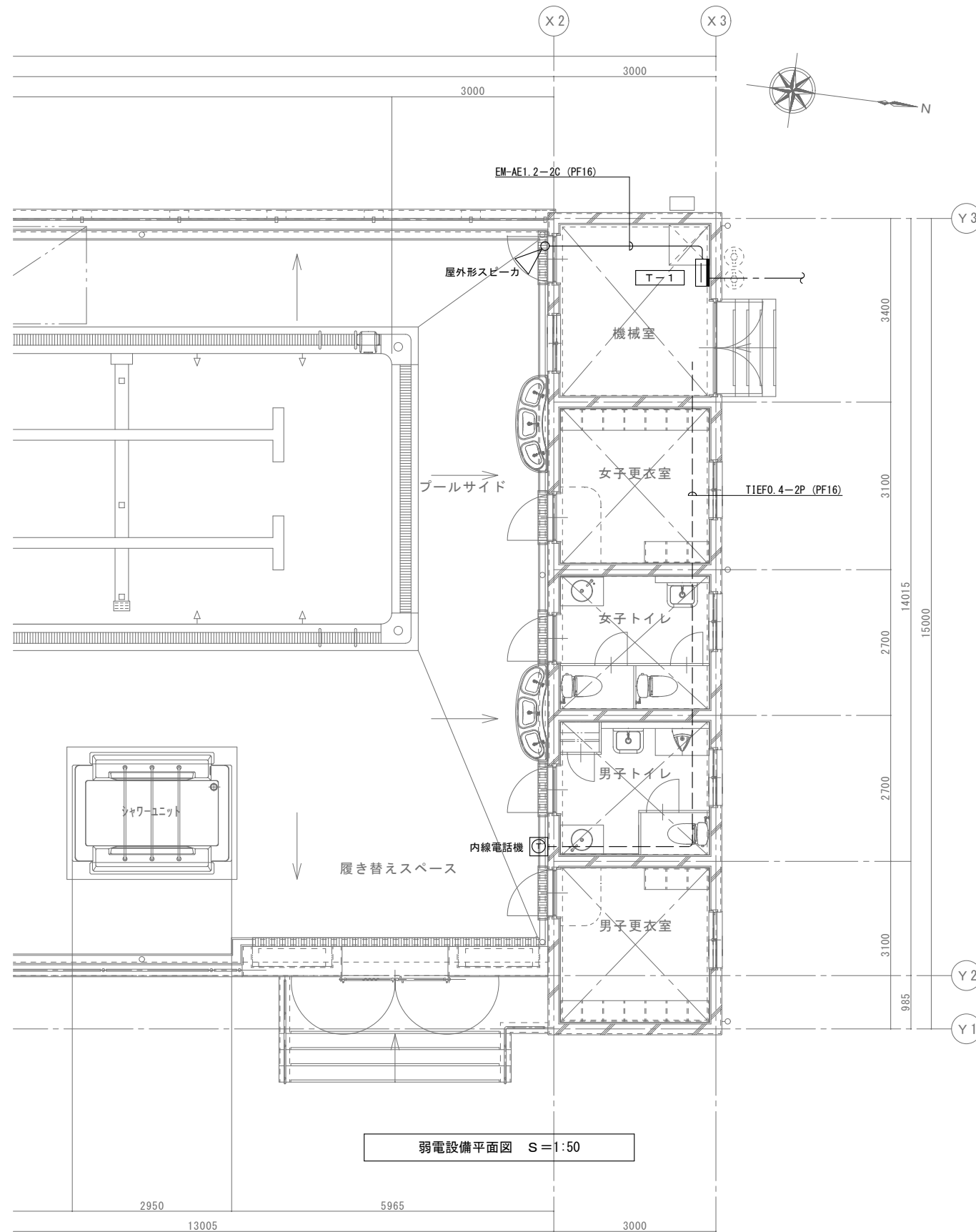
※ 凡 例	
▽SF	人感センサー親器 換気扇連動用 WTK2604



コンセント設備平面図 S=1:50

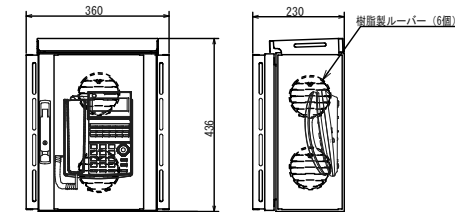
※ 記入なき配管配線は下記とする	
—	1E 2.0×2 (PF16)
— / —	1E 2.0×2 E2.0 (PF16)
— / /	1E 2.0×4 E2.0 (PF22)

※ 凡 例	
⊙2	埋込コンセント 2P15A × 2
⊙E	埋込コンセント 2P15A × 1ET
⊙2E	埋込コンセント 2P15A × 2ET
⊙WP	防水コンセント 2P15A × 2ET
⊠252S	PB: 250×250×200 SUS-WP



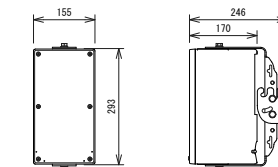
弱電設備平面図 S=1:50

㊦ 一般型電話機 (収納箱付)



外線ボタン	18キー
機能	LCDバックライト、ハンズフリー通話機能付
その他	露出形モジュラージャック付、壁掛金具付属
収納箱	屋外型、鋼板製 (日東: RA20-34LDBC)
塗装色	クリーム(2.5Y9/1)
保護等級	IP44

㊧ 屋外対応型ボックススピーカー WS-BW120



型式	フルレンジ密閉形
定格入力	20W (500Ω)、10W (1kΩ)
	5W (2kΩ)
出力音圧レベル	94dB (1W/1m)
周波数特性	150Hz~15kHz (-10dB)
仕上げ	エンクロージャー: PP樹脂
取付金具	ステンレス
保護等級	IPX4 (JIS C 0920)

※凡例

T-1	弱電端子盤	鋼板製露出形標準色
		10P

特 記 仕 様 書

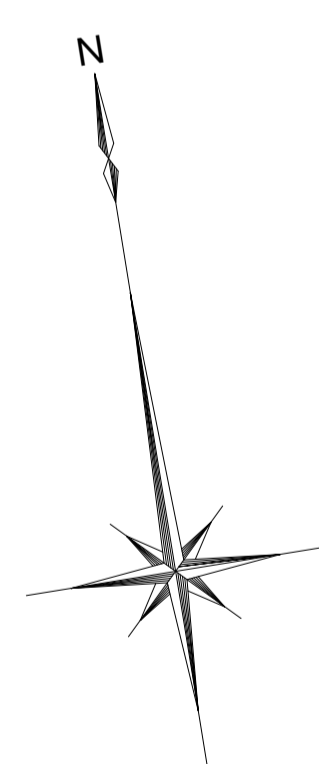
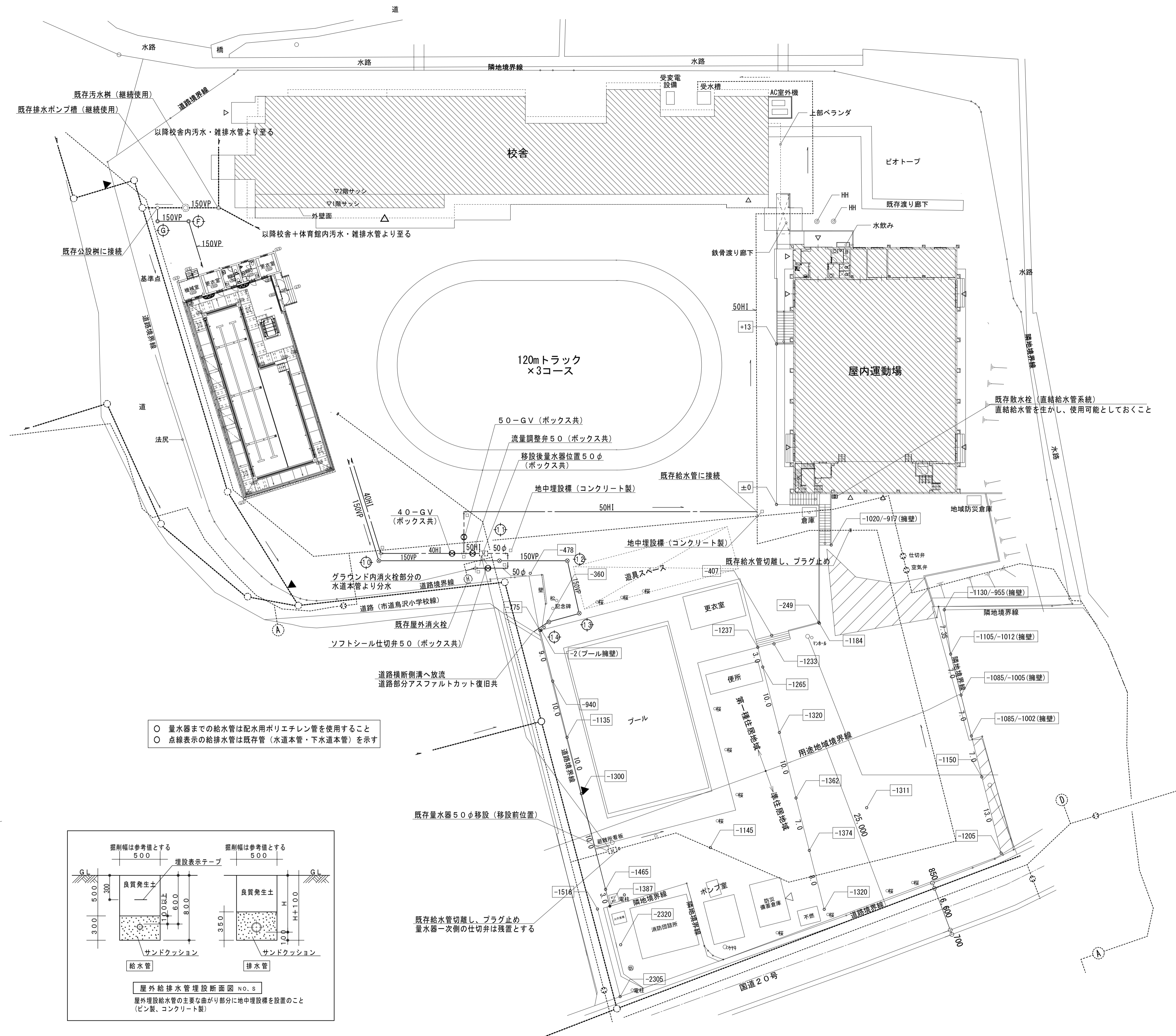
工 事 名 称	鳥沢小学校屋外プール改築工事（機械設備工事）	凡 例	給 水 管	—— - —HI	耐衝撃性硬質塩ビ管 J I S - K - 6 7 4 2 (H I V P)	屋外及びプールサイド地中部分
工 事 場 所	大月市富浜町鳥沢 1 9 7 9 番地		給 水 管	—— - —SU	ステンレス鋼管 J I S - G - 3 4 4 8 拡管式	S U S 3 0 4 地中以外の部分
工 事 範 囲	設計図書・現説・工事契約書に依る。		排 水 管	————VP	硬質塩化ビニール管 J I S - K - 6 7 4 1 (V P)	
建 物 概 要	鉄筋コンクリート造平屋建 管理棟 延床面積 45.0㎡		通 気 管	-----VE-	硬質塩化ビニール管 J I S - K - 6 7 4 1 (V P)	
			給 湯 管	—— —SU	ステンレス鋼管 J I S - G - 3 4 4 8 拡管式	S U S 3 0 4
一 般 事 項	<p>1. 本工事は、本設計図、特記仕様書、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）平成31年版同標準図、機械設備工事監理指針（平成31年版）に基づき、諸官庁関係法規に準拠して施工する。</p> <p>2. 本工事に於て、図面・本仕様書に疑義が生じた場合、及びそれに明記なきものでも技術上当然必要なもの、並びに軽微な変更は監督員と協議の上誠実に施工するものとする。 但し、費用は請負人の負担とする。</p> <p>3. 本設計図は、工事概要を示すものであるから、請負人は充分なる理解の上、工事着手前に工程表・機器承認図等を提出し、監督員の承認を得る事。</p> <p>4. 本工事請負人は建築工事工程表入手後、速やかに設備工事工程表を作成提出し、関連工事の進捗に支障なき様努め、監督員の要請を受けたる場合は、詳細工程表、逆算工程表を遅滞なく提出すること。</p> <p>5. 本工事に於いて、不良資材、施工不良等に起因する機能不全を生じたる場合は、再度その責任に於いて資材の取り替え、修理等を無償で行うこと。</p> <p>6. 工事完成時には、機器取り扱い説明書・保証書・各申請書類・試験表・竣工図・工程写真・完成写真等を提出すること。</p> <p>尚、内容・部数等詳細については、監督員の指示に従うこと。</p>		ガ ス 管	—— G —A	配管用炭素鋼管 J I S - G - 3 4 5 2 (白)	
			採 水 管	—— X —A	配管用炭素鋼管 J I S - G - 3 4 5 2 (白)	
			ろ 過 管	—— RS —HI RR	耐衝撃性硬質塩ビ管 J I S - K - 6 7 4 2 (H I V P)	
			円形ダクト		亜鉛鉄板製（スパイラルダクト） 板厚 450 以下-0.5mm, 500 ~ 700 - 0.6mm	
			雨 水 樹	⊗	市販塩ビ樹 雨水専用型 詳細図参照	
			汚水、雑排水樹	◎	市販塩ビインバート樹 詳細図参照	
		工 事 区 分	建築工事	雨水立樋 シャワーユニット（シャワーヘッド共） 洗眼水飲みユニット（水栓共）		
				プール吐水口金物 プール排水兼循環金具 ろ過機基礎工事		
			電気工事	設備機器電源供給工事 換気扇用スイッチ及び配線工事		
			その他	L P G ボンベ及びメータ（貸与品）		
優 先 順 位	<p>1. 諸官庁の法令・規則・施工令等 2. 現場説明書 3. 特記仕様書 4. 設計図</p> <p>5. 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修『公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）平成31年版』</p>					
工 事 項 目	<p>1. 衛生器具 設備工事 5. ガ ス 設備工事</p> <p>2. 給 水 設備工事 6. ろ 過 設備工事</p> <p>3. 排水通気 設備工事 7. 換 気 設備工事</p> <p>4. 給 湯 設備工事</p>					
特 記 事 項	<p>給水管埋設深さ 別紙埋設断面図参照</p> <p>屋外埋設給水管の主要な曲がり部分には、埋設表示柱を設置する。（舗装部分～鉄ピン製、未舗装部分～コンクリート製）</p> <p>バルブ仕様 給水管用～ゲート弁（J I S 1 0 k 品）又は水道局指定品</p> <p>不凍栓はMT型400Lを使用し、浸透効果を高めるため排水ブロック（250型）を設置すること。</p> <p>土間下埋設配管は沈下防止のため、それぞれの管種に応じ天井配管と同ピッチで土間配筋より吊ること。</p> <p>衛生陶器の色は標準色同価格品とし、係員と協議の上決定する。</p> <p>給水工事は管轄水道局規定に準拠して施工のこと。</p> <p>各種メカ-特有の建材及び機器の設置については、本特記仕様書による他、各メカ-仕様に基づき施工のこと。</p> <p>機械設備工事に必要な各種申請手続きは、全て本工事にて行うこと。</p> <p>ピット内より地中貫通部分のスリーブはツバ付鋼管を使用すること。他の部分はボイド管又は塩ビ管とする（補強筋は建築工事）</p>					
保 温 塗 装 防 食 仕 様	<p>保温、塗装、防食仕様は、標準仕様書平成31年版に準じて施工のこと。（内壁部分の給水給湯管も20mm保温厚とする）</p> <p>給水、給湯管の保温材はグラスウールを使用すること。</p> <p>外壁面より1mまでの排気ダクト及び全ての給気ダクトは防露施工のこと。（防露仕様は標準仕様書参照）</p>					

主 要 機 器 表

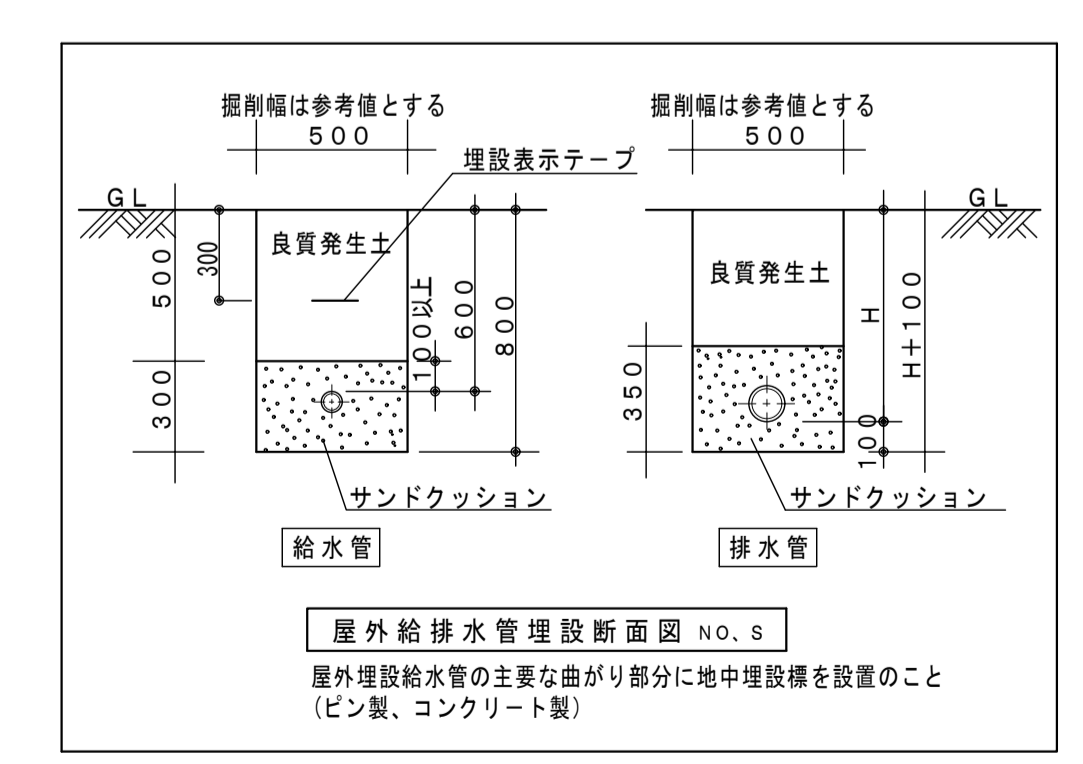
記号	名称	仕 様			電 源			設 置 場 所	数	記号	名称	仕 様			電 源			設 置 場 所	数		
					相	電圧	容量(参考値)								相	電圧	容量(参考値)				
BO-1	給湯器	形式	屋外壁掛型	ガス焚(LPG用)	高効率(潜熱回収)	1	100	160w	屋外壁面	1	EF-1	換気扇	形式	天井埋込型	プラスチックボディ	プラスチックグリル	1	100	44w	男子・女子便所	2
		能力	給湯能力32号	比例制御																	
		付属品	専用リモコン及びコード(25m)	配管カバー(600H)																	
		その他	凍結防止ヒーター内蔵																		
LP-1	LPG集合装置	形式	50kgポンベ	1+1=2本立				屋外壁面	1	EF-2	換気扇	形式	天井埋込型	プラスチックボディ	プラスチックグリル	1	100	20w	男子・女子更衣室	2	
		付属品	自動切替付調整器	高圧ホース他一式																	
		その他	ポンベ、ガスメーター~貸与品																		
		形式								EF-3	換気扇	形式	パイプファン	電気式シャッター付	格子グリルタイプ	1	100	5.9w	機械室	1	
		能力																			
		参考品番																			

衛 生 器 具 表

器具名	仕 様	室 名				
		合 計	男子便所	女子便所	機械室	プールサイド
	TOTO					
	LIXIL					
洋風便器	CFS494NNNS TC301 TES46MR THE27 YH702	C-P25S OKC-AT7114A CF-49AT OKC-8SM CF-60HST	3	1	2	
小便器	UFH500 TG600PN	U-406RU UF-3JT	1	1		
はめ込洗面器	L530 TLC11AR T7SW1 T6BR	L-2291/BW1 LF-503 LF-4SAL	2	1	1	
同上カウンター	ML50(L=800) ボウル1個用 ブラケット共	MB-500MS(L=800) ボウル1個用 ブラケット共	2	1	1	
掃除用流し	SK22A T23AE20C T37SGEP TK22	S-202A LF-7KE-19 SF-20SAF-P	2	1	1	
化粧鏡	YM3545F	KF-3545A	2	1	1	
中形サーモ	TM440BX20	BF-20TM-25B	1			1
横水栓	T200SUN13	LF-7R-13-U	1			1
散水栓	T28UNH13 ステンレス製ボックス共(B3-SG)	LF-33-13-CV	2			2



- 量水器までの給水管は配水用ポリエチレン管を使用すること
- 点線表示の給排水管は既存管（水道本管・下水道本管）を示す

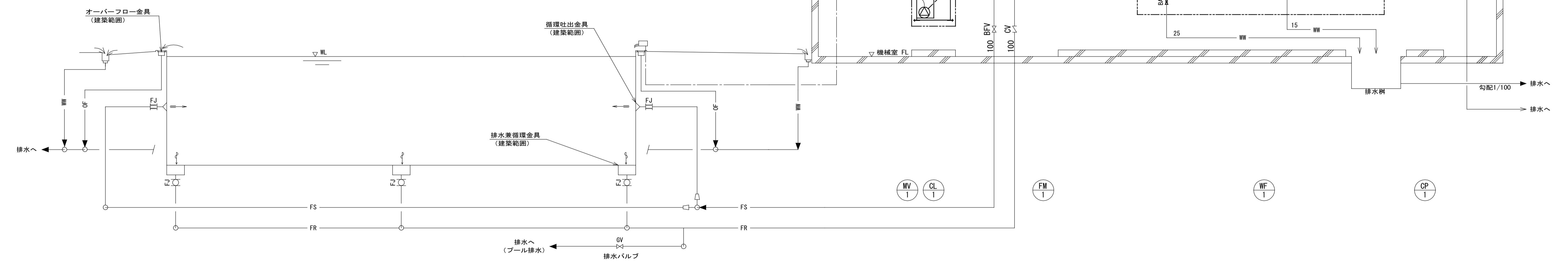
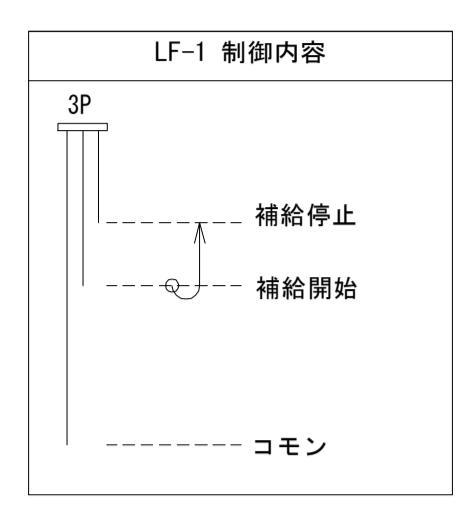


系統図

凡例

記号	名称	記号	名称	記号	名称	材質
△	仕切弁	△	ポンプ	— FS	ろ過配管 (往)	HIVP
▽	バタフライ弁	Ⓜ	モーター	— FR	ろ過配管 (還)	HIVP
⊗	ボール弁	Ⓟ	圧力計	— FW	洗浄配管	HIVP
▽	逆止弁	Ⓟ	圧力スイッチ	— OF	オーバーフロー配管	VP
⊗	エア作動弁 (操作動)	Ⓐ	自動エア抜き弁	— CLS	滅菌剤注入配管	PVCホース
⊗	電動弁	Ⓣ	流量計	—	給水配管	SUS
⊗	FJ 防振継手	Ⓜ	量水器	— WW	排水配管	VP
⊗	FJ 可とう継手			---	電気配線	HIVE
⊗	透明管					

※1) 滅菌剤注入配管に使用する弁類は全てPVCとする。
 ※2) 図中 [] 内の機器はろ過装置工事範囲とする。

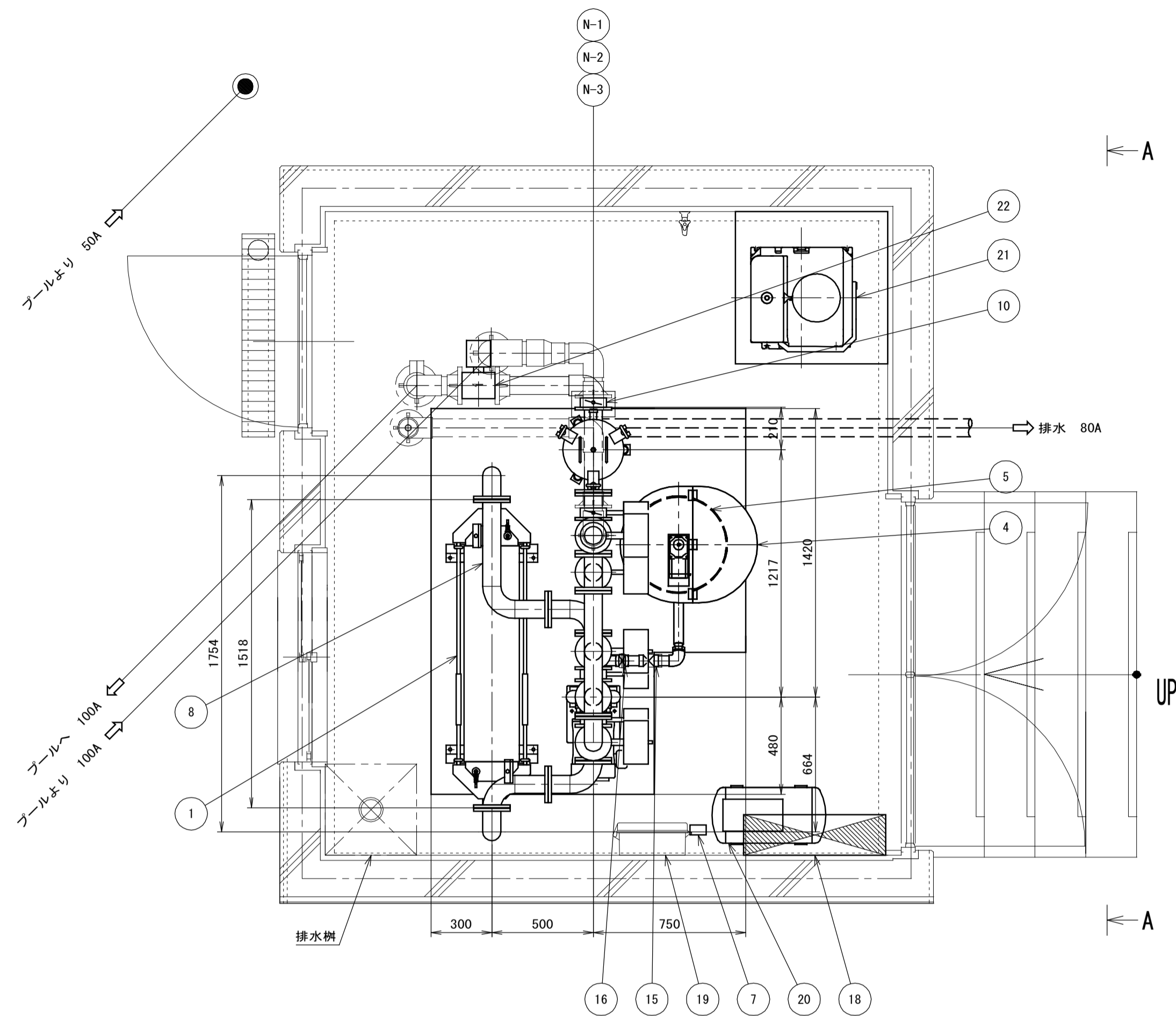


機器表

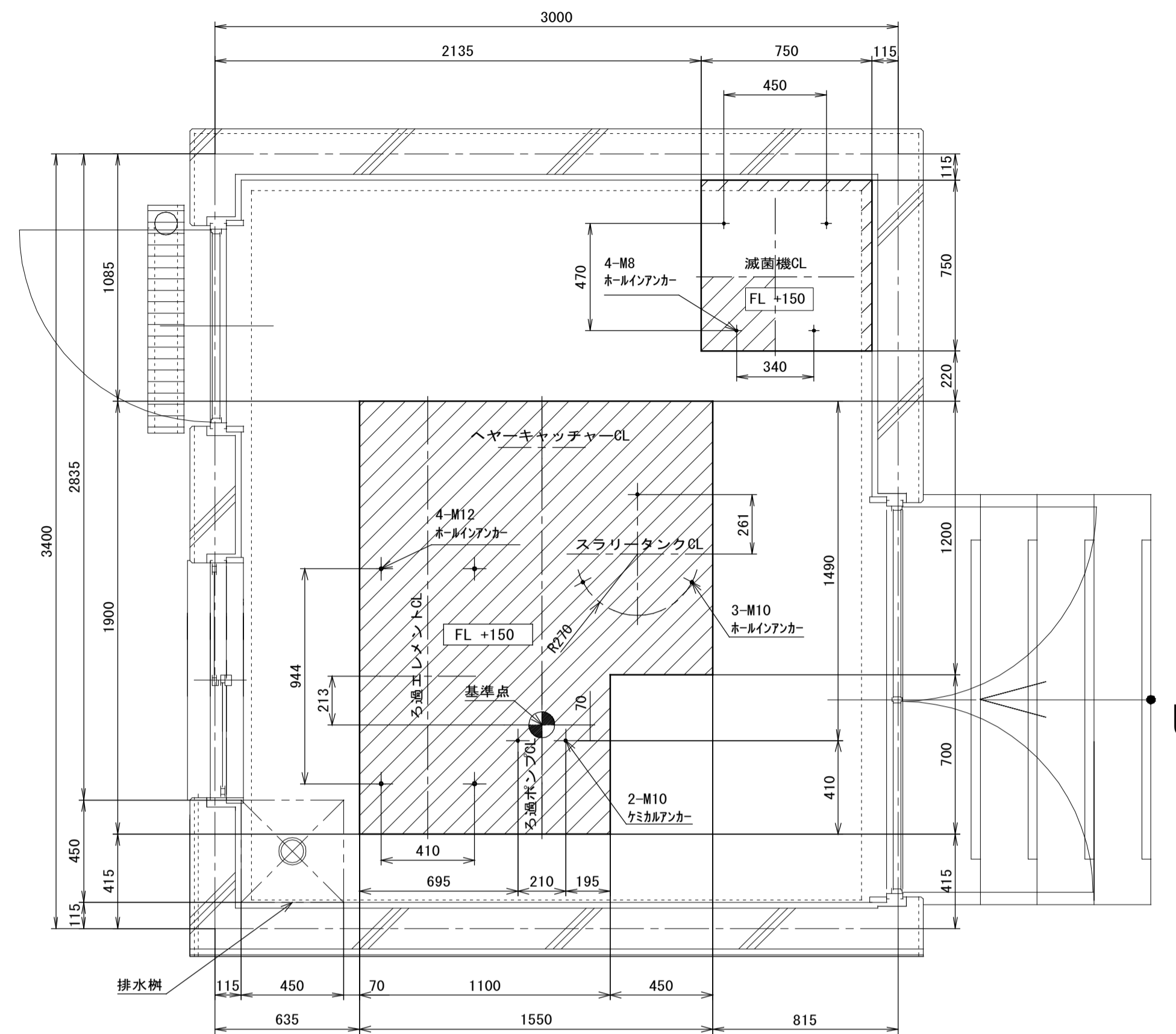
装置No.	装置名称	ろ過設備					備考		
		機器名称	機器仕様	相 (φ)	電圧 (V)	動力 (kW)		起動	台数
WF-1	循環ろ過装置 ろ過能力: 42 m3/h 機器質量: 550 kg 運転質量: 1,000 kg	ろ過機本体	全自動可逆式珪藻土ろ過装置 材質: ろ過エレメント=PP、エレメントヘッダー=ステンレス ろ布=テトロン、機内配管=SGP/溶融亜鉛メッキ 口径: 機内配管=80A 付属品: エア作動バルブ、透明管	-	-	-	-	1	PA40-204ATB同等品
		ろ過ポンプ	片吸込渦巻ポンプ 能力: 700L/min x 17mH 材質: ケーシング=FC200、羽根車=CAC406 電動機: 全閉外扇型 付属品: 圧力スイッチ	3	200	3.7	直	1	
		ヘヤーキャッチャー	材質: 接液部=SS/溶融亜鉛メッキ 寸法: φ260 x H550 接続口径: 80A	-	-	-	-	1	
		スラリータンク	材質: PE 寸法: φ480 x H440 付属品: 水位計 (4P)	-	-	-	-	1	
		助剤フィーダー槽	材質: PE 付属品: ギヤモーター	3	200	90W	直	1	
		コンプレッサー	圧力開閉器式 能力: 20L/min x 0.8MPa	3	200	0.2	直	1	
		電磁弁ボックス	材質: 樹脂製 内蔵品: 電磁弁、減圧弁 付属品: 圧力スイッチ	-	-	-	-	1	

装置No.	装置名称	ろ過設備					備考		
		機器名称	機器仕様	相 (φ)	電圧 (V)	動力 (kW)		起動	台数
CP-1	ろ過装置操作盤	操作盤	屋内壁掛型 材質: 鋼板製 出力信号: 一括異常 制御: 循環ろ過装置運転、補給水制御、残留塩素制御	-	-	-	-	1	
CL-1	滅菌機	滅菌剤注入ポンプ	電磁駆動定量ポンプ (自動エア抜き機構付) 能力: 90mL/min x 0.7MPa 付属品: 導入管付バルブ、PVCホース	単	200	18W	直	1	
		滅菌剤タンク	有効容量: 120L 材質: PE	-	-	-	-	1	
FM-1	流量計	積算流量計	口径: 80A 電源: 電池式	-	-	-	-	1	

- <特記仕様>
- JPAA機器規格基準の適合品であり、日本水泳連盟の推薦品であること。
 - ろ過精度は、厚生労働省のプール衛生基準に準拠し、ろ過装置出口の濁度が0.5以下であること。
 - ろ過槽は耐食性を考慮し、ステンレスまたは樹脂製にすること。
 - ろ過槽内を衛生的に保つため、1日1回の洗浄を行うこと。
 - ろ過装置の洗浄は、ろ過ポンプの流速によるものとし、シャワー等による洗浄は不可とすること。
 - 珪藻土自動供給機は、プリコート10分以上の珪藻土が貯留できること。
 - ろ過装置の操作弁は、停電時に「閉」にするため、エア作動式とすること。



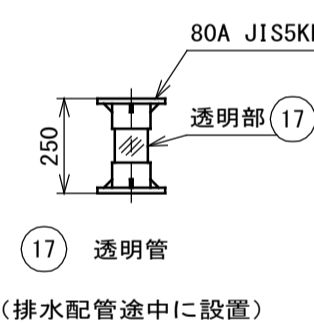
平面図



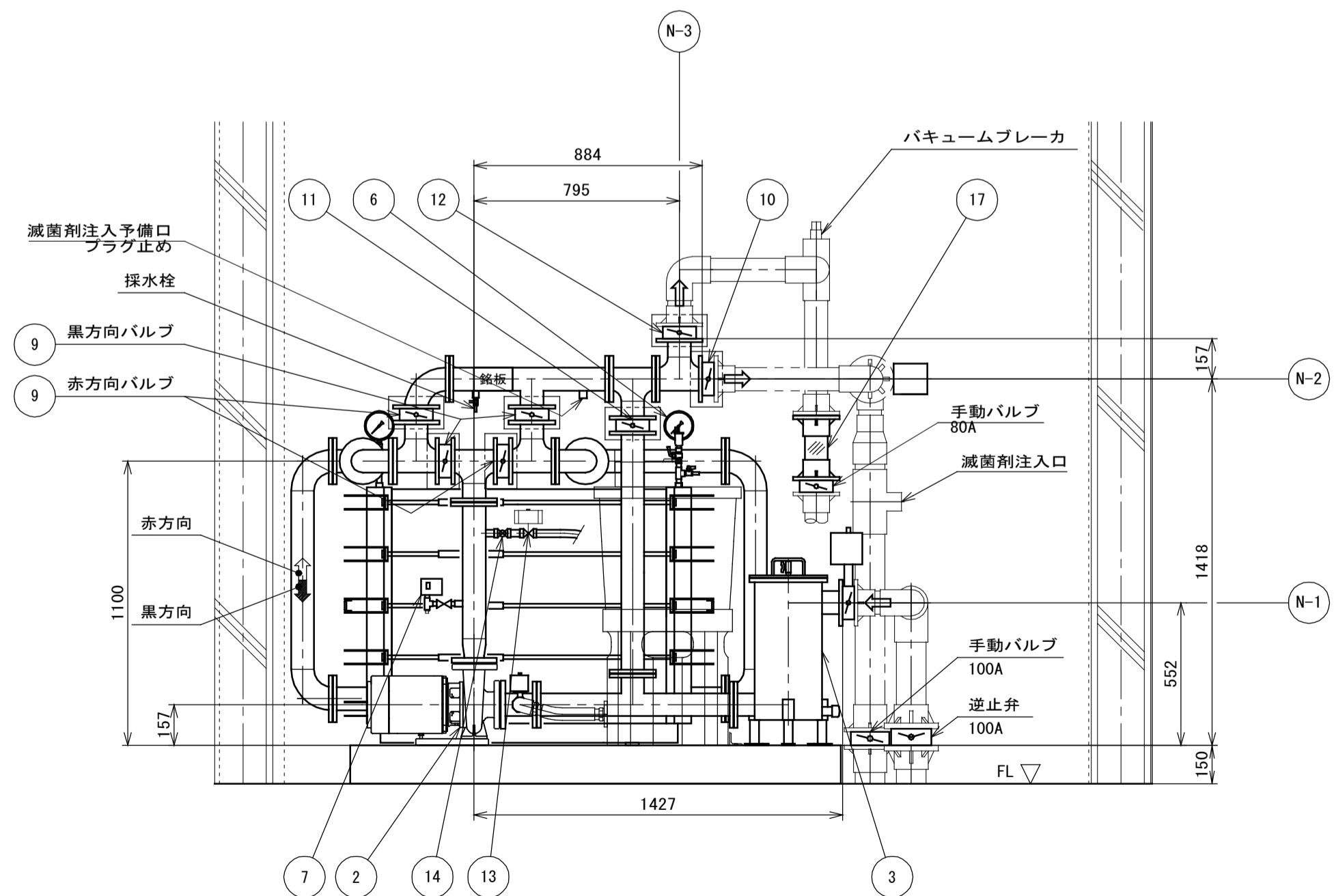
基礎図

ろ過装置	
型式	PA40-204ATB 同等品
ろ過能力	42 m ³ /h
機器質量	550 kg
運転質量	1,000 kg

ノズルリスト			
記号	名称	口径	継手規格
N-1	原水入口	80A	JISSKF
N-2	ろ水出口	80A	JISSKF
N-3	洗浄排水	80A	JISSKF

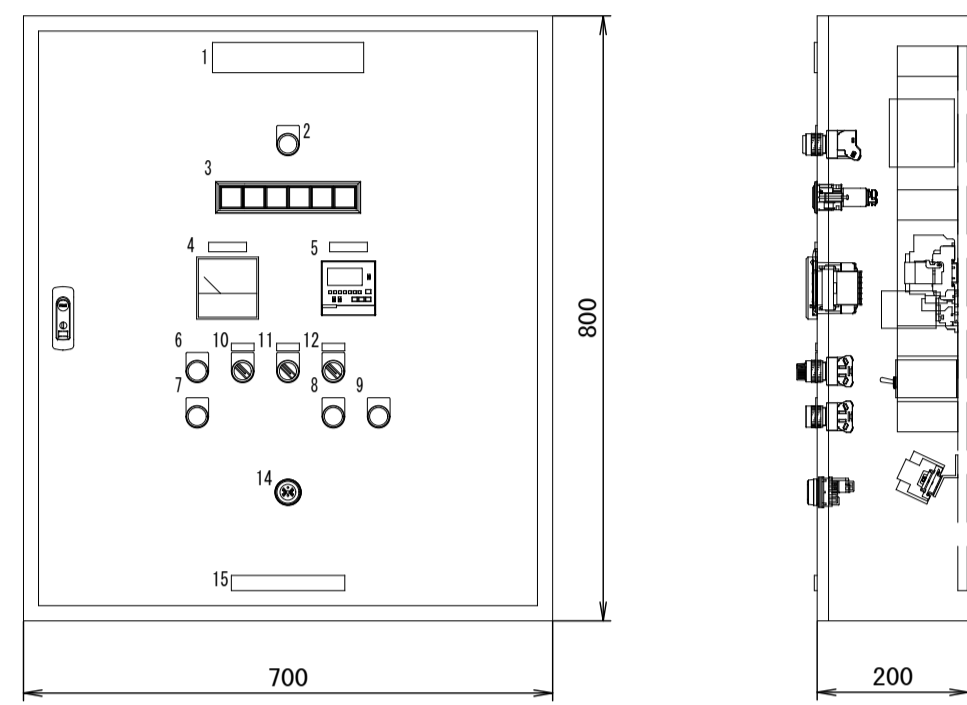


(排水配管途中に設置)



A-A矢視図

ITEM 品番	PART NAME 部品名称	DIMENSION 寸度	MATERIAL 材料	QUANTITY 個数	REMARKS 備考
22	積算流量計	80A	—	1	電池式
21	減菌機	18W, 200V, 1φ	PE	1	
20	コンプレッサー	0.20kW, 20L/min	—	1	圧力開閉器式
19	電磁弁ボックス	W350×D160×H300	ABS樹脂	1	電磁弁8連
18	操作盤	—	鋼板製	1	屋内壁掛型
17	透明管	80A, JISSKF	透明PVC	1	
16	スラリーコック(手動)	40A	C3771BE	1	ゲート弁
15	スラリーコック(自動)	40A	CAC406	1	エア複作動式
14	給水コック(手動)	20A	C3771BE	1	ボール弁
13	給水コック(自動)	20A	CAC406	1	エア複作動式
12	排水バルブ	80A	ADC/EPDM	1	エア複作動式
11	循環バルブ	80A	ADC/EPDM	1	エア複作動式
10	原水・ろ水バルブ	80A	ADC/EPDM	2	エア複作動式
9	赤方向・黒方向バルブ	80A	ADC/EPDM	4	エア複作動式
8	機内配管	80A, JISSKF	SPP/溶融亜鉛メッキ SUS304ニッケルメッキ	1式	
7	圧カスイッチ	10A	—	2	SNS型
6	圧力計	10A×φ100	C3604BD	2	メートルコック付
5	スラリータンク	φ480×H440	PE	1	水位計付
4	助剤フィーダー槽	90W, 200V, 3φ	PE	1	
3	ヘヤーキャッチャー	φ260×H550	SS/溶融亜鉛メッキ	1	
2-2	モーター	3.7kW, 200V, 3φ	—	1	全閉外扇型(屋外)
2-1	ろ過ポンプ	80A×65A	FC200	1	JD80×65A-E53.7
1	ろ過エレメント	エレメント:2枚 ろ布:2枚	エレメント:PP ヘッド:ステンレス	1	

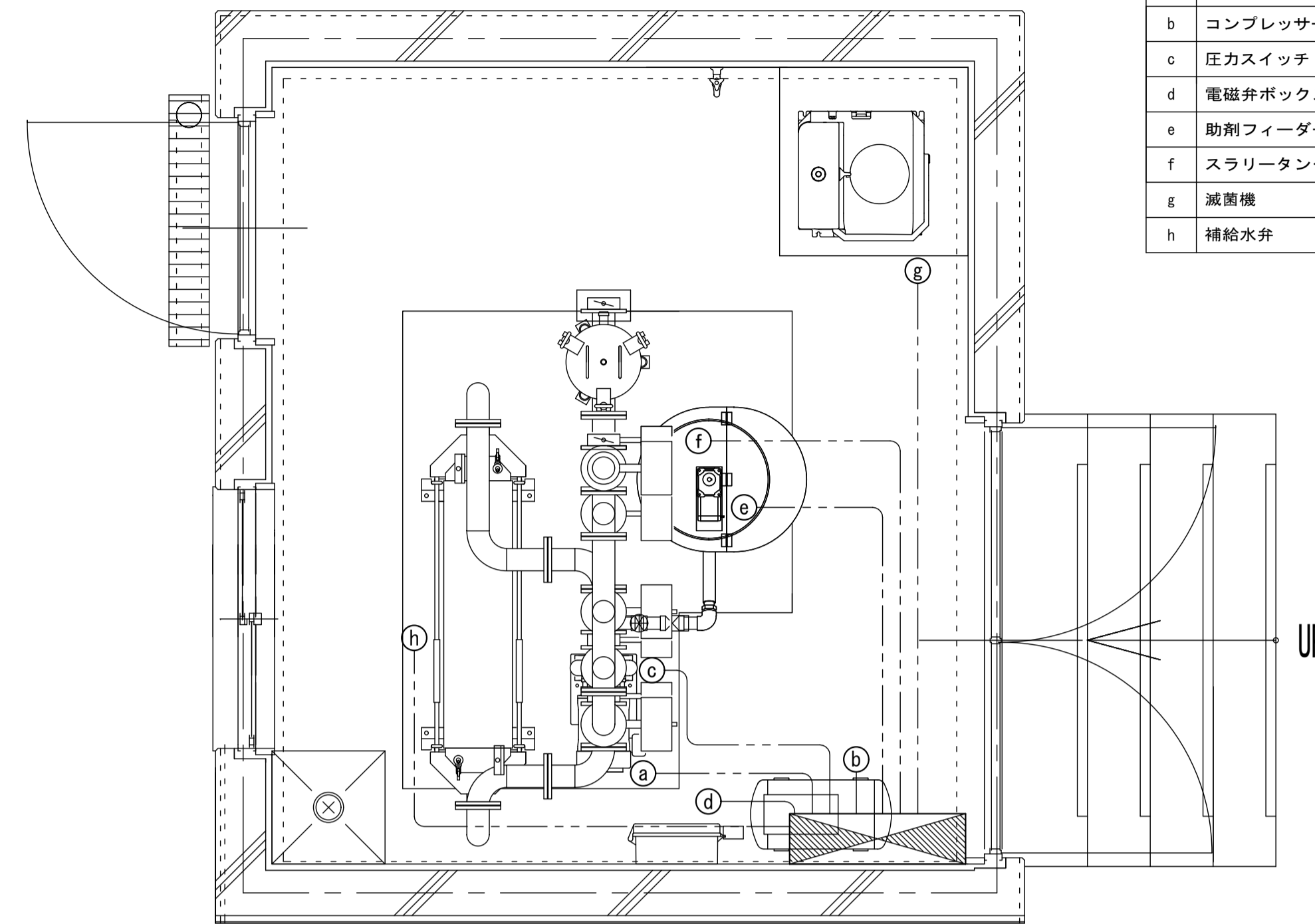


外形図 A1:1/10

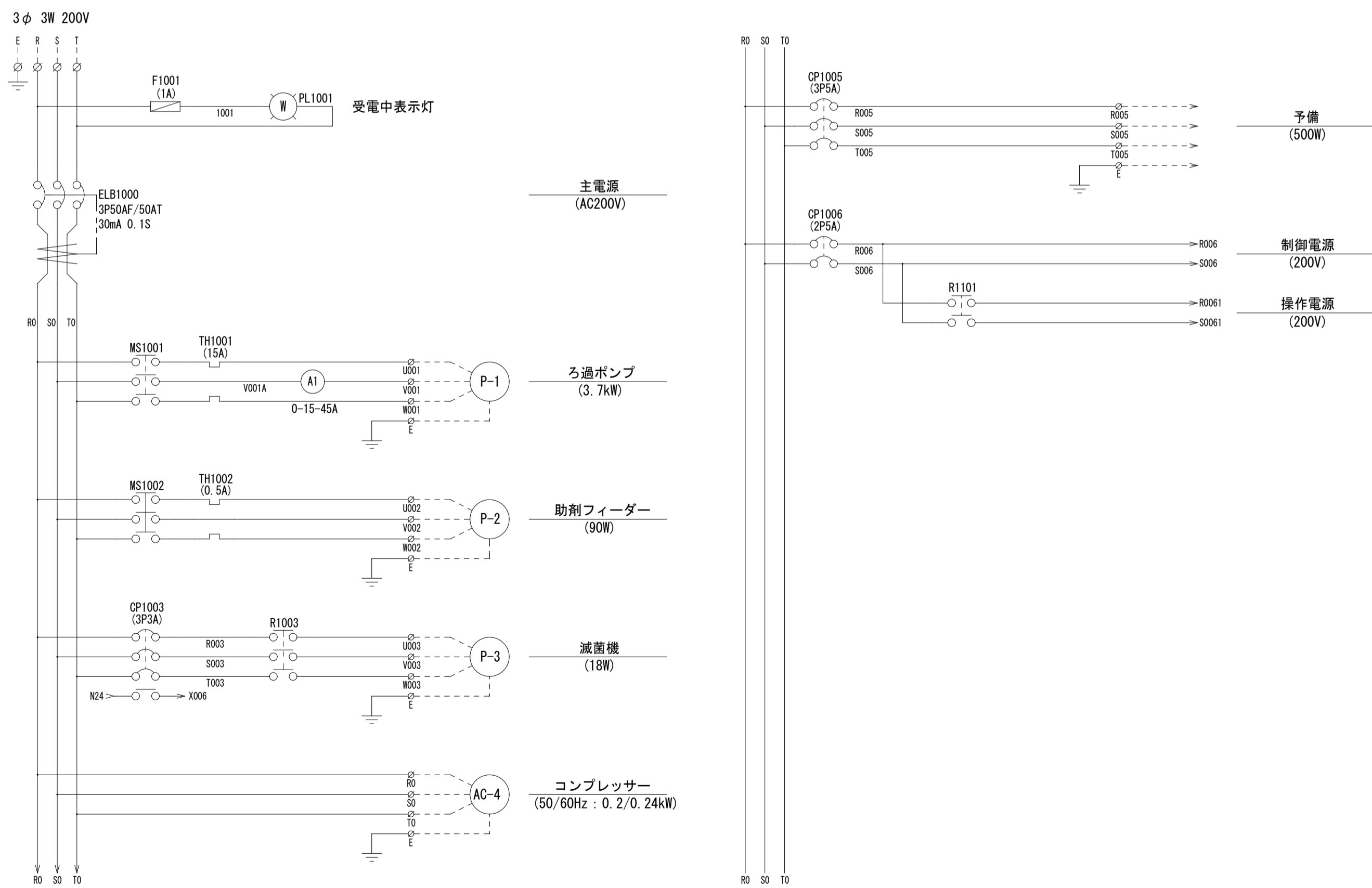
No.	記号	品名	銘板名称	文字色	銘板サイズ	PB/PL色
1		主銘板	A-1フィルター操作盤	黒	200×40	
2	PL1001	ハロッドランプ	電源	黒	φ22ダルマ	白
3	PLY014	集合表示灯	プリコート工程	黒	27×27	白
	PLY015	集合表示灯	ろ過工程	黒	27×27	白
	PLY016	集合表示灯	洗浄工程	黒	27×27	白
	PLY017	集合表示灯	休止工程	黒	27×27	白
	PLY020	集合表示灯	異常	黒	27×27	赤
	PLY021	集合表示灯	ろ過圧異常	黒	27×27	赤
4	A1	交流電流計	ろ過ポンプ	黒	50×12.5	
5	TD1101	タイムスイッチ	運転タイマー	黒	50×12.5	
6	PBX031	押ボタン	運転	黒	φ22ダルマ	赤
7	PBX032	押ボタン	停止	黒	φ22ダルマ	緑
8	PBX033	押ボタン	プザー停止	黒	φ22ダルマ	黒
9	PBX034	押ボタン	リセット	黒	φ22ダルマ	緑
10	COSX040	レレックススイッチ	ろ過ポンプ/手動-停止-自動	黒	30×10/φ22ダルマ	
11	COSX041	レレックススイッチ	助剤フィーダー/手動-停止-自動	黒	30×10/φ22ダルマ	
12	COSX042	レレックススイッチ	減菌機/手動-停止-自動	黒	30×10/φ22ダルマ	
14	BZ	ブザー				
15		社名板	製造社	黒	150×20	

- BOX型式: S20-78 (日東)
- 塗装色: 5Y7/1 (半つや)

二次側配線仕様 (参考)			
記号	名称	電線	電線管
a	ろ過ポンプ	CV 3.5sq-4C	VE28
b	コンプレッサー	CV 2sq-4C	VE22
c	圧カスイッチ	CVW 1.25sq-2C	VE22
d	電磁弁ボックス/圧カスイッチ	CVW 1.25sq-20C	VE36
e	助剤フィーダー槽モーター	CV 2sq-4C	VE22
f	スラリータンク水位計	CVW 1.25sq-4C	VE22
g	減菌機	CV 2sq-3C	VE22
h	補給水弁	CV 2sq-3C	VE22



二次側電気図 A1:1/20 図中の配線及び制御盤は本工事 (ろ過設備工事) を示す



主回路図 A1:non

< TB1 >		()		< TB1 >		()	
NO.	端子番号	接続先		NO.	端子番号	接続先	
1	R	供給電源		25	R006	1101	インターロック信号 (インターロック使用時短絡線を外す事)
2	S	3φ3W AC200V		26	S0061	1201	1. 排水弁
3	T			27	S0061	1202	2. ろ水弁
4	E		T XU 50	28	S0061	1203	3. 赤方向
5	U001	ろ過ポンプ (3.7kW)		29	S0061	1204	4. 黒方向
6	V001			30	S0061	1205	5. 給水弁
7	W001			31	S0061	1206	6. スラリー弁
8	E		T XU 20	32	S0061	1207	7. 原水弁
9	U002	助剤フィーダー (90W)		33	S0061	1208	8. 循環弁
10	V002			34	S0061	1130	ろ過工程信号 (Wet)/サブリゲ弁 (有電圧接点)
11	W002			35	S006	1420	補給水弁
12	E			36		1421	
13	U003	減菌機 (18W)		37	N24	X024	コンプレッサー 空圧低下
14	V003			38	N24	X025	ろ過ポンプ 圧力上昇
15	W003			39	N24	X026	残塩計信号
16	E			40	E1101	E1102	スラリータンクレベル
17	R0	コンプレッサー (50/60Hz: 0.2/0.24kW)		41	E1103	E1104	
18	SO			42	E1401	E1402	
19	TO			43	E1403		
20	E			44	1120	1121	ろ過工程信号 (無電圧接点)
21	R005	予備電源 (500W)		45	1122	1123	一括異常信号
22	S005			46			
23	T005						
24	E		T XU 10				

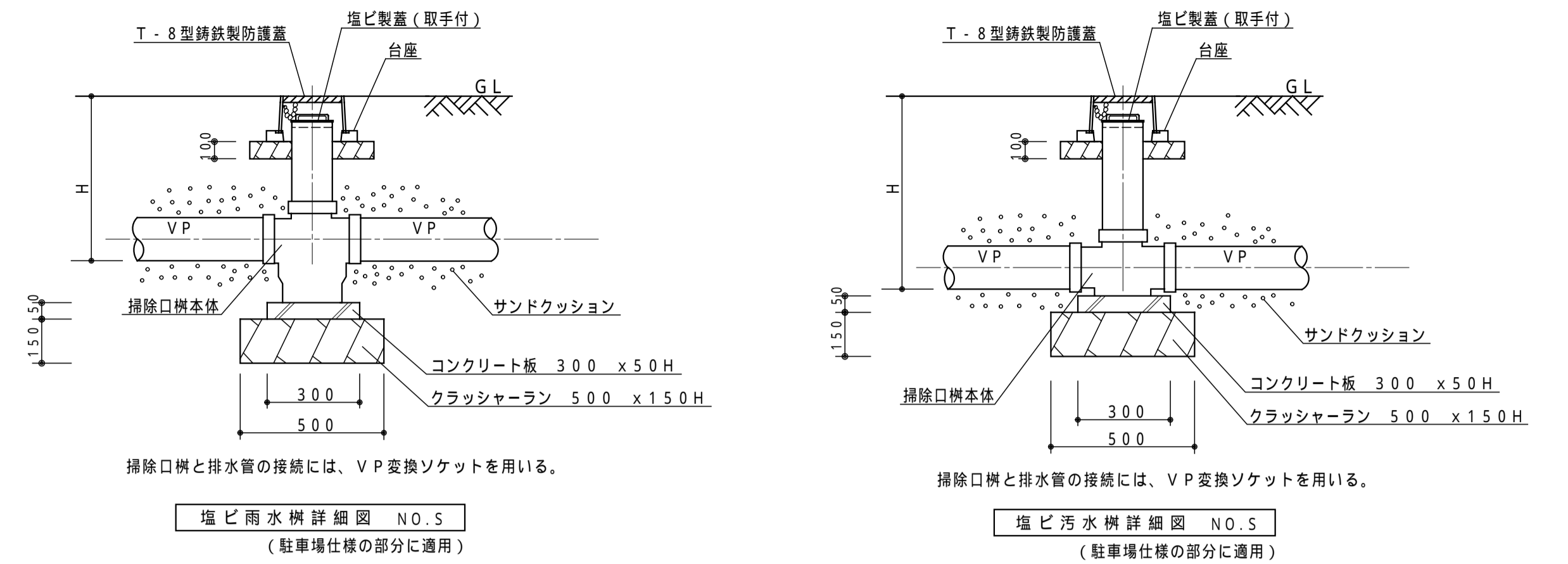
端子表 A1:non

塩ビ汚水枘リスト							
NO	記号	基準GL (BM ± 0) からの高低レベル	基準GL (BM ± 0) からの樹設置面レベル	樹実深さ	蓋仕様	勾配	備考
Ⓐ	SD90 L 100-150	- 450	± 0	450	樹脂製蓋	1/50	
Ⓑ	SD90 Y 100-150	- 475	± 0	475	樹脂製蓋	1/50	
Ⓒ	SD90 Y 100-150	- 505	± 0	505	樹脂製蓋	1/50	
Ⓓ	SD90 Y 100-150	- 585	± 0	585	樹脂製蓋	1/50	
Ⓔ	SD90 Y 150-200	- 605	± 0	605	樹脂製蓋	1/50	
Ⓕ	SD90 L 150-200	- 740	± 0	740	防護蓋	1/50	
Ⓖ	SD DRY 150 x 150 x 200	入口 -840 出口 -1750	± 0	入口 840 出口 1750	防護蓋	1/50	
	既存公設枘 (WTY)	- 1800	± 0	1800	樹脂製蓋	1/50	

枘深さは参考とし現場にて確認の上施工のこと

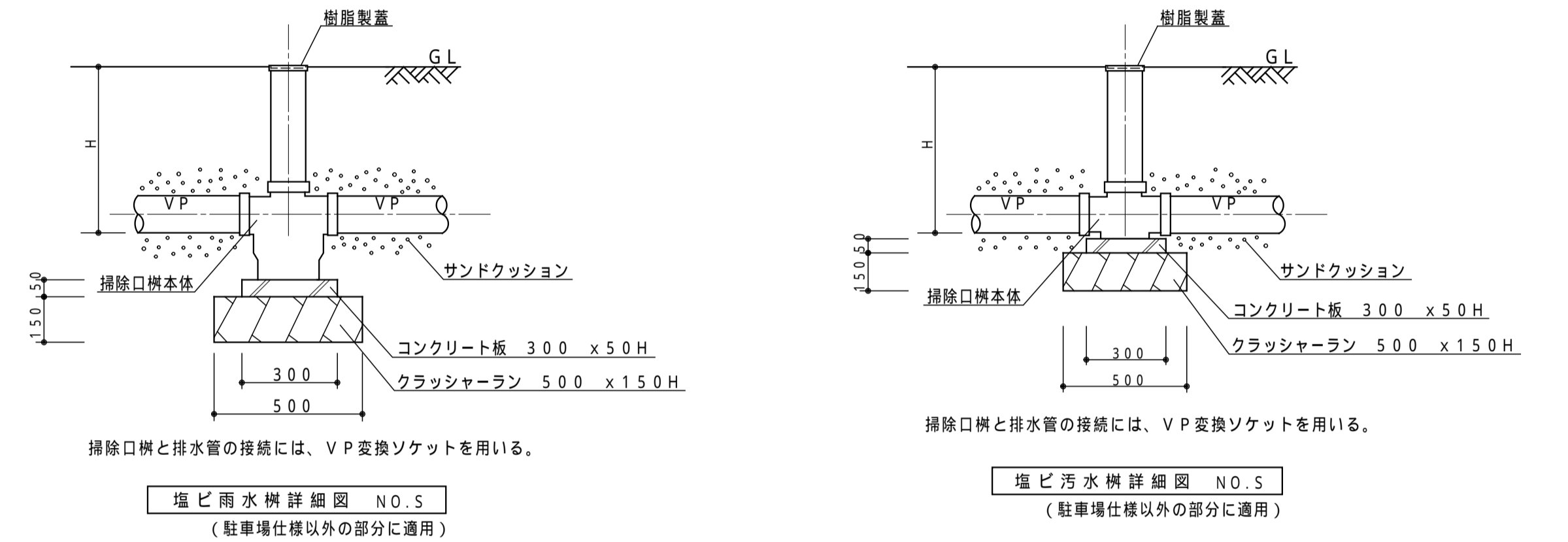
塩ビ雨水枘リスト							
NO	記号	基準GL (BM ± 0) からの高低レベル	基準GL (BM ± 0) からの樹設置面レベル	樹実深さ	蓋仕様	勾配	備考
①	AM 90L 150-200	- 400	± 0	400	樹脂製蓋	1/150	
②	AM 90Y 150-200	- 410	± 0	410	樹脂製蓋	1/150	
③	AM 90Y 150-200	- 455	± 0	455	樹脂製蓋	1/150	
④	AM 90Y 150-200	- 460	± 0	460	樹脂製蓋	1/150	
⑤	AM 90Y 150-200	- 515	± 0	515	樹脂製蓋	1/150	
⑥	AM 90L 150-200	- 525	± 0	525	樹脂製蓋	1/150	
⑦	AM 90Y 150-200	- 595	± 0	595	樹脂製蓋	1/150	
⑧	AM 90Y 150-200	- 600	± 0	600	樹脂製蓋	1/150	
⑨	AM 90Y 150-200	- 755	± 0	755	樹脂製蓋	1/150	
⑩	AM 90L 150-200	- 855	- 300	555	防護蓋	1/150	
⑪	AM ST 150-200	- 975	- 470	505	防護蓋	1/150	
⑫	AM 90L 150-200	- 1045	- 500	545	樹脂製蓋	1/150	
⑬	AM 90L 150-200	- 1100	- 500	600	樹脂製蓋	1/150	
⑭	AMST 150-200	- 1130	- 770	360	樹脂製蓋	1/150	

枘深さは参考とし現場にて確認の上施工のこと



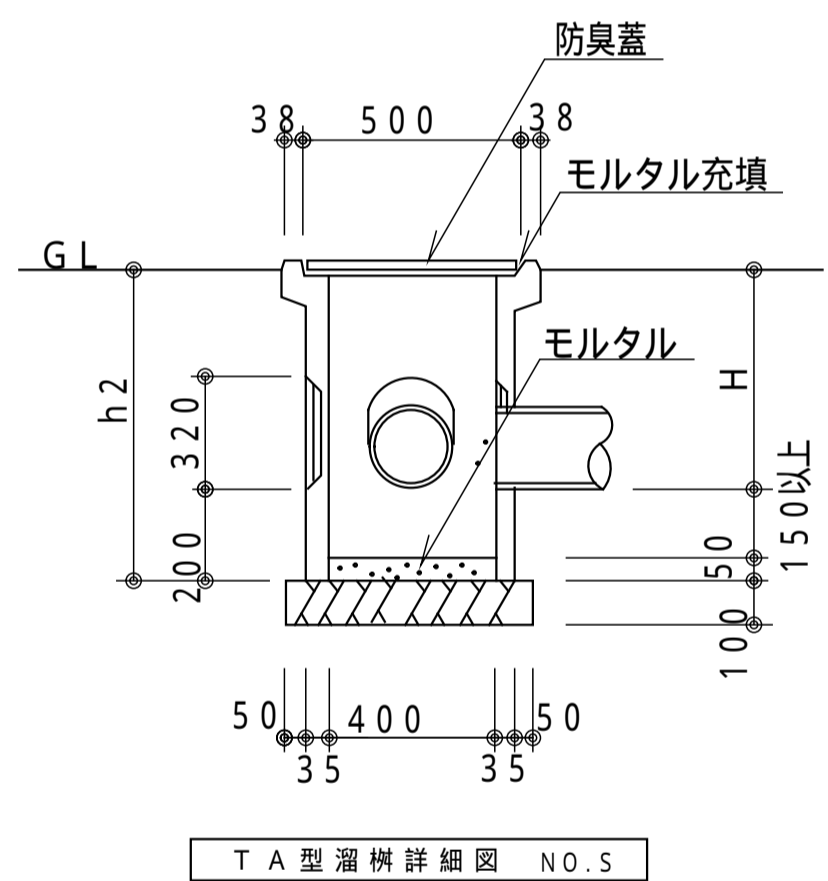
掃除口枘と排水管の接続には、VP変換ソケットを用いる。

塩ビ雨水枘詳細図 NO. S (駐車場仕様の部分に適用)



掃除口枘と排水管の接続には、VP変換ソケットを用いる。

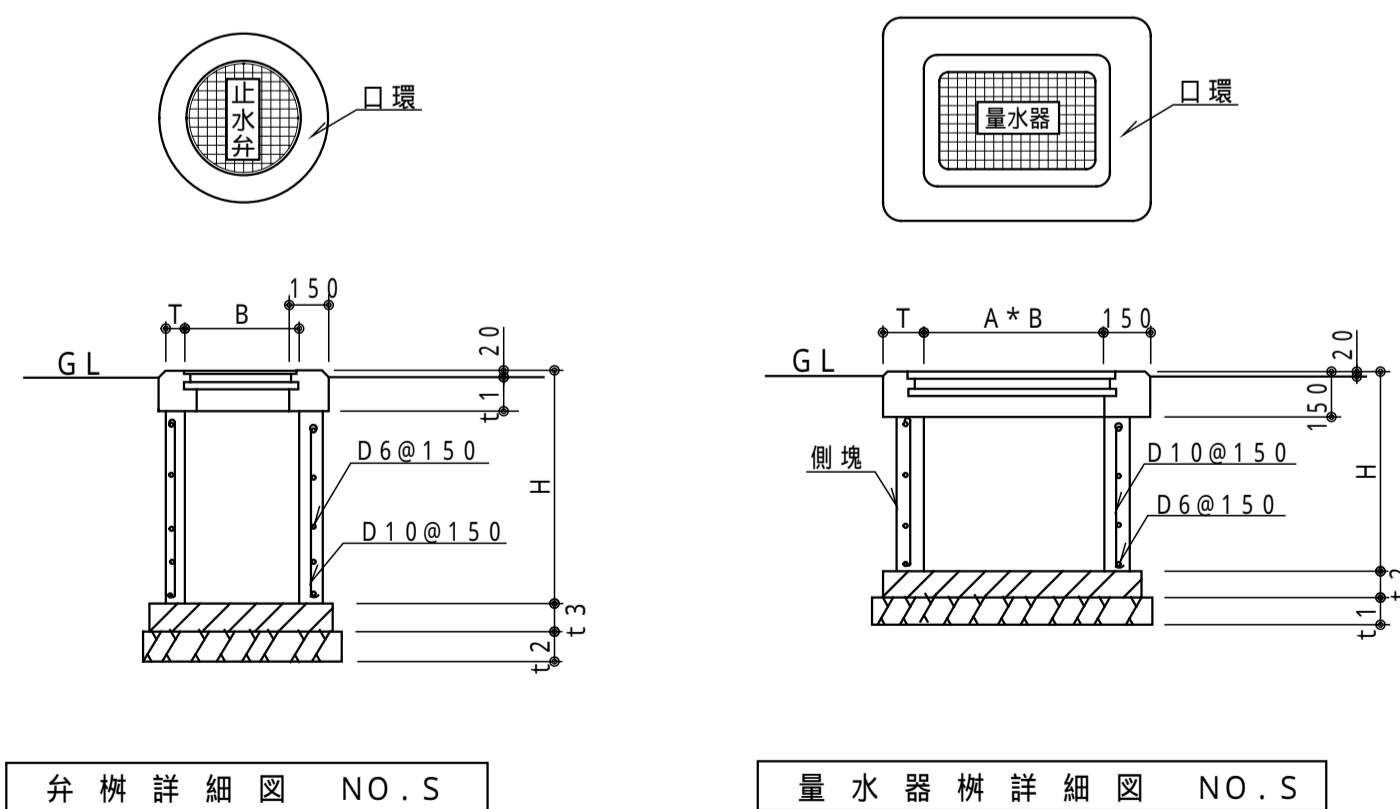
塩ビ雨水枘詳細図 NO. S (駐車場仕様以外の部分に適用)



T A型溜枘詳細図 NO. S

ため枘記号	深さ H	マンホールカバー防臭ふた	備考	
TA - 1A	H ≤ 400	MHAR-400	h1=480	側塊は住宅、都市整備公園形とし、遠心力方法による鉄筋入りコンクリートとする。
TA - 1B		MHBR-400	h2=630	
TA - 2A	400 < H ≤ 500	MHAR-400	h1=580	
TA - 2B		MHBR-400	h2=730	
TA - 3A	500 < H ≤ 600	MHAR-400	h1=680	
TA - 3B		MHBR-400	h2=830	

(注) MHARは安全荷重 1500kg とし 6000kg 以上の荷重試験に合格するものとする。マンホールカバーは文字入りとする。
(注) MHBRは安全荷重 500kg とし 2000kg 以上の荷重試験に合格するものとする。マンホールカバーは文字入りとする。



弁枘詳細図 NO. S

量水器枘詳細図 NO. S

弁記号	枘号	弁の呼び径	B	H	T	t1	t3	t2	ふた	備考
YAVC - 1		40以下	200	550	100	130	100	120	B1	(1) 側塊の接合は防水モルタル塗りとしズレ止めをつけるものとする。 (2) 口環は鉄筋入りとする。 (3) B1では、鉄筋は4本とする。
YAVC - 2		40以下	200	850	100	130	100	120	B1	
YAVC - 3		50-80	400	700	100	130	100	120	B2-A	
YAVC - 4		50-80	400	900	100	130	100	120	B2-A	
YAVC - 5		100-200	500	1200	120	130	100	120	B2-A	

量水器記号	枘号	量水器口径	A	B	T	t2	t1	H	ふた	備考
YAMC - 1		25-40	430	310	100	100	120	550以上	MB-1	(1) 側塊の接合は防水モルタル塗りとしズレ止めをつけるものとする。 (2) 口環は鉄筋入りとする。 (3) B1では、鉄筋は4本とする。
YAMC - 2		50-80	710	510	100	100	120	750以上	MB-2	
YAMC - 3		100-150	1100	710	120	100	120	750以上	MB-3	